新講談 丹下左膳 (67)

林不忘作　小田富彌畫

焼野の鬼（四）

同時に。

侍兵館の若侍達は、一時にバッと飛び退いて、遠巻き……。

その手に、一本づゝ秋の流水が凝つたと見えるのは、一同、早くも抜きつれたのだ。

「理不盡！」

口のなかで呻いた左膳は、左手で、ちよつとチョビ安を庇ひながら、腰を突き出し、顎を斜にして高大之進を見やつた。

その鼻先にドギ〳〵する大之進の切先が、頃合ひを計つてヒクヒク突きつけられてゐる。

ニヤリと笑つた左膳だ。

「フム、そんなにおれを斬り度えのか、おい！え、そ、そんなにこの左膳の血を見てえのかッ」

と、一と言づつせり上がるやうに、

「イヤサ、何うでも手前らは斬られてえのだな。ウム？死にてえのだナ？」

区切るやうに言ひながら、そつと左右に眼を配つた劍妖左膳、物憂さうに欠伸まじりに

「血迷つたな、伊賀侍ども。宜しッ、相手になつてやるッ」

言葉の終らぬうちに、足を開いた左膳、ッと體を低めたかと思ふと、腰を捻つて流し出した愛刀濡れ燕の柄、たッ！と音して空に擱むより早く……。

「洒落臭えッ！」

正面の敵、高大之進はそのまゝにして置いて、白い固まりのやうに、横ッ飛びに左へ飛んだ丹下左膳は、その左側を、抜き放ちに後ろへ擺つて。

折から——。

左膳を眼がけて跳躍に移らうとしてゐた大垣七郎衛門の脾腹を、なゝめに斬り下げた。

血飛沫立てゝ反けぞる七郎衛門の武者袴に、時ならぬ牡丹の花が見るみる滲み擴がつてゆく。

「一人ッ！」

その時、朗らかな聲が響いたのは、チョビ安が、さも大きく數へはじめたのだ。

呑氣なやつで、チョビ安、手に一本の焼け棒ッ杭を拾つて、何園する伊賀勢の劍輪を潜つて圍みの外へ走り抜けた。

鬼神のやうな左膳の劍技に度膽を抜かれて、一同は、子供などには構つてゐられない。

チョビ安は易々と、地境に焼け殘つてゐる土藏の横へ馳けつけた。

そして、燻つた白壁に、一と大きく數字を書きつけました。

左膳が一人づゝ斬り倒す傍からチョビ安はこゝで記録をつける氣と見える。何うも洒落たやつで。

左膳は？と見ると。

青眼の構へよりも、すこしく左手を内側に絞込んで、劍先をやや下げ、踏み出した左の膝を心もち前のめりに曲げて、立つたまゝ、一眼を面白さうに笑はせて立つてゐる。

焼野の鬼……。

何しろ、おそろしく足場が悪いんです。焼けた梁や板、柱の類が累々と重なつてゐるその一つへ、痩せさらばへた片足をチョンと掛けて、四方八方前後左右へ眼を散らす丹下左膳……見せたい場面です。

絶讃の聲湧く『丹下左膳』封切會
第一日は超滿員の盛況

本社主催「丹下左膳」封切會はいよ〳〵四日より日活館において開始されたが、四日晝間入場者は千餘名、夜間入場者は千三百名の超滿員、殊に夜間の如きは開演定刻午後六時三十分には既に階下滿員で、七時過ぎには階上階下共に大入、それから後につめかけたファンにはお氣の毒ながら入場を御ことわりする有様で、全く「丹下左膳」に對する人氣は白熱的である。映畫は先づ外國の傑作漫畫トーキーを上映、つゞいて前寫しとして日活現代劇部、杉狂兒、闘時男、吉谷久雄、星ひかる等のコメディアンが活躍する「子供バンザイ」が上映、峰一路が軽妙な解説を加へてゐる「子供バンザイ」はナンセンス映畫ではあるが、子供を持つ親心を中心にしたもので、完全に觀客を笑はせると同時に、充分に泣かせてゐる

「子供バンザイ」に續いて上映する「天子東方に出づ」は滿鐵弘報係撮影班が特に撮影を許可されて謹寫した、滿洲國皇帝陛下御登極實況の大記録映畫で、然もP・C・Lによつて全卷を通じ伴奏が録音されてゐる、我々はこの大記録によつて目の當りに大典當日の盛儀に接することが出來るのである、右大典映畫謹寫後、いよ〳〵ファン待望の本紙連載中の新講談の映畫化、大衆文壇の重鎮林不忘氏原作、伊藤大輔監督、大河内傳次郎主演「丹下左膳」が上映される、こけ猿の壺を挾んで捲き起る江戸の騒動、劍鬼左膳の隻腕益々冴えて往くところ敵なく、彼の愛刀は夜毎血を吸ふ、然も人間左膳の溫かき人情、觀客は大河内傳次郎の洗煉された演技に絶讃の聲を浴びせかけ、午後十時過ぎ全觀客は完全に滿足しきつて散會「丹下左膳」封切會第一日は大盛況を收めることが出來た、封切會は四日より一週間の豫定で、毎日晝間は零時三十分より、夜間は午後六時三十分より開演するが、晝夜共滿員になるものと豫想されるから成るべく早々と入場されたい

尚前記大典記録映畫「天子東方に出づ」は友邦滿洲國皇帝御登極の實況を謹寫するものであるから、右映畫上映中に限り觀客においても適當に敬意を拂はれたい

子供バンザイ

丹下左膳封切會に於て上映中

日活現代劇部製作のナンセンス映畫、監督は新進大谷俊夫、闘時男が看板屋の親父、杉狂兒が自轉車屋の親父さんに扮して活躍、珍演するが「坊やは家庭の王様」をテーマーとした涙の喜劇である（寫眞は闘時男の看板屋と五月潤子のその妻）

蒲田撮影所 大船に移轉か

松竹キネマは蒲田の撮影所狹隘を理由として移轉先を物色中、先頭東海道線大船に候補地ありと地元有力者と折衝したが昨年末不調となつてゐた處、最近に至つて此相談が再燃し今度はどうやら本格的に話が纏まる模様で地元關係者が本氣に奔走中である

義捐筑前琵琶大會

大連教師會主催で函館大火義捐筑前琵琶演奏會が七日午後六時五分から敷島町青年會館で開催される（會費八十錢、前賣五十錢）

うわさ話

四日より日活館に於て封切公開した本社の夕刊連載小説映畫「丹下左膳」は文字通り驚異的な人氣で超滿員の盛況であつたが▲内地よりの通信によれば東京も大盛況、京都、大阪に於ても目下四月第一週興行として公開中であるが既に第二週まで續映と決定する程の人氣▲「丹下左膳」の人氣は全日本的に物凄い有様…▲「丹下左膳」の前寫しとして上映中の「子供バンザイ」に闘時男の妻に扮して出演してゐる五月潤子、病院でやつてゐるシーンの纏が勝美夫人にそつくりだと大騒ぎ▲そも〳〵それを云ひ出したのは、最も熱心な勝美ファンとして自他共にゆるす伊藤日活出張所長だとのこと……

八年度輸送貨物 前年對一割四分增

社線一般貨物と撫順炭增が原因 齊北線は十六割方激減

滿鐵々道部昭和八年度貨物輸送噸數は前年度に比し一四パーセントの增加を示し、計一千八百八十二萬餘噸の輸送を見、滿鐵創業以來の新記錄を出したが、原因は社線內社外貨物卽ち南滿特產物および輸入貨物の激增に伴ふ社線發一般貨物二三パーセントの增加、撫順炭輸送二八パーセントの增加に因るもので、これに比し北滿貨物の發送は慘澹たる有樣で前年比齊北線發は一五九パーセント、北滿線發は四三パーセントといふ激減で北滿大豆の出廻不振を如實に示してゐる、左に各線別貨物發送噸數を示せば(單位噸、それ以下四捨五入、△印減)

▲社線の部

社外貨物	六、〇一〇、三三五	一、一〇九、一三八
社內石炭	八、五五六、八〇一	一、八四四、〇五五
社內其他	一、七〇八、五八四	一六五、〇三一
計	一六、三二五、七三〇	三、一七八、二六四

▲他線發の部

海路	二三〇、二四四	五、六六六
金福	三八八、八〇四	二二五、三二一
朝鮮	一五八、五七六	九七、〇〇八
瀋海	三七九、六五七	△一〇〇、一七七
四洮	一九〇、五二二	七、三二一
洮昂	一一七、四四五	二三、二一八
齊北	一七八、六六三	△二八八、七二六
北滿	六六三、八九七	△四七七、八八四
京圖	六六三、九七一	一〇、二五四
拉濱	三三七、三〇三	三一七、三〇三
奉山	八〇、四二七	七三、八二七
計	三、五二一、六〇九	△四六三、七一三

▲總計

社外貨物	八、四一九、三七五	五七六、三七四
社內石炭	八、五五六、六六八	一、四三三、八〇二
社內其他	一、八二二、三三六	二四四、二六五
計	一八、八〇七、三七九	三、一二四、三五一

出入船舶の六割が日本船

三月中大連港成績

本年三月中における大連港出入船舶總數は合計九百四十三隻、總噸數二百二十八萬三千五百二十五噸で前月に比し二百六十二隻、三十二萬餘噸前年同月に比し七十五隻、十七萬餘噸それ〳〵增加を示してゐる、右の中入港船は四百六十五隻、百十二萬二百八十一噸、出港船は四百七十八隻、百十六萬三千二百四十四噸でこれを內外船別に見れば

▲入港船

	隻數	噸數
日本船	二七六	七二一、二九六
外國船	一八九	三九八、九八五
合計	四六五	一、一二〇、二八一

▲出港船

日本船	二六七	七一四、三五六
外國船	二一一	四四八、八八八
合計	四七八	一、一六三、二四四

卽ち依然として日本船が出入船共に約六割を占めてゐる、次にこれが出入船舶によつての三月中の出入船客總數は十六萬三千三百五十七人にして出港乘船客が僅かに三萬百三十六人に過ぎないに反し、入港上陸船客は實に十三萬三千二百二十一人の多數に上り差引入港上陸船客十萬三千餘人の超過となつてゐる、原因は山東、北支方面の苦力の渡滿期に當りしため約十二萬人からの四等船客としての苦力が來連したことによるもので、內容左の如し

▲入港上陸客

人種別		人員
日本人	男	八、〇六四
	女	三、八〇四
滿支人	男	一二四、〇七九
	女	六、九〇一
外國人	男	二三四
	女	一三九

▲出港乘船客

合計	男	一二二、三七七
	女	一〇、八四四
人種別		人員
日本人	男	五、一七九
	女	二、七五二
滿支人	男	一九、四六六
	女	二、四四〇
外國人	男	一八九
	女	一一〇
合計	男	二四、八三四
	女	五、三〇二

郵貯成績

三月末現在 昨年比五百萬增

關東廳遞信局管內の三月末現在における郵便貯金高は人員三十九萬四千九百八十七名、金額三千四百萬九千二百三十八圓で之を前月末に比較すると人員四千二百九十六名、金額三十二萬七千九十二圓の增加を示し、更にこれを昨年三月末に比較すれば人員六萬四千五百九十九名、金額五百二十一萬二千八圓の激增を示してゐる

注目を惹く濠洲粉の輸入

一般市況は弱含商狀

三月中の大連港における小麥粉輸入高は百二十八萬三千二百五十二袋、前月に比し十七萬七千餘袋の減少を示してゐるが、前々月壓倒的に輸入され前月に於て一時減少を見せた濠洲粉が再び大量に輸入されたことは注目すべきである、これを仕出地別に見れば左の如し

(單位千袋)

仕出地別	數量	百分比
日本粉	五八八	四五・六
米加粉	四八	四・〇
濠洲粉	六四七	五〇・四
合計	一、二八三	一〇〇・

卽ち以上の如く濠洲粉は六十四萬七千袋も輸入され總額の五十パーセントを占め前月八十七萬七千袋輸入されて總額の五十九パーセントを占めた、日本粉を遙かに凌駕し滿洲における日本粉の市場を攪亂したかの感があるが、これが原因は濠洲產地安によるもので、端午節目當の引當てにより比較的品質良好で廉價であつた濠洲粉の壓倒的輸入は當然のことゝ觀測される、卽ち濠洲粉の一等品は邦品の三菱紅綠程度の優良品に拘らず、十錢程度下値であつた結果、折柄の需要期に當り大量輸入されたもので、今後は端午節旬目當の引當ても終り一不需要期にも入ることだし、濠洲產地相場も次第に强調に向ひつゝある故、濠洲粉輸入も三月一杯を以て一服商狀に入るものと見られる、なほこれ等三月中の輸入麥粉は全部荷捌かれ、埠頭在貨高も一時百七十萬袋以上あつたものが百四十萬袋に減少してゐる、現在市中相場は三井寶船二圓三十錢、三菱紅綠二圓二十錢、濠洲粉二圓十五錢程度を示し、二月末に比し幾分弱含みを呈してゐるが、現在濠洲相場强調を入れ

先安

不安の買控へも解消し、買氣も相當あることゝ故、漸次强調を辿るであらうが、滿洲特產安による奧地購買力の萎微に不需要期到來の惡材料も控へて大した强値も見られないものと觀測さる

支那紡績界

極度の不振に喘ぐ

注目さるゝ日支業界の連繫

【東京特電五日發】上海四日發電によれば支那紡績界の不況は例の棉麥借款の失敗とゝもに全く救濟の道絕え、各銀行からの借款一億三千萬元は償還不能に陷り、中には擔保流れとなるものを生じたので、上海財界は支那紡績の更生のため日本紡績の援助を求める外なしとして日本人技師を招聘する外日本內地に見習生を派遣することゝなつた、この日支の技術的連繫は英人の紡績に徹底的打擊を與へるものとして注目さる

洋紙市價吊上に商工省警告

【東京特電五日發】商工省は洋紙の市價吊上げにより消費者を壓迫しつゝあるに對し、四日製紙聯合會代表者を招致して警告を發した若しこれを聽き容れないときは統制法の第三條を發動して公益を擁護せんとする意向である

日本との接壤國間特惠條約容認を要求

英印特惠關稅容認の交換に

【東京五日發國通】インド政府は一月五日迄の日印會商で問題とならなかつた事項を新日印通商條約中に挿入すべきを要求して居るため、今なほ署名交換の出來ぬ狀態にある、卽ち新事項とは印度側が英國の意を承けて英印特惠關稅制度を條約上に承認する事で、最初日本は之を拒否したが、印度側が一方的に宣言程度なら容認せんとするが、英本國の態度强硬で是非條約中に包含せんとして居り、その結果日本は條約上に英印特惠關稅を容認する代りに、日本並に日本と接壤する諸國間とも將來特惠關稅を實施すべしとの條項を挿入せんと折衝中である、右の根據は二月成立の英露暫定通商條約にて、英國はロシアが英帝國領土內に於ける特惠關稅制を承認の代りに、ロシアに對し接壤國間に條約上にも通商上にも特殊關係を生ずる事を理由に諸國間の特惠關稅承認の條文があるので、之と同樣に東洋に滿、露、支の如き接壤國や近接國間に特惠關稅を實施し得べきを要求せんとするものである

當面對策として金融組合設立

◇…農村疲弊の救濟に

【新京特電五日發】農產物の値下りで極度に疲弊せる農民救濟策としては各地方に農業倉庫を設けて農產物の共同保管と共同販賣により農產物の値上げを行ひ、一方金融組合を設立して簡易に低利金融を行ふことが最も理想的だとされて居るが、農業倉庫の設立は經費と時日を要し、當面の急場を救ふには考慮を要するので、民政部では取敢す疲弊の最も甚だしい黑龍江省に金融組合を設くることゝなり、滿洲中央銀行へ之れが貸出條件其他を交渉中である

大汽の營口航路延長 第一船に山東丸

五日臺灣生果積載出航

大汽は既報の如く大連、臺灣航路並大連裏日本航路を四月一日から營口に延長に決定、前者は山東丸山西丸、後者は河北丸、河南丸の孰も優秀のデーゼル貨物船二隻宛を配し、これがため臺灣營口間、裏日本營口間の貨客の來往に至便になつたが、營口行の第一船として山東丸が五日午後二時大連出帆營口に向つた、同船は臺灣の蜜柑バナナ、蔬菜類を積載營口揚げの筈であり、復航には營口粕を積荷大連經由臺灣に向ふわけで、營口には、これがため先般荷受組合が成立した、第二船には裏日本航路の河北丸が十三日入港翌十四日大連發營口に向ふ豫定である

朝鮮郵船

五分配當復活か

【京城發】朝鮮郵船の八年下期(八年十月より九年三月に至る)業績は一般海運界の好轉につれ、貨客收入二千萬圓を突破し、前期に比し二十三萬圓、前年同期に比し二十萬圓の增收を示し、純益も十二、三萬圓に達する模樣で、五分配當復活は愈々確實と見られてゐる

アメリカの銀異變(下)

輸出國から輸入國へ轉向

更に注意すべきはアメリカが銀の輸出國から輸入國に轉向した事である、メキシコに次ぐ世界有數の銀產國であるアメリカの銀產額は國內の需要を充たしてなほ餘りがあり、其餘剩は每年支那、印度等へ輸出されるのが例であつた、統計上には若干の輸入も現れては居るが、それは

仲繼貿易

としての輸入又は取引上の調節の必要より行はれるものであつて其額は輸出額に比し非常に尠かつたものである、例へば一九一一年から一九一五年迄五ケ年間の年別平均輸出額は約六千百萬ドル、これに對し輸入額は約三千九百萬ドルで每年平均二千三百萬弗內外の出超となつてゐた更に一九一六年から二〇年迄の五ケ年間は年別約八千六百萬弗平均の輸出超過を見せてゐた、然るにその後世界的不景氣の到來と共に支那及びインドの購買力は減殺せられ、國內の需要(主として美術工藝用)も著るしく減少し、一方これにつれてアメリカの銀產額も著減した結果、國內に於ける銀の需給はほゞ過不足なき迄にバランスが取れ、輸出は昔日の如く旺盛ではなくなつた、試みに一九二六―三〇年の五ケ年間平均出超額を見ると約一千六百萬ドルに減つてゐる、而してこれに續いて起つたのが、銀の輸入超過といふ

逆形勢

である、卽ち一九三一年からは輸出入額とも著減を示しながら、輸入額は常に輸出額を凌駕し、殊に昨年の如きは輸出額の一千九百萬ドルに對して輸入額は六千萬ドルに急增して、入超額は殆ど四千萬ドル以上に上るに至つた、この原因を主として銀價昂騰見越しの思惑輸入によるとするも、昔日の出超と對比して一大變と見るべきである、過去二十年間の輸出入狀態の變動を見るに別表の通りである、そこで右の輸出入額に就いて、これを數で見たものは正式發表がない、それは右輸出入額の中には銀貨をも含んでゐるからである、然し大體の見積りでは銀塊及び銀鑛としての入超高は一九三二年には約一千七百萬オンス、一九三三年に一千八百萬オンスと見られる、然るに一方ニューヨーク取引所指定の倉庫內に貯藏さる在荷は最近一億一千萬オンスに上つてゐる、これを昨年の在荷に比較しても二倍近く增加してゐる事は別表でも判然である、而して更に

同取引所

指定以外のニューヨークに於ける銀在荷その他ニューヨーク以外の各地の在荷(政府保有を除く)を加へるならば優に(…)オンスを算するであらう、卽ちアメリカに於ける銀運化を物語るもので、同時にこの事實と共に銀に對する(…)旺盛振りを表徵する一事例

過去二十年間アメリカ銀塊輸出入額

(單位百萬弗)

年度	輸出	輸入
一九一三年	六三	三六

ニューヨーク商品取引所銀塊出來高

(單位百萬オンス)

	一九三二年	一九三三年
一月	二〇	二〇
二月	二五	四五
三月	二五	四〇
四月	四一	一五一
五月	一九	一四八
六月	一四	一五二
七月	一六	一七〇
八月	五二	一一七
九月	三一	一三七
十月	二二	一一四
十一月	三一	二六二
十二月	一九	一一二
合計	三二五	二、四六八

ニューヨークに於ける銀の倉庫在荷

(單位オンス(註、本表の在荷はニューヨーク商品取引所指定倉庫の在荷))

同 一九三三年二月一日	十五日 八一、二〇〇
同 一九三四年一月一日	八六、五〇〇
同 二月一日	十五日 一〇四、七〇〇
同	七日 一〇八、六〇〇
同	一〇九、二〇〇

南支筋依然買氣起らず

大連外課稅問題も利かず

南京政府は先般來滿洲特產物に對し大連積のみならず滿洲各港積共一律高率輸入稅を課徵する旨發表したので、從來營口積に壓迫されて萎微不振を續けた對支大連輸出もこれがため或る程度迄增加するに非ずやと豫想され、事實大連特產市場に於ても南支筋の買氣が擡頭してこれを裏書きするかの觀あつたが、その後の實情に徵すると何等緩和された氣配もなく、大連への買氣は依然として杜絕の狀態にある、右は營口積貨物に對する支那側の輸入稅賦課は未だ嚴重には行はれ居らざるものゝ如く、遼河の解氷以後日未だ淺く營口輸出貨物の支那向の數量は頗る少量であつてこの間の事實が判然とせざるためだと言はれてゐる

內地各府縣の駐在員漸增

【奉天特電五日發】從來滿洲との貿易に緊密な關係を持つ內地各府縣では商工都市の奉天を目指し、容易ならしむるもので大に將來を期待されてゐる、現在三府二十縣から駐在員を派遣して來てゐるが、四月から靜岡縣の派員が着任する外山口海外輸出貿易組合、鹿兒島、宮崎の九州方面からも駐在員を派遣することに決定してゐると傳へられ、今後の情勢では府縣全部が駐在員を派遣する時代が來るだらうと期待されてゐる

日英政府交渉に英紙勝手な忖度

【ロンドン四日發國通】ロンドン各紙は四日の紙上で日英政府交渉が日英兩國の一般通商問題に及ぶが如く報道し、ファイナンシアルニウス紙の如きは日本政府は一般通商問題、特に綿業に就てはランカシアの主張迄讓歩しその代り海軍問題を出して英國政府の讓歩を求めるだらうなどゝいふデマを飛ばしてゐるが日本大使館では右報道を否定し日英政府交渉の目的は日英民間交渉決裂の善後處置以外に出でない旨を言明した

一般貨物と撫順炭の增加の結果だが、一方北鐵や、齊克線は異常な激減ぶりを見せて居る、畢竟特產出廻りのいかに不振であつたかを物語るものとして今更に北滿農民の疲弊狀態が想像される。

◇…上海の支那紡績界益々不況の度を加へて二進三進もいかぬ窮態、ヤツと日本當業者と合作の必要を自覺して彼是と畫策中だとは、遲ればせながらその態度を可とする。

浦川氏離連挨拶

鮮銀奉天支店副支配人に榮轉の前大連支店副支配人浦川秀信氏は四日挨拶のため市內各方面を歷訪した

奧地滿人の日貨愛好傾向

【新京特電五日發】滿洲國成立以來奧地滿人の日本商品に對する趣味傾向が從來と全く一變し、極めて好日的に變化したことは事實である、卽ち從來奧地滿人は下級國產品を好み、日本商品は趣味に合致せざるため賣行不振であつたが最近はこれと反對に純滿人向商品は受入られず一般日本人向商品が歡迎されてる、斯樣に奧地滿人の日本商品に對する嗜好の變化は今後に於ける日本商品の奧地進出を

黃塵

◇…朝鮮仕向け滿洲粟の特別稅率が百斤一圓に引上げられ農林に對抗した拓務省も完全に敗けた譯だが、これで鮮米の內地移出がイクラカでも緩和が出來ればお手拍子喝采といふ處だ、しかし由來自作の米より滿洲粟に嗜好を持つてる鮮內農民にとつては却て迷惑至極なことではなかつたか。

◇…滿鐵々道部八年度輸送貨物は前年に比して十四パーセントの增加を示した、これは社線拔の

綿サロン輸出統制急速具體化計畫

日蘭會商を機會に

【東京五日發國通】日蘭會商問題を契機に綿サロンの輸出統制は生產者と輸出業者の双方から急速に具體化しつゝあるが、輸出業者は三月末日本輸出綿染織サロン同盟會を組織し、輸出統制に乘出すことに決定した、一方生產者側の日本綿織物聯合會でも右同盟會と提議してサロン統制の完全を期する事となり、近く協議會を開く筈、なほ聯合會の統制要項は

一、各生產地に對する綿サロン生產割當て

一、綿サロン取引先の指定

一、海外情勢に鑑み必要な場合は賣止め又は生產の一部休止

等を主眼として居る

市況(五日)

株式 內地株强保合 當市閑散

北濱定期の前場寄は大株三十錢安、大新十錢高、鐘紡五十錢高、鐘新十錢高引は保合、東京短期の新東は六圓乘、日產は六七圓臺の强保合を入れ當市の五品同事、新豆、鈔鈔十錢高、日產六十錢高、新東三十錢高に引け他株は槪ね閑散裡の保合であつた

前場

◇定期(單位十錢)

銘柄	當限	先限
五品 寄	二八二	二八五
中	二八二	―
引	二八二	―

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	二六一	二六一	二六一	二六一
新豆	二三五	二三五	二三五	二三五
錢鈔	―	二三三	二三三	二三三
電々	―	八七	八七	八七
日產	二三六	二三〇	二三〇	二三〇
東新	二三四	二三四	二三四	二三四

滿鐵株(保合)

東京短期 滿鐵新株 六十八圓十錢

大阪短期 滿鐵舊株 六十九圓

滿鐵新	六七	六七	―
滿鐵二新	一六	一六	―

◇離取引

代行二八九、同電力一一五、土木企業一〇〇、窯業一三五、商取二一六、正隆二新九二、九九、撫順、大

○爲替及受渡日步

	爲替	受渡	代渡	日步
五品	一六〇	一四〇	一六〇	一五
新豆	一三五	一〇〇	一一〇	一五

市場電報(五日)

銀塊及爲替

倫敦銀塊	一九片八分七
同 先物	一九片一六分一五
紐育銀塊	四五仙八分七
孟買銀塊	五四留比八分七
スチール	五三弗四分一
アナコンダ	一五弗四分三
英米爲替	五弗一六仙八分一
米日爲替	三〇弗三一仙
米支爲替	三三弗〇〇仙

神戶日米

第一回	三〇弗一六分三
第二回	三〇弗一六分三
第三回	三〇弗四分一

棉花

●米棉

現物	一二仙三五
五月	一二仙〇五
七月	一二仙一八
十月	一二仙三三
十二月	一二仙四一
一月	一二仙四七
三月	一二仙六八

●印棉

ベンゴール	一二四留比
ブローチ	二〇〇留比

(大阪株式、東京株式、大阪期米、東京期米、神戶期米、橫濱生糸、大阪綿糸、大阪棉花、印度麻袋、手形交換高、爲替相場、鮮銀、株式出來高、五品轉觀 等の相場表は判讀困難)

滿洲日報

朝夕刊共十二頁

定價 一部 金五錢 一ヶ月 金一圓七十錢 稅共
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別指定場所 金二圓六十錢 以上二割加算
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社 振替口座大連六〇番

繼宮明仁親王殿下御眞影

【宮內省御貸下】（五日午後飛行便本社着）

皇太子殿下には御降誕以來御成育も御見事に五日御降誕第百四日の御佳辰を迎へさせられ、三殿の御參拜も御無事に行はせられた、昨今は御發育並に御智慧つき殊の外の御趣きにて安らけき尊き御姿には兩陛下首め皇太后陛下の御滿足の程も察せられ宮中御團欒の中心と承る……

◇廣幡皇后宮大夫謹話

【東京五日發國通】皇太子殿下の三殿參拜は無事終り御目出度い極みだ、御降誕以來御見事な御發育振りで安らけく尊きすがたに兩陛下や皇太后陛下の御滿足の程も察せられ感泣禁じ得ない次第である

齋藤內閣の危機

某問題俄然發展 二閣僚の身邊危ふし

檢事局の疾風的活躍

【東京特電五日發】某問題俄然發展し延いて內閣の運命危殆に瀕せり

【東京特電五日發】議會中から問題となつた臺銀所有の帝人株賣買に關し檢事局は五日から全面的に活躍を始め關係者を片ッ端から取調べ開始した、その結果によつては二閣僚の身邊危險なりと傳へられ內閣の運命頗る危まれる

領空侵犯の赤機 敵意なしと判明

釋放に決定

〔滿洲國外交部發表〕

【新京特電五日發】去る三月十一日蘇滿國境を越えて滿洲國領土內に侵入不時着したソ聯軍用飛行機及び搭乘者ソ聯飛行將校二名についてはその後引續き滿洲國當局に於て嚴重取調中であつたが右將校二名は赤の苛政、ゲ・ペ・ウの重壓を呪ひ、脫出を企てた政治犯であり何等滿洲國に敵意なきものと判明しこれを釋放することゝなつた、右について外交部當局では左の如く語る

三月十一日午後十一時十五分吉林省密山縣小興凱湖岸の一地點にソ聯領域內より飛行機一臺飛來し着陸したが附近にあつた匪賊に襲はれ掠奪を受け搭乘露人二名も拉致されたが折柄巡行中の吉林軍部隊が迅速適切なる行動に出て匪賊を四散せしめ機體と共に兩名の身柄を奪回安全地帶に收容した然るに我が當局の取調べの結果右越境

飛行機は 軍用偵察機なることが判明したので特に軍法處に於て搭乘者の詳細訊問を行つたところ彼等はソ聯沿海州スパスク飛行隊所屬の操縱士並びに機關士で豫てソ聯當

局の苛政に深刻なる反感を抱いてゐたもので最近ゲ・ペ・ウの壓迫監視が頓みに加はり身邊の危險を感じつゝあつたが、たまたま當該飛行機の試驗飛行を命ぜられた好機を奇貨とし一息に

脫出を企 て當國內に逋入したものであることを自供したが、その他各般の狀況より判斷するに彼等は何等當國警察の企圖その他當國に關する敵意を有せる形跡なく又當國の公安を紊すなどの惧れなきことが判明したので軍法處に於ては直に兩名を釋放することに決定した、なほ右搭乘者兩名については曩に駐哈ソ聯總領事より我外交部北滿派遣員に

引渡方の 交涉があつたが當國としては既に釋放の措置を執つた次第で、右兩名飛來の事情が上述の如くである以上、彼等は政治犯人と目すべきもので從來ソ聯側における當國逃亡犯人取扱ひの例もありソ聯側としても引續き引渡方要求を固執しないものと思はれる

南昌三巨頭會議

黃郛氏新に權限擴張を要求

河北安定の根本策

【南京四日發國通】駐北平政務整理委員黃郛氏は四日漢口に到着した、氏は近く南昌に赴き蔣介石氏と半歲振りで會見を遂げ北上以來の河北の

情勢を 報告すると共に河北諸問題一般の根本的處理につき積極的建言をなす筈である、行政院長汪精衞氏も蔣介石氏の招電に接して近く南昌に赴くことに決定しこゝに蔣、汪、黃三巨頭の會議が開かれる段取りとなる、從來北支那における諸懸案の解決が遲々として進まない原因は主として河北政權と中央政權との內部的關係が河北問題處理に不滿當で中央における反黃郛派の策動が直に河北政權の活動を停止せしめるためだと見られてゐるが斯かる實情に鑑み黃郛氏は三巨頭會議に於て時局の收拾、河北の

安定と いふ大局的見地から右根本的原因除去の必要を力說し懸案解決に必要な對內的對外的權限の委任を新に要求するものと豫期される、從つて右權限の遂行に必要な河北政權及び軍權の改組問題が當然三巨頭會議の中心議題となるものと解され右

會商の 結果如何が注目されてゐる

鄭特使一行

橫須賀見學の一日

【橫須賀五日發國通】滿洲國鄭特使一行は津田海軍少將等に案內され午前十時三十分

橫須賀驛着 永野橫須賀鎭守府長官其他參謀長以下各幕僚、滿洲國より同鎭守府に留學中の練習生十名其他官民多數の出迎へを受けて永野長官の先導で同軍港埠頭から第二號長官艇伊勢艦載水雷艇に分乘先づ橫須賀海軍航空隊に到り大西同隊司令の案內で隊內各所を見學、十一時頃館山航空隊から飛來した三十機の見事な編隊飛行及び橫須賀航空隊の艦上戰鬪機編隊

高等飛行を 見學した後、碇泊中の伊勢に赴き山本艦長の案內で參觀した後、永野長官主催の艦上午餐會に出席、歡をつくして二時三十分辭去した、直に自動車で記念艦三笠に赴き日露役當時を回想した後四時十分出發したが、鄭特使一行八名は大船にて熙特使一行と別れ熱海に向つた、この日花曇り春風薰る橫須賀市中は戶毎に日滿國旗を立て市內各學校生徒沿道に堵列

日滿小國旗 を打ち振つて盛大な歡迎を行ひ全市を擧げて日滿親善熱の坩堝と化した

熱海の鄭特使

【熱海五日發國通】五日午後六時八分鄭總理一行熱海驛着小學校兒童は手に〳〵日滿小國旗を打振つて歡迎、一行は熱海ホテルから出迎への數臺の自動車に分乘し同ホテルに帝都を去つた第一夜の旅裝を解き、穩かに暮れゆく相模灘を前にして一風呂浴びて歡迎攻めの疲れを癒し久方振りに靜かに讀書に耽つた

熙洽財相

【東京五日發國通】鄭總理と別れて五日夕刻橫須賀見學から歸京引續き帝國ホテルに滯在し愈々來朝第二使命たる日滿兩國共存共榮を期せんとする經濟其他重要問題の交涉工作に取りかゝる事となつた熙洽財政部大臣は愈々六日よりこの工作に取りかゝる事となり五日朝迄に決定した會見日割のみでも左の如くでこの會見は注目されてゐる

・六日 午前九時首相と會見、午後一時陸軍次官と會見、午後六時藏相招宴
・七日 午前九時陸相と會見、同十時藏相と會見、同十一時外相と會見、午後六時日銀總裁招宴

きのふの熙特使

【東京五日發國通】橫須賀軍港から歸つて來た熙大臣は五日午後六時三十分より丸の內中央亭で催された習志野騎兵聯隊の晚餐會に出席した、熙大臣の士官候補生として在隊した騎兵十五聯隊四中隊關係者の組織する會で當時の中隊長の白井豫備騎兵大佐が古馴染、四十名の會合で若かりし熙大臣が營庭で撮つた颯爽たる乘馬姿の寫眞を中央に懷古談盡きず熙大臣が中隊長殿には大分毆へられましたと云へば白井大佐は留學生五人の內、熙さんの勉强振りが最も記憶に殘つてゐますと稱揚し同會より日本刀一口を贈呈し名殘を惜みつゝ八時三十分散會した

全國教員四萬の御親閱 教育非常時に際し全國小學教員の精神作興大會は四月三日の佳き日に二重橋前廣場で畏くも天皇陛下の御親臨を仰いで雨の中に盛大に御親閱が行はれた【寫眞は式場で白い天幕が玉座】

傍系開放問題

個別的に交涉開始

滯京中の八田副總裁談

【東京特電五日發】八田副總裁は議會後林總裁と共に滿鐵を中心とする各種の懸案處理のため政府、軍部方面と折衝を續ける傍ら在京重役を招集して連日重要協議を

續けて ゐるが何完了せざるものあり、歸社の豫定を數日延期したが左の如く語る

滿鐵の傍系事業開放に對しては各方面から至極眞面目な熱心な申出でがあつてこれらのうち滿鐵の方針と一致するものに對しては

個別的 に順次解決して行くことにする考へである、一般に滿鐵の希望と民間投資家の希望との一致がどうかと懸念されたが今迄のところ至極好都合に行きさうである、附屬地行政權問題は所謂返還問題と併せて愼重に考慮すべきものであると思ふ、一部には差當り敎育行政だけでも關東廳に移管せよといふ論者もあるが之は附屬地外の

日本人 敎育をどうするかといふことから定めて行かなければならぬ、滿鐵としては拓務省からこの問題に就いて何らの話を聽いてゐないので滿鐵としての方針を決める段取りになつてゐない、先頃滿洲國の鐵道を中心とする滿鐵の借款を整理するとか傳へられたがそれは滿鐵の經費をなるべく節約して行くといふことを誤傳したもので今のところ左樣な考へはない

けふの閣議

【東京五日發國通】六日の定例閣議に齋藤首相は西園寺公訪問經過並に

園公の意圖を報告後居据り決意を[illegible]に結束を求め內閣今後の政策問題に議會中各法案審議の希望條件等の善後處置につき打合せをなし、米問題の臨時議會開會の件も協議される筈である、文相後任は松本商相を廻す意圖だが松本商相は拒絕の意見で說き落しに困難が豫想される、結局松本商相說得後商相後任は政友より入閣の意向である閣僚異動は六日閣議で決定に至らず七日中に決定される模樣である

排日立法問題に絡み 林駐伯大使不信任

在留民一齊排斥の聲

【東京特電五日發】某所着電に依ればブラジルの憲法審議會で問題となつた排日法案はその後日本における輿論の喚起と廣田外相の訓電による外交工作のために言論界は筆を揃へて反對し遂に排日條項を含む憲法修正は削除さるゝ氣勢となつたが新憲法に基く九月の議會で再び提案される惧れあり、この對策が必要とされ在留民は大使林久治郎氏の不信任を唱へその更迭を先決要件としてゐる

寺尾政府代表

【東京五日發國通】日印會商の政府代表たる商工省貿易局長寺尾進氏は來る八日デリー出發十七日コロンボ出帆の日本郵船白山丸で歸朝することゝなつた

大連市學務課長

大連市役所では今回學務課を設置することになり吉野總務課長は學務課長兼務を命ぜられた

飯塚司長赴任

【東京五日發國通】滿洲國司法部刑事司長に赴任の飯塚俊雄氏は五日午後一時東京驛發渡滿の途についた

林陸相園公訪問

【東京五日發國通】林陸相は六日午前十時興津に西園寺公を訪問就任の挨拶をかねて會談する事となつた

德川公歸朝

【東京五日發國通】德川家達公は約半歲に亙る歐米漫遊より愈々五日午後二時橫濱着の龍田丸で歸朝した

保安主任會議

關東廳管下各警察署保安主任會議は來る四月下旬遲くも五月上旬中に二日間に亙り關東廳にて開く筈であるが、各警察署提出の議案は既に關東廳保安課に提出濟みとなつてをり、その數は百二十餘件に及び、最も多い議案は自動車交通に關する件並びに危險取締りに關する件であり提案數の半を超えてゐる

國內一體の需要增

昨年度撫順炭

撫順炭の八年度（昭和八年四月一日より九年三月末日に至る）の總販賣數量は各箇所より報告を取纏め中のところ五日全部出揃ひ次の如き數字を示した（單位千噸）

	八年度	七年度
社用	六三八	五五八
地賣	二、三八五	二、三七〇
日本	二、三九八	二、八三五
海外	七三六	九九七
燃料	八六八	七八五
朝鮮	四〇四	三四四
計	七、八七九	六、八八九

即ち總計七百八十七萬九千噸で昨年度に比し實に百萬噸といふ激增ぶりであつた、かゝる增加を示した原因は、海外が減少した以外他は全部增加したゝめであるが海外に需要はありたるも炭繰りがつかざるため抑制した結果で、もし山元出炭が十分なればこれより遙かに多くの賣炭を見た事は當然である

社說

農產物過剩とその加工

奥地特產市場に於ける極度の不況、並に各方面へ波及するその影響に就いて、吾人は曩に滿洲國當局者の注意を促した。しかもその救濟の爲めには金融機關問題や取引方法に關する重要事項と併びて、農產物自體の內國消費を盛ならしめる爲に、加工業振興の必要を思はざるを得ない。殊に滿洲特產物の如きはそれを原料品としてのみ取扱ふことの出來ない時代傾向を發生させて來た。特產物中の大宗たる大豆の現狀に例を求めても、對日貿易は勿論、南支又は歐洲方面への供給額減退を示し、今まで年々增加一方だつたのを反對に過剩狀態に陷らしめた。

◇

是れは商業的に見て一時の現象に過ぎないやうだが、滿洲國の國民生活上から考ふれば、今少し農產物の國內消費を多端ならしめる必要がある。若し此點に思ひを注がぬならば、假令外界事情の變化によりて現下の行詰りを恢廓し得ても、原料商品の弱點は遂に之れを除却することが出來ない。それは獨り農產界の大宗たる大豆、高粱のみならず、一般農產物に關する問題で、最近滿洲粟の朝鮮輸入に對して關稅率の引上を見た如き、以てその一斑を推想することが出來る。

◇

滿洲農產物の加工に就ては、夙に識者の間に研究が續けられた所だが、比較的普遍性を有する企業計畫が無かつた。それには種々原因もあるが、畢竟はさうした加工品の用途を、國內大衆向の消費に求めなかつた爲だと思はれる。現に大豆にしても高粱にしても、その消化方法に於て、日本と滿洲國とが非常に異なつて居た。就中高粱の如きは滿洲民族の主食物であつて、日本の米に匹敵すべき位置にある。從つて是れが國內消費を至便に且つ旺盛ならしめんと欲せば、この地大衆の需要に適應する加工業が起さるべきだ。

◇

然るに從來滿洲國側は文化未開の故に、日本側は用途の異なるが故に、各々實情に徹した製法を閑却して居たやうだ。內外を問はず現地住民の生活基礎は、その地所產物の上に自給を求むることが必要だが、この目的を達成せんとするに方り、外來者は成るべく自己の樣式にその資料を適應させ、原住者亦加工に依る品質の向上、及び之に伴ふ利用範圍を擴充すべきだ。白人渡來前の北米印度人が極めて原始的に使用した玉蜀黍も、歐洲文明の車轍に依つて驚くべき變化を來し、小麥と並んで全國食料品の中堅たるに至つた。今後の滿洲農產物とその加工業とも、この點に於て多くの考量點がある。

◇

現に近年開始された高粱製粉事業の如き、その製品に對する需要大に起り、此好成績に鑑みて組織の擴大が企圖され、同樣の計畫が具現せんとして居る。之なども滿洲農產物に對する加工觀念の進步で、從來外來者が抽象的に考察した產業化と異なり、現地在住者の傳統を[illegible]はずして加工するに至つたのは行詰れる滿洲農產物の國內消費を盛んにし、依つて以て原料輸出品の弱點を緩和するに於て、一大新光明を投げたものだと評し得る。

◇

かうした農產物を國內消費に適當とする爲の加工は、日本よりも滿洲の方に自然性が多い。前者は人口に比して主食物の資料少きが故に、生產奬勵と自給自足策との間に矛盾百出の狀態にあるが、大陸國滿洲にはさうした撞著が比較的少い。產業的に考へても、農產物の利用を原料輸出の一途に求めることは、農本主義を押行かねばならぬ滿洲だけに、甚だしき不經濟不合理な現狀である。殊に況んや滿洲農產物の各種加工に依つて、外來輸入食料品の代用に資すべきもの枚擧に遑あらざるをや。特に產業市場現時の不況に鑑み、吾人は當面の救濟策と併んで、產業眼から見た農產物利用問題の必要を力說したい。

春燎爛の內地へ 宿醉運ぶ一日旅

空の旅　これが大連か大阪か 奇異な錯覺に襲はる

大阪にて　藤井啓輔特派員記

今までペンキ臭い船に乘つて玄海灘の大浪に搖られて四日三晩退屈な船旅で漸く大阪に行けた我々は、朝大連の緒土を靴裏に着けたまゝ旅客機で一飛び其の日の夕大阪の煙深い街に降り立つた時、ともすれば奇妙な錯覺に陷る程驚かされた、大阪と大連の距離の觀念を失つて了つた距離の短縮以外に空の旅は汽車、汽船以上に快適だ、不愉快な汽車の煤煙、動搖、汽船のローリングを知らずに濟む、成る程飛行機も搖れる、然しそれは不時の危險を危惧する念慮から氣持を惡くするので、氣流の平靜な海上を飛ぶ時は快よい發動機の微動は軀を搔るやうな

一種の快感 を覺えて眠氣に誘はれる飛行機も三百米位の低空を飛んで地上の物體がはつきり見分けられる時は、若しも落ちたらと恐怖を感じる時があるが、二千米以上の高空の時は下界を見ても落ちるといふ現實感を持てない、餘りに離れすぎてゐるからだ、ましてや眼下に白雲重疊して地上を見ず、頭上に太陽をいただいてゐる時など全く天界の人になりきつたやうな心になつて、落ちる物理的常識まで失つてあの白雲の上に寢て人生に疲れた體を休めたいとさへ思ふ鷄子嵩の上空に來た時遠淺の海底の地勢がダンダラ縞のやうにはつきりわかる、高い上から見た時海底は可成りはつきり見えるものでだから潛水艇も飛行機の眼を掠めることは出來ないのだ、大孤山邊りまでは薄雪が所々山肌を蔽ひ春近きを思はせてゐたが、新義州から

地上に圓味 を見せて厚らはふつくらした白雪がい眞綿をかぶせたやうで機上でも寒さが足先から這ひ上つて來た、寒暖計も五度ばかり下つた。京城からは高山が多いので午前十時五十分京城を出立してからは高度計の針がぐつと廻つて二千五百米を指す、雪は全く見えず山に青々と樹林がみえる、北鮮から南鮮へ皚々たる白雪に包まれた地上から常綠樹の生ひ繁る青々とした世界へ、僅か一時間足らずのうちにこれだけ下界の風物が違つて來る、二千米以上の高空から俄かに地上に降りると氣壓のせいで耳がキーンと痛い

蔚山から朝鮮海峽を越えて福岡へ飛ぶ時は大事をとつて飛行機も

三發動機付 八人乘りの大型で救命浮袋まで備へてあるが海上が一番安樂だ、山嶽地帶は氣流の激變があり時にエーヤポケツトなんかで急落し驚かされるので飛行士も注意して高度も二千以上にとるが、氣流の平靜な海上は高度も五百位で時に操縱士もハンドルを離して居眠をする程安全なのだ、日本に近づく程に海流の關係からか海水の色も青々と美しくきらめいて春の海の油つこくたゆたうて、關釜連絡船ゐるが玩具のブリキ船のやうに眼下に浮いてゐた。

◇瀨戸內海の春景色◇ 飛行士も居睡りする

速さ、世界がこんなに狹くなつたものか、または眼前の大阪の街がほんとのものか自分の感覺を疑ひたくさへなつて來る、前夜の宿醉をそのまゝ二千米の上空へ大阪まで持ち續けた私は、心齋橋の夜のネオンの光を見て大連の街の燈と二重撮しにぼやけて見えて心ブラの女の顔が浪速町を歩く女の顔に渾然一體全く大阪大連間一千六百八十三粁

行屆いた田畑 整然、碁盤の目だ

內海のプリズムが織り出す 奇しく怪しき極彩色

午後二時前朝鮮海峽を踏破して綠樹の茂る九州の土地へかゝつた、懷しい故國の山は鬱蒼たる森林に包まれて柔かい曲線を描き乍ら眼下に連なつてゐる、突兀たる禿山の直線的スカイラインになれた我々の眼には母國の山河は何とも云へない溫かみを感ずる、內地の上空に來て眞先に印象を受けたものは田畑の區劃整然たることだつた、滿洲、朝鮮では田畑が曲線模樣に或は耕のやうに不規則に耕作の縞柄を描いてゐたが、朝鮮海峽を越えてからは到る處直線的縞模樣をはつきりみせて行き屆いた耕地整理の跡を見せてゐる、田畑は青々としてゐる、何處の空から見ても內地の平地は隅々まで人の手が入つて耕然たる縞模樣をみせて耕されて居り、山の上まで人間の手が弄り廻して居る、人工の加へてない處はない、土地も狹いが人間も多い世智辛い處だと空の上から感じた

福岡を發つたのは午後二時五十分

瀨戶內海 の春色は雲烟模糊のうち右手に四國の山々を包んで薄曇りの春陽がその上に金泥をところどころ塗抹してゐる、群れ集ふ白帆を張つた漁船、追ひつ追はれつ走る汽船が赤腹を見せ或は煙を遙か後に棚ひかせてゐる、船跡の浮きと浮きとがぶつかり合つて白く泡を嚙み合せてゐるのが見える、瀨戶內海は纖細な神經を持つた生物のやうに絕えず呼吸してゐるやうだ、艦中を走る大船小舟の傾しさを訴へたいやうな眼を空に向けてゐる、渤海、玄海の荒海を見て來た空の私は內海の若々しい優しさから純情青年の神經を感じた

岡山邊りの上空で注意をひいたものがあつた、この邊りの農家は田畑の各區劃每に一戶づゝ離れて耕地の端に夫々建つてゐる、今まで何處の農村でも耕地のほかに農家は皆部落をなしてかたまつてゐるのに、この邊一帶は空から見れば異樣な感じを受ける

自作農の 發達した處かと思つてみた

岡山を過ぎた頃、夕方に近い太陽が漸く西の地平線の上ににぶく大きくなつた頃、空も曇つて來た、と內海の面も蒼白に變るさうな色に變じて來た、青松白砂の小景が到る處に點綴する、だが空から見た勝景はそんな局部的な風物より淡紅、白、紫と雲に模樣とられた蒼穹と、濃淡青色の海、樣々な奇妙な形に區切る地上の山の曲線と起伏とに雄麗な、玄妙な、これに遠近の錯覺までが不思議な作用を交へて立體的な畫布に描かれた繪畫を見る美觀を感じさせるものだ東の方紫色に彩られた空を區切る淡路島の奇妙な曲線と西方淡紅色の地平線に浮ぶ小豆島の秀麗なシルエット、それから海面に畫く陸地の

凸凹曲線 は雲の動きに連れて太陽の配光に連れて或は新野獸派の線太い筆致を見せ、或は南畫の枯淡な遠景を眺めさせ、また印象派の幻覺を寫はせたり複雜な美しさを見せてくれる

大小汽船が寄り集ふ神戶港を眞下に見て赤塗りの船體に活氣を仄めかしてゐる造船所を眺め乍ら夕刻五時四十分大阪木津川飛行場に豫定の如く着陸した、林立する煙突、煙におほはれた

大阪の空 はまことに產業都市大阪の躍動を感じさせる、鉛色にくすんだ大阪の空は近代資本の重壓の如く重苦しく感じられた

寫眞說明
1蔚山着陸前の上空より2博多の街近づく3廣島城下を望む4瀨戶內海の春色5內海の色々6神戶港

第三次自衞移民 五百名を詮衡

濱北、京圖兩沿線に

【東京特電五日發】拓務省の第三次自衞移民五百名については近く全國より縣當局及び聯隊區の詮衡により決し訓練の上八月上旬內地を出發する筈である、右五百名の內五十名は文部省の盛岡第一、三重第二拓殖訓練所にて訓練を受けたものを當て殘り四百五十名を一般より採用する

一般募集の地域及人員は新潟四十、山梨、鳥取、島根、山形、福島、宮城、長野各縣より各三十名、鹿兒島、熊本、佐賀、福岡、高知、山口、岐阜、廣島各二十五名づゝ

▲**移民の詮衡** は（一）思想堅實にして現在農業に從事しをる年齡三十五歲以下の者、但し特に適任者ある場合は四十歲以下の者の採用を妨げず（二）在鄕軍人（未入營在鄕軍人を含む）を主とするも人物に依つては在鄕軍人たらざるも可とす（三）妻帶者を可とするも人物によりては獨身者たるを妨げず（四）各種經費の引當てとして金三十圓以上を供託し得るもの

訓練 は九州、中國、關東方面に分割して行ひ七月上旬より約一月間右訓練を終り一日歸鄕させしめ八月上旬渡滿入植せしむ

尙ほ入植地は未定なるも佳木斯及び濱北、京圖兩沿線となる模樣である

日本海航路に 重點を置く

朝鮮總督府航路補助

【京城特電五日發】朝鮮總督府遞信局では九年度航海補助命令を爲したが特に日本海航路に重點をおいてゐる、從來東京、雄基線（京濱、名古屋及び阪神方面連絡）は二千噸級一隻一年十四航海であつたものを今年は二千噸級一隻と二千二百噸級一隻の二隻とし一年各一隻二十九航海とし更に浦鹽、城津、釜山及び關門などの諸港に寄港を省略し得るの途を拓いた、これにより雄基、東京線は四日間を短縮することが出來る譯である、更に西朝鮮、東京線も仁川基點を新義州基點とし新義州、大阪線を三日航路になつた、これにより今年度の朝鮮命令航路は日滿連絡輸送の迅速圓滑を期すべく企圖し施されるもので未曾有の改善として注目さるゝに至つた

稅乘沙汰止み

安東通過安奉線による朝鮮向旅客の不便緩和の方策としてこれに通關取扱および規定を周知せしめるため安奉線各列車に朝鮮側稅關吏を乘車せしめたいとの税關當局の申出てに對し滿鐵々道部では、單なる案內のためなら差支へないであらうとの見地から原則的にこれを承認詳細打合せのうへ正式實施の手筈を定めてゐたが、その後關東廳當局の意向を質したところ形式の如何を問はず滿洲國內である安奉線に朝鮮總督府官吏が入り込むことは承認し難いとの見地から不許可の旨を通知して來たので結局この企ても沙汰止みとなつた

八相

競賣の不思議　一市民生

◇滿日三十日夕刊所載いろは事件極東週報四月一日の水道料問題等々かういふ風に表面に表れないものを數へあげると數限りなく稅務吏の橫暴が暴露されるといふ思ひます、何時の間にか差し押へられてゐたり、突然やられたり、全く二東三文に競賣に附されたり、泣きの淚で送る幾多市民のあることを思ふと全く暗然たる外はありません。

◇殊に公賣に當つては滯納稅金の何倍かの品物を無價値同樣にたゝき賣られるのは如何でせう、何かのカラクリであるのではないかと邪推せざるを得ません。

◇聞く所に依りますと、一般競賣手續をせず常に出入の或る特定の者に民政署の見積價格より少し許りの差異をつけて賣却するらしいとのことです、實際とすれば誠に不思議です。

◇民政署出入商人が何時も少數の限られた者であることを知る時益々この感を深からしめます、差押へ官吏と談合して差押へ物品を賣却してゐるのだといふこともいはれ勝ちです。

◇色々な問題が表面化した際、民政署當局の御答辯を要求いたします。

お答へ「一市民生」なる人の投書に對しては當署としては「その事實なし」とお答へ致します差押へ物品の公賣については規定通りの手續を踏み正式に行つてゐるもので最近入札者の數が減つたのは商人達がそれに依つて得る利益がなくなつた爲めです、稅務吏と商人との關係云々といはれることは單なる臆測であると思ひます、一般に稅務吏は惡く思はれてゐる樣です、しかし之も一般が稅金納入に關する諸法規を知らないための誤解であることが大半を占めてゐる樣です、徵稅事務に關する多少の理解はあつてほしいと思ひます、さうすれば今迄の色々な問題も殆んどその影をひそめてしまふでせう（大連民政署財務課）

關東廳辭令（五日）

依願免本官　關東廳遞信書記　田上巳熊
兼同縣農業補習學校助教諭　香川縣公立小學校訓導　森本武雄
任關東州小學校訓導（南山麓）　平山ムネ
同上（常盤）　關東廳高等女學校教諭　藤本ウタ
同上（聖德）　任關東州小學校訓導　棚瀨隆子
任關東廳高等女學校教諭（旅順高女）　杉田勇次郎
任旅順高等公學校教諭

人事

▲村田愨麿氏（滿日社長）五日夜九時大連驛發奉天へ
▲中村猛夫氏（滿日外交部長）同
四時二十分發奉天へ
▲橋本喜代治氏（同整理部長）同
▲末光高義氏（新任瓦房店警察署長）離任挨拶のため五日各方面歷訪
▲林淸勝氏（大連連鎖商店支配人）同上
▲池田京治氏（大連中學校長）新任挨拶の爲め五日市內各方面歷訪
▲小林完一氏（鐵路總局員）來る九日出發奉天赴任につき五日挨拶のため市內各方面歷訪
▲藤井崇治氏（關東廳遞信局長）五日午後四時二十分發列車にて新京へ
▲秋澤裕氏（關東軍二等軍醫正）同上
▲濱井碩二氏（開原警察署長）同瓦房店へ
▲訂正　昨夕刊の人事記事中、秋山五郞氏とあるは秋山義隆氏の誤記につき訂正

大觀小觀

林陸相の園公訪問、荒木前陸相と前以て打合せて用意周到、大きな背景を持つだけその一擧一動注意を惹く事大▲後任文相に擬せられた松本顧問官、自分は不適任だと尻込みする、ヘンな事でやめた人のあと釜ばかりに廻るのも氣が進むまい▲無能の人、婦人に理解ある人、妻君をいらくさせぬ人、金錢に淡白な人、宗教がどうのと注文されては全く吾れこそはと名乘り出る人もあるまい▲それに大學小學の先生方の思想問題やら、瀆職やら學位賣買、不正入學など、面白くない事ばかりの文部省▲誰だつて好きもすまいが、だからこそ嚴選は益々必要▲小山法相待合入りの噂は實に奇怪、議會で議員の口から出て、司法部から無根と聲明されて故桂公愛妾の證言となる▲法相の平素を知る者は左樣な事ある筈なしと思ふも、世間では疑惑を生ずの▲眞相をハッキリさせれば司法部の威信に關すと說く者あるは無理ならず▲この際お鯉取調べを受け僞證の廉で拘引狀執行さる、眞相をハッキリさせる事になるか。

本日廳報を添ふ

市況（五日）

株式　內地變らず 保合閑散

內地主力株保合を入れて當市も氣配變らず諸株共殆んど閑散裡の釘付商狀であつた

後場

[illegible]

奧地市況

[illegible]

市場電報

大阪株式（短期）　東京株式（長期）　東京株式（短期）　大阪期米　神戶期米　東京期米　大阪綿糸　神戶特產

[illegible]

家庭

新しい五月人形 (3)

◆…五月節句の節物は粽と菖蒲です―粽は茅巻で、昔は茅の葉を用ひたものださうです、先づ糯米を水にひたしたものか米粉をこねたものを細長く又は菱形に笹、菰又は笹の葉などで巻いて蒸してこしらへます、くま笹が「ちまき笹」と呼ばれてゐるのも、この時に用ひられるからであります。

◆…粽にも、笹ちまき、茅ちまき菰ちまき、篠ちまき、燈心草ちまき、甘草ちまき、錨ちまき、筒ちまき、粒ちまき等の種類があります。【寫眞は桃太郎と金太郎の競馬です】

大光作

學校も家庭と同樣 子供の遊び場

一年生教育者 體驗座談會【二】

記者 幼稚園から入つた子供と、さうでない子供とは成績が違ひますか?

上野 一年生には幼稚園からの者が三分の一位ですけれど、その子供が特に成績がよくて他の子供が惡いといふことは見受けられません、唯、今迄の長い間の自然の家庭教育は隨分影響するものと考へられます

記者 子供の家庭の今迄の生活と學校でのこれからの生活とにははつきりした一線が引かれますか?

土川 今迄よく親達は子供が學校に入ることによつて急に若木が大木になつたやうに考へ學校へやればすぐにどんな學科でもどんどん覺えられて忽ちおとならしくなるものゝやうに信じ切つて居る樣ですが、昨日迄家庭でのタイラントとして自由に遊び續けて居た子供に、どうして今日から神妙な大人のやうになれなんて云へませう又それはさてもなれるものではありません、そこには時間的に、たつた一時間の距りしかないのです肉體も心もその區別の出來ない時間的推移にどうして親達の考へるやうな急速な進歩を見ることが出來ませうか、併しそれは親の慾目でさう考へるのでせうけれど、そのあせりは却て害になるばかりだと考へます、私は學校は家庭と同じやうに、そしていくらか組織的に教育的に子供を遊ばせる所であると考へたいのです、勿論これは一年生の入學當時に就いての事ですが……この點をよく理解して戴かないと、先生はまるで學校で子供と一緒になつて遊んで居るんぢやないかといふやうな無理解な非難を受けます、しかし子供と遊んでばかり居ると思はれるところに一年生の先生の尊い使命があるのではないでせうか、それからもう一つ、今迄は家庭教育は學校教育に追隨し復習するところだといふ風に單純に考へられて居りましたけれども、これからは寧ろ學校教育が家庭教育に追隨せねばならぬのではないかと考へます、これも低學年において特にさうです、又一般の教育理論もさうなつて來てゐるやうです。家庭教育こそ子供を眞に立派に育て上げるところであると父兄の方々に固い決心を持つていたゞき度いと思ひます

記者 健康に就いて最初注意せねばならぬことは?

上野 滿洲は子供の環境が身體を虚弱に導かうとするやうな條件で滿たされて居ます、胸圍の狹い事などが特に言はれますが、入學當初子供の嚴重な健康診斷をやつて置くことは必要だと考へます

土川 私も入學當初の健康問題に就いては考へて居りますが、統計的に言つても七、八歳位の子供は一番罹病率が多いやうです、これは日本ばかりでなく世界的にそのやうです、といふのは家庭より學校への急激な生活樣式の變化が不自然な要求を子供に或る程度強制せねばならぬといふことに起因すると思ふのですが、そのために發育の一頓挫を來すことはよく見られます、はしかなどやらなかつた子供は大概一年生の時やるやうです

上野 子供の發育段階に應じて四月と九月の二期に入學させるといふやうな方法も今後に殘された問題ではないでせうか、成城學園などでは既にこれを實施してます

土川 昨年は四月身體檢査を行ひましたが、眼病、耳鼻科の病氣等が非常に多かつたと思ひます、入學前に家で充分發見出來得るものが等閑に附せられて居たと云ふやうなのもありました、入學までに治し切れなかつた子供に對しては急速にこれを治して欲しいものです、扁桃腺やアデノイドが如何に子供の學習能力に關係を持つかといふことは專門家によつてしばしばいはれてゐるとほりです

☆娘姿もあどけなく……☆

☆……訪問着をお召しになる時は☆

◇…女學校が濟んだからつて急にウエーヴのゴテゴテした洋髪もドウかと思ひますね、若し訪問服でも召す場合でしたら、いつそ馴れたお下げに無地の大きなリボンでもお結びになつたら―お化粧も粉化粧程度の極く自然な方が若々しくお上品です。

◇…お召物は衿巾をせまく半衿も細目にのぞかせて、帶は名古屋か袋帶の輕いものをあつさりと結びませう。あんまり帶の位置が高くては苦しさうですし、帶揚を極端にひろく見せたのは惡趣味です。

◇…柄がツンツルテンにさへならなければ「肩揚のとれぬ」娘姿もあどけなく嬉しいではありませんか。(内田秀子さん)

"美服家"たらんには

これだけの用意をして置け

アドルフ・マンジユー君の洋服着方秘傳

ロンドンとハリウッドとニユーヨークの有名な服屋さんが口を揃へて「世界十大美服家の一人」と折紙をつけたアドルフ・マンジユー君に紳士の洋服の着方秘傳を伺ふと美服家たらんとするには決してお金持である必要はない。

青 年紳士諸君=勿論未婚の=は一週三十弗の收入があれば立派な服裝を整へることが出來る 斷つておくが三十弗は約百圓、一週百圓ぢやチトむづかしいと仰言るかも知れないが、何しろこれは一寸散髪に行つても一弗五十仙、卽ち我が約五圓近くになるアメリカでの話だからそのお積りで。でマンジユー君は續けて曰く洋服なんてものは注意深い選擇眼と自己に對する認識と、それから自分に合ふか合はないかといふことに對する本能的な敏感な嗜好の問題なので金の問題ぢやない。先づ

美 服家たらんとするにはシーズン別にして少くとも三着づゝ、出來るなら四着位の洋服を持つ必要がある。その中の一着は先づ地味な紺サーヂ又は黑のもの。次は茶色系のものを一着、最後に勞働服といつたものを一着、若しお金が許せば半ズボン・スタイルの輕いものを一着。これにちよい〳〵宴會なんかに出る樣な人は地味なスタイルの夜會服を一着揃へればいゝ。

夏 ものは、フランネル二着で結構、但しサラリーの餘り多くない樣な方はなるべく眞白なのよりも縞ものを選ぶこと。靴は先づ四足乃至五足ぐらゐ、茶系の服や勞働服には茶色の靴黑系の服には黑靴が原則、それに型の全然違つたスポーツ靴を二足、夜會用にはパテント・レザーのが一足あればよし。最後にワイシヤツ、苟も美服家たらんとするものは最少限先づ

夜 九枚の日常用のワイシヤツと會服の奴を一つ用意しなければならない。そしてワイシヤツは必ず三枚を何時でも手許においておく。一枚はその日に着るので後の二枚は萬一洗濯屋が一日二日遅れた場合の用意に備へるんである(寫眞はアドルフ・マンジユー君)

幼兒の春は乘物から

三輪車・四輪車値段調

◇…幼兒の春の遊びは先づ乘物にはじまります。坊ちやん専用の觀があつた三輪車もこの頃では孃ちやん達にも親まれるやうになり、需要の増加は三輪車一臺三圓から五圓といふ大衆的なお値段になりました。

◇…三つ四つの小さいお子さんには安全な四輪車(自動車型)が歡迎されますが、これも年々スマートになつて34年型の素晴らしいパツカードやキヤデラツクに彷彿するものもあります、値段は五圓から三十五圓前後まで。

◇…歐洲大戰から近くは滿洲事變に燦たる威力を輝かしたタンクの雄姿をそのまゝに模した今年の新型四輪車(十四圓半)は軍國の春にふさはしく坊ちやん達の人氣をよんでゐます、新型では別に三輪車に荷物入れの箱をくつつけたリヤカー(八圓半)も玩具やお人形さんを持つて歩くのに大變重寶です。戸外生活が叫ばれて小さいお子たちを掛けさせて押して行く押車(三圓―七圓半)や乳母車(十圓―二十五圓)も年々需要が殖える一方です。

日本棋院秋季大手合戰譜(第十六局)

先相先先番三段 村田整弘
四段 藤田豐次郎

●八一ツの九 ○八二テの十七
●八三リの十五 ○八四ツの八
●八五ソの十一 ○八六ロの五
●八七ハの五 ○八八チの十七
●八九ロの六 ○九〇ハの六
●九一ロの七 ○九二ロの八
●九三ロの四 ○九四ロの十七
●九五ロの十八 ○九六ロの十六
●九七イの十八 ○九八ツの十二
●九九ツの十一 ○一〇〇ルの十二

所要時間累計(白 一時三十分 黒 二時卅七分)(制限時間各八時間)

―【5】―

對局者のことば

黒 八十三は形勢が惡くない意味において自重したのです、自重は中央、七一、二七、七三の間のウスミにそなへた譯ですが、一つには他に急を要する打ち場も考へられませんでしたから―

白 八十四は黒のワタリを防ぎつゝこゝで黒がどう受けるか、樣子を見ました

黒 八十五と應ずれば後に譜の白九十八、黒九十九の交換から白かされる事になりますが、八十五を(ソ十)と堅くツゲばその白(タ十一)は利かされない代りに白(ツ十五)とハネられた時、黒は九十九に凹んで活きるか、さう凹ますに(ツ十四)とマガつて後手セキに甘んずるか、といふ辛い立場に置かれる、兎に角黒から(ツ十六)の處のハネツギが先手で打てなくなるのはヨセとして小さくない差だと考へました

白 黒八十七は九十三と受けられる事とばかり思つてゐましたが、譜の如く八十七と上からオサれゝば八十六は一種の利かせと見られる點に滿足し八十八と轉じましたけれど八十八そのもの、是非は自ら別問題でした―

黒 八十九以下を怠ると白九十三(ハ二)黒(ロ三)白(ハ三)黒(ニ三)白(ハ二)黒(ロ二)の次に白九十とツツパラれる味、もしくは九十三と出ずに白に八十九に單にヒカれるヨセ、いづれかを含まれるのがいやでした、この點、八十七の不合理に歸せしめられるかも知れません

黒 九十七の手で(チ十八)にツケ白(リ十八)黒(ト十七)白(チ十六)など、交換しても結局九十七のサガりは省略できないので、さう交換するだけつまらないと思ひました

戰の跡

◇黒八十三は對局者のことばでも察せられる如くこの處聊か打ち方に困つたのであらう、八十三にて(カ十)にノゾキ、白(タ十一)黒(カ十二)と選んで中央に幾分でも模樣を張るなどは考へられるが、黒八十五に就いての對局者のことばに現れてゐる如く白(タ十一)が加はると左邊の石に關しまづい事が起つて來る、つまりこゝは白(タ十一)が何時でも利いてゐる處と觀て置かなければならないのである

◇黒八十七と上からオサへるには中央に關する意味がなければならぬけれどこの形勢ではその中央がつまらない處であるから八十七は無論單に九十三と受けるべきだつた

◇白八十八では(ニ十三)に補つておくなども相當の著點と考へられる

大連 JQAK 四月六日

▲午後零時五分 經濟市況、ニユース
▲午後一時(大阪より)第十一回全國選抜中等學校野球大會試合實況 甲子園野球場より中繼
▲午後三時三十分 經濟市況ニユース
▲午後六時 ニユース、職業紹介事項
▲午後六時三十分「萬歳」大倉壽賀丸、智惠子
▲午後七時(東京より)「荻江節 鐘が岬」唄荻江壽々、同荻江米 三味線荻江竜、同荻江房
▲午後七時三十分(大阪より)「浪花踊」=大阪新町演舞場より中繼=
▲午後八時三十分(東京より)時報
▲午後八時三十一分 ニユース、氣象通報

本社特選 新棋戰(其四)

平手 先四段△加藤富久 四段▲中村熊治

【圖は一五歩迄の局面】 加藤氏持駒歩

▲四四角 △二五銀
▲三三銀 △二八飛
▲六五歩 △一四歩
▲六六歩 △一五香
▲五六歩 △同銀
▲六五銀 △同歩
▲八六歩 △五五歩
累計六十一手 △同歩

土居八段講評

中村君の四四角は、機宜に適したよい捌きである、尚六五歩打は又善い攻めの筋で、敵若し同歩なら八六歩、同歩、八五歩打の繼歩の好手がある、次に八六歩の目的は、敵若し同歩なら八八歩と打ち込み敵玉を亂しその機に乘じて攻勢を取らうとする良策である。

萩原七段解說

加藤氏の二五銀は、次に三四銀と出る含みで、敵に攻撃の順を與へないで攻め破らんとするのである、中村氏の四四角は、三三銀では角の働きを失ひ守勢になつて面白くないので四四角と出たのである、次に三三銀と防いだのは、加藤氏の二六飛の拙策が影響したのである、中村氏の六五歩は飛、角、銀、桂の協力に據つて敵陣を一擧に擊破せんとするもので、加藤氏の一五香は六五同歩では八六歩、同歩(同銀は五六歩と突かれて悪い)八五歩、同歩、五六歩、同歩、八八歩同銀(同玉、八五桂)六五銀と攻められて悪いのである、中村氏の五六歩は、角筋を利かし六五銀の强手を含むのである、加藤氏の五五歩は、五五銀では六六歩と打たれて悪いのである。

兒童晴れの入學式に肝心の先生がゐない
學年始めに職員十名の異動で 安東大和校父兄不平

【安東】滿鐵各學校教職員の今回の大異動で安東大和小學校は大林校長のハルビン轉任を始め總計十名の轉出及び退職を見たがこれ等の先生方は生徒、父兄の信望篤く離安を惜まれ父兄は揃つて感謝の意を表し記念品を贈呈し美はしい情景を呈した、然るに二日の始業式までに後任教職員十名のうち着任した者は僅かに一名に過ぎず大事な新入學生擔當教師が殆どゐないといふ珍現象を呈したので父兄間に俄然物議を釀し滿鐵學務當局の措置を非難するに至つた

父兄側の言分は大和校は由來教師も生徒、父兄間の情誼が篤く校長以下多年勤續した先生方が一時に十名といふ半數近くも異動することは大打撃であるが、事情已むを得ないものとして我慢し美しいお別れをしたのであるが、大事な入學式に後任者中着任したものはたつた一人で先生方が缺員だらけで入學式を擧げたのは殘念である、前校長は内地出張中であり新校長は未だ正式發令前であるから已むを得ないとしてもほかの先生は學年末の休暇が十日もあるのだから入學式には間に合ふやう着任させるのが學務當局の當然の責務であらう

と甚だしく不滿を表してゐるのでこの父兄會の總意を代表して大津地方委員會議長は四日中西地方部長に事情を總へ善處されるやう電請した

ても現在の樣な荷馬車の溜場や競賣場に利用されてゐる事は何んとかせねばならんと思つてゐます

吾等の聖地旅順に兩軍神の銅像建立
舊市街の中樞元八島座跡 全市民協力具體化へ

【旅順】旅順舊市街の中樞元八島座跡の廣地を綠化し市の風致を添へたいと云ふ運動は昨今各町内會に於て唱へられて來たが更にこれが實現と共に最も熱心に主張しつゝある乃木町三丁目町内會ではそれ〳〵その土地を誇りその地方人は勿論內地は勿論諸外國各地ではそれ〳〵その土地を誇りその地方人は勿論き先哲偉人の銅像が建立せられその土地を誇りその地方人は勿論、一般來遊見學者に對しても崇敬の念を深めしめその印象と精神的教育方面に對し多大の貢獻を與へつゝあるにも拘らず聖地旅順として未だに乃木將軍の銅像なき事は甚だ遺憾であり且又滿洲國建設成り帝制實現せられたる今日の遠因たるや實に旅順開城を以て最も重要なる關係を有するが故に建設地たる處は名も當時皇軍入城式の際名付けられたる迎橘々畔にして將軍の銅像は旅順に於てその意義深くしかもその推定地たる點は後世記念すべき地域なる點に於て此際是非共本目的の遂行を爲すべく各方面に亘り近く一大運動を開始する事となつた、尚ほ本運動の推移狀況如何によつては海の烈士廣瀨軍神の銅像も海邊近き適當の場所を選定し建設する事は旅順市として是非實現せしめんとの提議もあるので本企てはいづれも旅順市將來のため相當大なる關係を有するため各市民等しく共鳴の上發議された關係上急速なる協力の下に具體化する機運である、右に關し民政署當局者は語る

誠に好い企てゝ結構だがあの土地は遞信局から電々會社へ移管して仕舞つたからどんな工合になるか早速調査に着手する考へである、それからもう一つは將來の郵便局敷地が問題であの土地に變る處でもあれば問題は片づくと思ふがこれが第一の惱みであらう、郵便局の新築も大分永い懸案でなか〳〵建築も至難であり現在の實情では一寸困難の樣にも豫想されるが一說には電々會社に移管された爲め却つて急速に改築が出來はしないかとも云はれてゐる、いづれにし

東宮殿下御降誕奉祝 安東植櫻會組織
花の鎭江山に五百本

【安東】皇太子殿下御降誕のこの上なき御吉慶に對する安東市民の感激を永久に記念するため市民會の主催で御慶事記念植櫻會を組織し櫻の名所鎭江山に櫻の若木を植ゑることゝなつた、櫻は新義州、平壤間の山々に野生してゐる朝鮮山櫻の八年生のものを選んで今年すぐ花を持たせやうとしいふので大體五百本を限度として會費は一本につき三圓である、植ゑる日は本月二十三日の皇太子殿下御降誕御四月目のお芽出度い日となる模樣で、植ゑてからの手入れ等は一切地方事務所でするこ とになつてゐるが安東市民の御降誕記念事業としては最も相應しい擧であると稱讚を博してゐる

卅年前を追想し亡友を弔ふ
旅順卅八年會記念會

【旅順】日露戰役の終幕期明治三十八年早くも旅順の戰地に第一歩を印し爾來刻苦精勵今や市民の中堅として活躍しつゝある「旅順明治三十八年會會員」六十六名は滿三十周年記念を迎へた四月三日懷舊盡きぬ會合記念祝賀會を開催し近來に無い和樂歡興を恣にした、この日會員一同は午後三時龍心寺に於て亡友二十一名に對する追悼法要を營み故人を偲び同六時から寄棠に於て三十年前の壯者に返つて献杯歡語時の移るを知らず宅島會長の挨拶、來賓米岡市長の祝辭に次いで元祿花見踊の賑やかさ和氣堂に滿ち盛會裡に散會した【寫眞は記念の撮影】

現住者氏名

【旅順】三日開催された明治三十八年會三十周年記念祝賀會並に亡友追悼會は近來の美事として好感を寄せられたが現存せる會員は實に左の六十六氏である

今村春逸、岩永幸三郎、今村重太、岩崎小吉、石橋力太郎、池田金五郎、磯野清三郎、入江常太郎、濱田安次、花崎政吉、橋本新平、西野菊次郎、本田德太郎、本田興市、外山宗一、鬼塚嘉一郎、大越スヾ子、大磯市五郎、岡野武市、海渡勇作、川田久八、川谷竹次郎、加藤萬二、柏木正三郎、吉武忠吉、四谷久馬雄、吉村勝一、田部井治三郎、宅島猛雄、田中德三郎、田上重太郎、津野清三郎、中尾列太郎、中野福松、那須梅吉、村田梅吉、村上政明、内田佐助、野口清、野澤與吉、野間重一、栗原長八郎、安岡愛次、松島寬造、松岡新藏、古澤滿治、幸福七、後藤勇太郎、古賀竹一郎、小島龜太郎、安達寅次郎、赤阪惣太郎、榊原コマ、阪本大三、管田菊藏、佐々木又兵衛、北村儀市、菊地萬治郎、木村要平、宮田仁吉、三井鐵太郎、水間又吉、雲石春治、久野順吉、森谷吉五郎、菅野久

尚三十年間に於て物故した者は池田俊太郎、牛田榮助、大島竹槌、渡邊清、柏木常吉、海上德太郎、加藤半助、吉村信員、谷口只吉、村上鶴藏、野間辨治、安永與四郎、山本房太郎、彌永綠藏、山口カヤ、福澤重德、藤田藤三郎、藤井常太郎、榊原釟次郎、鈴木正昇、菅野爲藏(以上二十一氏)

で右の外他地方へ轉出してゐる者は左の十氏である

今崎歌次、井手芳太郎、早川德順、戶田健助、大柳菊三郎、小畑梅吉、浦上熊次郎、野村廣吉、船橋速水、財津龜三郎

吾子を思へばこそ父親の涙の願ひ出
昭和鼠小僧後日物語

【奉天】昭和の鼠小僧だ、俺を知らぬか……と解雇されたのを遺恨に脅迫狀を和森洋行に送り脅かし同洋行の得意先から多額の金品を詐取してゐた大膽極まる邦人青年寺口庄七(二三)に關しては奉天署で嚴重取調中であるが、彼には老た父母と妹あり大連譯家屯に居住してゐるが母親は六十の坂を越え四年間も病の床につき起たれず、しかも弱い妹は大連で交換手として働いてゐたが胸の病氣にかゝり入院治療中で杖とも柱とも賴む父親は別に定つた職業もなく人の手傳ひをして僅かな收入でやつと一家をさゝへてゐるもの二人とも病床についてからは藥品代やら生活費やらに追はれわずかに生命をつないでゐるものである、一家に代る庄七も家庭にある時から父親が外出して不在中を奇貨として家財道具等手當り次第持ち出し賣り飛ばしたり入質したりして酒色に消費し、父親ももて餘してゐたが彼が奉天に來て眞面目に働いてゐるかと思つてゐたら彼は稀代の惡事を働いて警察の取調べを受けてゐると聞き道の父親も誠に困つた奴です、誰がどう云つてもとても聞くやうな人間ではありません、せめて警察の手で判るまで散々苦しめられ改心して以前の庄七に歸ることが出來れば結構だと存じます、私もその日を待つて居ります

と吾子を思へばこそ父親のかうした淚の願ひに同情を寄せぬものはない

市場會社創立總會延期願出

【營口】營口水產漁業市場會社にては一月六日奉天省實業廳より認可を受け直に發起人總會を開き其の結果早速準備に着手した事は既報の通りなるが發起人總代松下省次郎氏は郷里靜岡縣に歸省し土地の投資家を訪問し滿洲產業の有利にして且つ堅實なるを說破せしが内地にては滿洲の認識不充分にて徹底せず止むなく滿洲に引返し大連、奉天、撫順其の他樞要都市の市場會社等々の贊成を得て松下氏は三日午後歸營した、この爲め創立總會の日限切迫したので右の事情を具した創立總會延期(一ヶ月間)願を四日營口漁業總局に提出する一方、現場方面は他の發起人の一部の人々が土地買收交涉其他一切の處理を了したのでこの方面は會社創立さへ出來得れば何時にても工事に着手出來る運びに立至つてゐる

警務指導官增員

【チチハル】黑龍江省各縣に配屬された日系警務指導官は現在約九十名に達してゐるが更に三十餘名增員に決定し、新京民政部に於ける講習を終へ近く着任するもの

國民會は函館における罹災者救濟のため義捐金募集に着手致し候間集金の上近くお屆け可致候

一九三四年三月廿五日
在齊白系露人國民會々長ポルトコフスキー他數名連名

七日營口で教育講究大會
講師は一流大家揃ひ

【營口】滿洲に於ける教育會は各縣に設置されて夫々會合する事あるも其多くは親合せ位の所で何等其の内容的向上には寄與する所なく從つて

結果も 教育會其物が唯存在するのみにて實際的意義が無い會であつた、所が滿洲國成立以來教育方面は特に重要視され日本人を入れ或は日本語を課して其向上を企てゝゐるが營口縣は更に進んで具體的に教育の內容に立ち入つて其方法の考究にまで進展するに至つた、卽ち營口縣教育分會と水產高級中學校が主催となり奉天教育廳と營口縣公署が後援して四月七日午後一時より水產學校に於て營口圖書館長永野善三郎氏が

現代の 教育思潮より見たる教授法と題しまた八日午前九時より南滿中學堂長安藤基平氏の學校管理法、尙午前十一時より奉天教育廳督學科長森田良一氏の滿洲國の教育と其方針と言ふ題目の下に大家揃ひの講究會が開催される、これは未だ他縣に於て行はれない試みで斯界の第一人者を招聘して實質的な研究に入つた事は誠に喜ばしい事である

村瀬所長就任

【奉天】奉天細菌研究所長野村緝三郎氏の後任として撫順細菌檢查所技師村瀬澄博士が就任したが村瀬所長は四日各方面を歷訪挨拶をなした

花鰹を賣つて小學生の義金
函館大火罹災生徒へと 美しい小さな同情

【旅順】函館市大火災に對する義捐金は各方面からぞく〳〵申込れてゐるがその中に優しい兒童からの義金が現れた、旅順第一小學校在學中の牧野百合子さん(一三)和田富美子さん(一三)の兩名は豫て御母樣から頂いた御小遣ひを資本に花鰹を買求めこれを賣つたお金が總計三圓九十五錢となつたので四日市役所に持參、函館市の可哀そうな生徒さん達へ送つて頂戴と申出た、又同じ在學中の谷山憲一、中川芳郎、藤原精美三君も小使を節約した金二圓八十五錢を旅順署へ持參氣の毒な小學校生徒へ屆けて下さいと申出た尙又四日午後三時年齡十一、二歲の小學生兒童二名はわが社旅順支社を訪れ一圓三十五錢を差出し義捐を申出たが固く姓名を秘して脫兎の如く外路へ飛出して仕舞つた

國境を超越 美しい同情

【チチハル】函館大火災罹災者に對する同情は全滿に翕然として集まり、各地とも義捐金の募集に着手してゐるが、チチハルでも函館出身有志が率先して義捐金募集に國側も起つに至り更に蘇聯領事クズネツオフ氏も書記生を代理として內田領事を訪問、慰問の辭を述べる等國境を越えた淚ぐましくも美はしい友情を示して邦人を感激させてゐるが、白系露人も亦深甚なる同情の意を表しユダヤ教會その他から義捐金を日本領事館に寄託すると共に白系露人國民會より日本領事館に左の如き慰問狀を寄せてきた

在チチハル白系露人國民會は函館大火の災害を蒙りし十五萬の罹災者に對し衷心同情の意を表するものに有之候、罹災者の神に對する信仰、罹災者に對する全世界の同情灼熱せる日本國民の精神力は今回の不幸を幸福に導くを信じて疑はざるものに候

滿人側にも三業組合
指導官の盡力で近く結成されん

【鐵嶺】當地滿洲側には從來三業組合の組織がなく組合員の向上も妓女の救濟も何等講ぜられてゐなかつたが桑原指導官着任後これを遺憾とし種々研究の結果遊廓妓館、旅館、飲食店の主人約二百名を招集して組合組織を勸懸した處全員贊意を表し卽決組織に着手することゝなり、愈二、三日中に發會式を舉行する豫定なるが現在城內に於ける會員資格者は飲食店六十八軒、旅館七十一軒、妓館六十軒合計百九十九軒である

滿洲里に稅捐局設置

【滿洲里】チチハル龍江稅務監督署では滿洲國財政部の訓令に遵由し臚濱稅捐局を當地一道街に設置し崔殿濤氏を局長として四月一日より當地區に實施する事となつた該稅捐局は以前三道街に在りて當區より諸稅の徵稅をなしたが舊支那政權當時にあつては市民の疲弊甚だしかつたため納稅に應ずる餘裕なくために稅捐局は廢止された儘になつて居たもので滿洲國帝政實施と共に基礎徐々確立し再び開始せるものである

"皆樣の郵便局" モットーも新たに掲げ
營口郵便局のサービス改善

【營口】營口郵便局にては昨年九月事務の一部を電々會社に移管さると共に却つて從來より多忙を極めて居る、それは從事員の定員を減ぜられた結果でそれが爲め局員は殆ど晝夜兼行と言ふ程淚ぐましい努力振りで激務の消化に努めて居る狀態で從つて一般公衆に不便を與へた事と思はれるが四月の新年度から局員も增加される事になり之れに力を得た從事員は一致協力、より以上馬力を掛け「皆樣の郵便局」と言ふモットーの下にサービスを盡す由で今後は一般の不便も緩和される事であらう、從來局の電話は壁掛用であつたがこれは起居の手數から應答遲延の嫌きがあつたのでスピード時代に適するやう卓上電話に變更し公衆と局員とピッタリ氣持を合はせると同時に責任者に應答せしめる事とし主事席に取り付けて便益を計る事となつた

施療券を交附 地事社會係から一般民衆の手に

【鐵嶺】當地に於ける貧困者の施療券は從來警察署に於て交附し滿鐵醫院の診療を受けしめてゐたが一般民衆に廣く均霑せしむる爲め今後は地方事務所社會係に於て各機關並に各區長と協力し貧困者と認めた者又は希望の者に對して交附する事となつたにつき、施療を希望する者は社會係まで申出られたしと

水產學校の始航海

【營口】營口水產高級中學校にては本年度の始航海として所屬船大鯤丸を以て高級一年製造科生三十名に教師三名附添ひ四月九日より一週間の豫定にて旅順大連方面に航行水產に關する一切を見學せしめると

遼陽片々

▼武德會支部の選士豫選第一回試合は三日午前十時から滿鐵道場において開催したがその結果劍道部二段松原寬人(雷燈公司)柔道部三段福士榮一(衞戍分院看護兵)の兩名と決定近く大石橋において第二回豫選會に出場すと

▼滿洲棉花會社遼陽工場は既報の如く高岡棉廠の南方に工場及倉庫を新築することに決定、四日地方事務所に敷地の借受申込書を提出したと尙從來の假工場であつた元機關區事務所跡は滿鐵に返納し同所は弓長嶺運鑛線の保線運輸等の合同事務所に充當さると

▼小學校は二日から新學期開始一年生は青、赤、黃の三組となり青組重高、黃組河合先生で赤組は內地からの新任先生が擔當すと

▼小學校附屬幼稚園の入園式は四日午前十時から擧行されたが入園兒童六十二名であると

▼遼陽校から撫順東七條校に轉任の鹽見訓導と煙臺分教場に轉任の松浦訓導は四日午前十時發列車で、蓋平公學堂に轉任の飯塚教員は同十時二十分發車で何れも赴任

▼日語學校では四日午前十一時から新學期の入學式を擧行したが新入生は五百四十餘名の內から選拔した五十名であると

▼遼陽在勤滿鐵社員で四月一日表彰された者は左の如くである

(驛)小林虎吉、安倍善右衞門、田名部武、(保線區)森槌、(驛)有村進、(地事)本橋芳造、金衞金次郎、(小學校)池田長松、(醫院)板橋純律、(煙臺採炭所)渡邊弘毅

鐵開縣下を荒した偽勇軍幹部捕はる
鐵嶺縣二警士の殊勳

【鐵嶺】最近平頂堡北方の山頭堡部落に元鐵開兩縣下を荒し廻り屢々皇軍と交戰し馬家寨を始め各所において犧牲者を出さしめたる抗日偽勇軍大頭目金山の部下幹部が潜伏しつゝありとの情報に接した鐵嶺縣警務局では選抜の結果、李玉璞、裴相國の二警士をして逮捕せしむべく一日朝出發せしめたが右二警士は山頭堡到着後極力内偵の結果挙動不審の一名を發見大格鬪の上逮捕取調べたところ金山好の率ゐる抗日偽勇軍第四三六營の幹部原籍鐵嶺縣第一區姜竹滿當時住所不定孫喜(二九)と稱し山中に拳銃及び金山好より授與された偽勇軍腕章を隱匿せる旨自白したるを以て現場に赴き證據品として拳銃及腕章を押收目下本局に於て嚴重取調べ中であるが、彼は滿洲事變直後の九月下旬金山好一味の馬賊に襲はれ馬を強奪されたのでそれを奪還せんと偽勇軍の後を追ふうち金山好から説伏されて其部下となり賊名を紅字と稱し各所に轉戰鐵嶺城内襲撃の際は擔備隊として鐵道西にあり城内襲撃に參加しなかつたと稱してゐるが、其後各所に於て皇軍の爲に敗れ危險となつたので賊團を脱して、拳銃を山中に埋めて良民を裝ひ機會を狙つてゐたものである、因に馬警務局長は殊勳の二警士に對し其の勇敢なる行動を賞し金一封を與へて表彰した【寫眞は捕はれた孫喜】

奉天鐵西工業地事業開始の工場
何れも近く本格的操業

【奉天】鐵西工業地區に於いて目下事業を開始中の各種工業は左の如くである

◇中山鋼金工場 敷地六千坪を有し工場も竣成し波板、平板トタンの製造をなすべく三月二十三日より機械の据付に着手し四月中旬に完了し五月より製造開始の筈である、尚同社に於ては別に五千坪の土地を借受けて釘、針鋼、琺瑯鐵器の製造をも開始すべく準備中である

◇日滿ペイント會社 資本金百萬圓半額拂込み株式組織にて各種塗料の製造販賣を目的とし現在各種塗料を試驗的に製造中にて四月中旬より製造開始の筈である、原料は日本品六割滿洲品四割であるが日本品は輸入關稅高率のため採算不能にて將來は純滿洲産を使用する方針である

◇滿洲製帽會社 同社は東京の榊製帽店主の個人經營にて去る一月より主として滿人向きの中折帽を製造中にて一日四十打を製産し卸値一打十圓乃至十五圓にて將來は株式組織に變更するさ

酒故の保護願

【奉天】「私は三年前大連經由來奉し霞町玉翠で炊事の手傳ひをしたり立町十三番地に住んで守備隊の殘飯を拂下げて貰ひ之を鮮人や滿人に賣つて僅かなお金で暮して來ましたが酒がなくては生きて行かれないものですからそのお金は殆ど酒に代へてゐました處スッカリ酒の中毒にかかり仕事も出來ず賴る身寄の家もありません郷里へ歸らうと思つてゐますが二錢しか持ち合せて居りませんどうぞお助けを願ひます」と五十餘りの邦人が四日午後三時頃奉天署保安係に保護願ひに出た、この邦人は長崎縣西彼杵郡長與村生れ並吉亘吉(五三)と稱し着のみ着のまゝ賴るうちもない哀れな身の上で奉天署でも大いに同情し救濟金から長崎までの旅費を支給したが人の溫かい情に感激し四日午後十一時發安奉線列車で歸郷の途についた

奉天少年團入團式

【奉天】當地少年團の第六回入團式は四月三日の佳日を卜し午前十時から奉天神社々殿に於て擧行されたが來賓として皆川聯合町内會長、上田統氏を始め地方委員その他多數あり神官の修祓祝詞奏上に次いで日本少年團歌合唱、新入團者百十五名の宣誓後團長粟野俊一氏、健兒代表玉串を獻上して拜禮し粟野團長の訓辭、來賓側皆川聯合町内會長の祝辭に對し健兒代表の答辭あり、奉天少年團歌合唱が終つて「彌榮」を三唱して午前十時四十分閉式した(寫眞は入團式)

愛護村民に黑穗驅除藥配布
總局、農民に酬いて

【奉天】滿鐵農務課では鐵道愛護村建設の勞に酬いるため農村が多大の犧牲を拂つてゐる高粱、粟の黑穗菌を驅除し農作物の增收から農民の生活を豐ならしめるため近く滿鐵沿線の驛長會議を開催し善後策を協議し驅除藥ホルマリンを配付する意向であるが全滿における黑穗菌を征服すれば一ケ年一千萬圓以上の增收となるさいはれ國線においても愛護村に驅除藥を支給するさ

遼河流氷終る

【鐵嶺】去月中旬以來盛んに流氷交通杜絶の姿にあつた遼河は二十九日を以て全く流氷を終り馬蜂溝と三家子の渡船場は勿論各所とも舟船の航行自由であるさ

北安鎮に小學校
北滿に小國民行進曲

【チチハル】北滿最前線に高らかに奏ぜられる小國民の凱歌――北滿環狀線の中心地であり穀倉地帶を控へる北安鎮の發展性が豫想せられ裏書されるにつれ、同地を目指して押寄せる邦人は夥だしい數に上り、解氷と共に第二のチチハルたらんとしつゝあるが、これに伴ひ學齡兒童の移住者も逐日增加しつゝあるので同地居留民會にては本年度より小學校を開設に決定四月三日神武天皇祭の佳日を卜して晴れの開校式を擧行した、嚢にチチハル小學校で第一回卒業式が擧行せられ、今またこの吉報を得て兒童持つ父兄の顔は一段と輝き心殘りなく北滿開發に活躍し得るであらう

鐵嶺の野犬狩り

【鐵嶺】鐵嶺署では來る十一日より十四日まで四日間附屬地内において野犬驅除を實施するにつき愛犬家は成るべく繫留するか又は外出の際は必ず犬牌を附されたしさ

鐵嶺三業の猛練習
行樂の春を控へ

【鐵嶺】行樂の春を迎へた鐵嶺三業組合では此の春こそ沿線遊覽者をして充分滿足せしめんと全鐵嶺の美妓を總動員し一日より當分の間毎日午後一時から四時まで奉天の舞踊師匠を招聘し演藝館において鐵嶺音頭踊と鳴り物の猛練習を續けてゐるが練習中は三業組合員外の人は一切入場をお斷りするさ

新京花柳界春季温習會

【新京】長唄杵屋勢好會杵屋勢七郎及藤波會藤間勘多郎主催の新京花柳界春季温習會は六日、七日兩日に亘り長春座に於て擧行することゝなつたが新京花柳界が一躍全滿の王座につき日滿兩方面の關心を把握してるだけその成果は各方面から非常な期待をかけられてゐる、出演料亭は千島、獅子座、新杵、時雨、詩、曙、嬉野の一流どころで兩日における演奏番組は次の如くである

▲初日 老松、供奴、都鳥、末廣狩、賤機帶、連獅子、越後獅子、菖蒲浴衣、元祿花見踊

▲二日目 老松、小守、秋の色種、鞍馬獅子、吾妻八景、吉原雀、岸の柳、元祿花見踊

俸給着服に憤慨隊長を殺害逃走
採木公司員も拉致さる

【安東】本月一日鴨綠江採木公司長白分局の二十四道溝作業場警備隊のうち二十二名は隊長鄭國棠が隊員に支拂ふべき俸給を着服したことに憤慨して兵變を起し鄭を殺害し採木公司檢查手吉塚浩一氏(二三)(宮城縣人)及滿人從業員三名を拉致逃亡したので目下來安中の同地方警備の奉天混成第七旅副司令兼宗援少將は直に部下軍隊に救援討伐を電命し一方採木公司では新京大使館を經て○○○○隊の出動方を新京大使館を經て請求したが叛兵のうち五名は前非を悔ひ吉塚氏ほか三名の人質を伴うて二日歸順した、殘餘の逃兵十七名は第七旅が討伐中である

上三峯朝陽川間列車の發着時刻
四月一日より運轉

【奉天】朝陽川、開山屯間はいよいよ四月一日より旅客小荷物の運送を鐵路總局の手により正式に開始したが上三峰、朝陽川發着時刻は次の如くである

列車		朝陽川發	上三峰着
二五五	輕油	一七時〇〇	一八時五七
二五三	同	一三、〇〇	一四、五七
四七三	混合	七、〇〇	一〇、三〇
二五一	輕油	六、二〇	八、一八

列車		上三峰發	朝陽川着
二五六	輕油	一七、三〇	一九、三三
四七四	混合	一三、〇〇	一六、一六
二五四	同	九、三六	一一、三六
二五二	輕油	七、三〇	九、三三

チチハル料理業組合の總會

【チチハル】チチハル料理業組合にては三十日午後二時から朝日館において總會を開き、役員改選の結果左記諸氏が當選した

組合長 鈴木縣一郎(再)
副組合長 吉田德治(再)
會計 万代昌造(再)
評議員 鈴木縣一郎、吉田德治、河口又一、深谷市之助、水田熊八、萬代昌造、重德一、楠井ミサオ

海港檢疫所長歸省

【營口】營口檢疫所長木村勝喜氏は墓參の爲め二日大連出帆うらる丸にて郷里熊本に歸省した

機械にふれ死亡

【奉天】皇姑屯滿蒙毛織會社工場職工列某(一八)が四日午前十時半頃從事中機械に觸れて重傷を負ふたので直に醫大醫院に入院せしめ應急手當を加へたが同十一時頃遂に死亡した

森口氏離營挨拶

【營口】在營四ケ年間精勵恪勤、溫厚篤實の良校長たりし前の營口小學校長森口市太郎氏は今回新京へ轉勤となり六日頃離營に付き各方面を歷訪、挨拶を述べた

知人宅で盗む

【奉天】三日午後八時頃群馬縣佐波郡生れ大東門外居住元航空廠宿舍人夫德江正(二五)が靑葉町三番地知人岡部保雄(三五)を訪れたが不在中を奇貨として机の抽斗から現金一圓五十錢を窃取逃走せんとした處家人に騷がれたので現金を捨て、逃走したが遂に取押へられた目下取調べ中

短靴を盗む

【奉天】三日午後七時半頃市内霞町一番地先において黑皮製短靴を所持して通行する怪しい一滿人を警官が發見取調べをなさんとするや矢庭に逃走を企てたのでこれを追跡取押へたが彼は沙河口生れ住所不定無職曲爾亭(二八)と稱し右短靴は邦人宅より窃取したもので餘罪取調べ中である

百利公司業績

【奉天】商埠地十一緯路百利公司は倫敦に本店を有し大連、營口、奉天、哈市に支店を有し貨物の運輸、外國商人の貨物の移輸入並に米亞保險公司の特約をなし保險契約者も增加しつゝあるので昨年下半期の營業成績は十五萬圓に上り漸次增加の形勢にあるさ

旅順放送

▲滿洲國入りをする筒井判官及び鈴木書記兩氏の送別會は七日において法院部内者のみにて開催される

▲旅順重砲兵大隊第二中隊上等兵鈴木芳一(二三)氏は一日死亡したので四日午後三時から西本願寺において告別式を行ふ

▲元寶町岩坪三郎氏長男寛容君(二)は二日死亡

▲市役所庶務新井喜一氏は今回旅順高等公學校へ轉職した

▲矢原重吉氏は忠靈塔建設費として金一百圓を寄附した

▲旅順高女では六日入學式を行ふ

▲小宮經理課長は五日午後六時在旅新聞記者重なる者を靑葉に招じ清宴を催した

女の部屋 (132)

林芙美子作 一木弴畫

椿と火 (三)

ほのぼのと灰色に白みそめた空に、漆黒な島がぽつかりと取り殘されたやうに浮んでゐた。三原山の噴煙が雲にまぎれてむくむくと立ちのぼつてゐる。

濱を走り廻る豆粒のやうな人影が次第に增して、軈て微に櫓の音が曉の靜寂を破つて聞えて來た。客引きの案内で智子は椿莊旅館に入つた。

疲れ切つてゐたので、床をのべて貰つて、朝食もとらずにぐつすりお午すぎ迄眠つてしまつた。そして夢現の間に何かお經文でも讀んでゐるやうなぼそぼそした話し聲を聞いてゐたが、目がはつきり醒めて來るにつれて、それがすぐ間近な部屋で交されてゐる男女の話し聲であることに氣附いた。

彼女は聞く氣もなく聞いてゐた。

――ほんとに死相なんてあるものでせうか?

と女の聲で訝かつてゐる。

――あるとも、よく氣をつけて見て見給へ。此處に同じ位重態の病人が二人ゐたとして、先に死ぬ方には二三日も前からはつきり、所謂死相つてものが現れるよ。

――いやですわねえ! そんな話伺ふと、是からは病人の顔を見るのが怖くなりさうで。

――はつはつは。當直の夜なんか、一人では巡廻が出來なくなりはしないかね。……時に、いゝ天氣ぢやないか。少し案内して貰つて、散歩でもするかな。

――えゝ、お伴しますわ。發電所の所迄行つて見ませうか?

――へえ、發電所があるのかい。

――それ位ありますわよ。

二人は笑ひ乍ら立つて行くらしい氣配であつた。

智子も起き上つて床を片附けると、ベルを押して、女中がやつて來る迄の間を、南東向きの障子をあけて縁側に出て見た。小春日のやうな柔かな陽の光が眞正面から降り注いでゐた。

近くで鶯が鳴いた。それが段々遠くなつて、何處かの森の中に消えて了ふと、又すぐ手の屆きさうな處で、今度は三羽が巴に絡んで亂れ鳴くのだつた。

たわゝに眞紅の花をつけた椿の並木が、縱横にのびて香高い織模樣を織出してゐた。

その下に牛がゐたり、人が歩いてゐたりした。

すぐ目の下を、先刻出て行つた隣室の二人らしいのが山の方へだらだら坂を通つて行く。それは智子と同船した例の醫者と看護婦であつた。

智子はふつと、暗示を受けたやうに「死相」と云ふ言葉は自分に就て話されてゐたのではあるまいか、と考へついた。さう云へば昨夜も同室の三人が三人とも、何となく自分の方を始終警戒するやうな目で見てゐたやうでもあつた。

――お呼びでムいましたか?

女中が上つて來て訊れた。

――えゝ、お湯が沸いてゐたら入り度いと思つたんですけど……

――はあ、お立てしますでムいますから、何卒。お茶でも入れませうか? それとも何か召し上りますか?

――何にも欲しくはありませんの。ではお茶を入れて下さいな。

十大新特徴

1、ニー・アクシヨン・ホキールによる乗心地
2、強力經濟80馬力の新エンヂン
3、快速80哩と素晴らしく速い出足
4、十五倍以上も強い新Y-K型フレーム
5、更に大きくなつたボデー（4吋増大）
6、更に長くなつたホキールベース（2吋増大）
7、改良されたノー・ドラフト式換氣装置
8、更に圓滑、更に靜粛、更に安全な作動
9、ガソリンの消費量を2割5分の大節減
10、シボレー獨特の低廉な値段

―― 只今下記のシボレー販賣店にて陳列中、早速御實驗下さい ――

日本ゼネラル・モーータース株式會社特約販賣店

RYOTO MOTORS LTD.

遼東モーータース商會

大連市山縣通三三　電話(長)3677番

日本ゼネラル・モーータース株式會社

滿洲各鐵道の素描……その二

「早廻り競走」

樂土の心臓繞る 國有鐵道の網

挽歌の軍閥に歡呼の聲

滿洲國有線卽ち滿鐵委託經營線を紹介する前に些か逆もどりの觀はあるが滿洲鐵道發達の歴史を概述する、滿蒙の天地が鐵道の洗禮を受けたのは未だ日なほ淺く二十世紀の初頭で、明治三十六年（一九〇三年）七月一日東清鐵道（現北滿鐵路）が本營業を開始し同年秋京奉線（現北寧線）の關外延長線（現奉山線）が新民府まで開通したのを最初とするのである、而して鐵道專門家はそれ以後の滿蒙鐵道發達の歴史を四期に分ち

第一、東清鐵道並びに京奉鐵道の創業とその初期經營時代
第二、日露戰爭直後に始まり大正十三年奉露協定成立前後に終る南滿洲鐵道の創設並びにその培養線建設時代
第三、支那側の利權回收並に自國鐵道建設勃興時代
第四、滿洲國建國以來の新線建設時代

として居るが、換言すれば第一期は英露兩國の滿洲軍事的侵略時代、第二期は滿鐵線による滿洲の經濟的建設時代、露國大革命による露國の北滿勢力失墜時代で第三期こそが舊東北政權の非合法的手段による

日本壓迫 滿鐵線包圍計畫完成時代で遂にそれが高潮して昭和六年九月十八日舊東北軍による柳條溝の爆破となり、しかも皮肉にもそれが舊軍閥政權の挽歌となつて了つたものである

かくて歴史の力、自然の要望は昭和七年三月一日滿洲國の建國となり、越えて大同二年二月九日滿洲國有鐵道は擧げて滿鐵に委託經營されることゝなり、過去において日支外交の禍根をなした鐵道問題もこゝに始めて決定的に解決せられ、餘りにも政治的に利用されてゐた之等の鐵道は茲に始めて鐵道本來の使命を恢復し一路滿洲國の經濟開發に向つて活潑な歩みを開始することゝなつたのである

かくして滿洲國からの委託を受けた滿鐵では直にこれが委託鐵道を總括的に經營せしめるため同年三月一日奉天に鐵路總局を設置したのであつたが、總局經營後一ケ年間の國鐵の異常な發達は既に新聞雜誌等において餘りにも詳細に報道された周知の事實である

而して總局ではこの過去一ケ年間において更に新建設線道である海克、訥河、敦圖、朝開諸線の經營の委託を受けたが、その間の實績によつて現場路局の

職制改正 を斷行、去月三十一日これを一般に發表したのであるが、いさゝか重複の嫌はあるがこの改正要點を示せば從來の吉長、吉敦、吉海、瀋海、奉山、四洮、洮昂、洮索、齊克、呼海の十鐵路局はこれを廢止し新たに奉天、新京、ハルビン、洮南の四鐵路局を設置更に線路の名稱を正確に規定して

名稱	區間
奉山線	奉天—山海關
大鄭線	大虎山—鄭家屯
營口線	溝幇子—營口
北票線	錦縣—北票
葫蘆島線	連山—葫蘆島
奉吉線	奉天—吉林
西安線	沙河—西安
京圖線	新京—圖們
奶子山線	蛟河—奶子山
朝開線	朝陽川—開山屯
濱北線	濱江—北安
馬船口線	新松浦—馬船口
齊北線	チチハル—北安
訥河線	寧年—訥河
平齊線	四平街—チチハル
洮索線	白城子—懷遠鎭
楡樹線	楡樹屯—昂々溪

我社としても理論的には今回の區劃においては右の諸線全部を廻るべきではあるが、滿鐵本線で連絡する支線を省いた如く滿洲の運輸系統を説明するうへにさしてその重要さを認めない支線は省き奉山、大鄭、營口、北票、奉吉、西安、京圖、朝開、濱北、齊北、訥河、平齊、洮索の十三線を走るに止めた事を諒解されたい、尚以下順を追ひつゝ國線各線の紹介に入るが從來の資料を根據とする關係から舊線名によつてペンを進める事とする

（寫眞は奉天の鐵路總局）

電話難の緩和に 六千基を公募

電々會社が五六月頃から

水道同樣電話も右から左への理想實現の第一歩として近く全滿に六千基の寄附電話を架設しやうといふ嬉しいニュース——電々會社では昨秋會社創立と同時に全滿的に至急電話架設を募集し電話難を緩和するところあつたが、その後財界の活況や人口增加に伴ひ電話難の叫びはいよ／＼猛烈となり、電話の市價も最近では大連で八百圓前後と昨秋の架設料の二倍以上にまた奉天九百圓と三倍新京の如きは九百五六十圓と約四倍の高値を唱へつゝあり、商戰の武器たる電話も高價なため資力薄き商工業者には容易に手が出せない實情にあり、電々會社ではこの情勢を見てさり「右より左へ」の理想實現の第一歩として電話の大增設を決意し、鋭意研究中のところ最近漸く具體化し一兩日中に公募の運びとなる模樣である

增設案の内容は極祕に附せられてゐるが探聞するところによれば關東州内、附屬地は勿論滿洲國全土に亘り約六千基の電話を增設することになる模樣で大連や新京、奉天の如きは既に交換局の改善能力にも限度あり一般の需要も悉く容れることは望み薄とみられ熱河、京圖線其他の新興諸都市が比較的多數の架設を見るのではないかと思はれる、募集時期は監督官廳への手續もあり會社當局では遲くとも五月末ごろまでには公募の意向の如くであるが手續に日數を要すれば或は遲れるかも知れない次に架設料金は昨秋の前例もあるがその後器械の昂騰せる事情もあり、或は昨秋のそれよりも割高となるかも知れないが、大體に於て州内及び附屬地は昨秋の左の如き料金に落着くものではないかと觀測される

大連三三〇圓、旅順一五〇圓、鞍山三〇〇圓、遼陽二一〇圓、奉天三〇〇圓、撫順二〇〇圓、四平街一五〇圓、新京二五〇圓

勝榮丸 行方不明

過般山東角沖に於て漁船が海賊の襲來を受けて以來魔の沖といはれてゐる同所に於て又々漁船が行方不明になり目下搜査が續けられてゐる——五日午前入港した支那船が山東角沖東北二十哩の海上を通過中、市内乃木町七番地石丸勝一氏所有發動漁船勝榮丸（二七噸）のブイを發見、海務局に持參したがブイの外に漁獲物を入れる木箱が約百個程漂つてゐたと報告したので、海務局では直に碇泊中の各船にラヂオで右の事情を傳へ勝榮丸の目擊船を搜す一方、水產試驗所試驗船旅順丸に搜査方を依頼したが

行方不明の勝榮丸は去る二十二日午後出帆山東角に向つたもので歸港の遲延してゐるところからその安否を氣遣はれてゐたものである、尚は同船には船長石丸勝一氏の他日本人二名、朝鮮人三名、支那人一名計七名が乘船してをり、又々海賊にやられたものか或は上海、大連間の定期船航路である關係から夜間定期船に觸れ沈沒したのではないかと見られてゐる

八年度の徵税は未曾有の好成績

但し督促状發行數も激增

—大連民政署の調べ—

大連民政署昭和八年度徵税成績は曾てない好成績を示してゐる、之は事變後商店界の景氣が多少とも

良く なつてゐるためと、又滿洲國成立後多數の税務吏の移動に依り徵税事務の澁滯を來した結果七年度の惡かつた成績に鑑み昨年十月以來十五人の新規採用をなして事務の進展を計つたこと等に依るが民政署税收入の殆ど九割を占める、營業税、雜種税水道收入に依つて見ると

年度	年度末までの收入未濟額
六年度	一三〇二〇一圓
七年度	二三三三五一圓
八年度	四二〇圓七七

となつてをり八年度は斷然好成績を示してゐる樣だが右の數字は全く民政署吏員の努力の結果に依るもので年數回に亘る税金納入期限までに完納せざる者は依然として少く植民地に於ける國民の納税義務心の缺除を遺憾なく發揮してゐる卽ち之を調査件數に對する民政署の督促状發行數を見ると次の如くである

年度	調定件數	督促状發行數
六	二〇五一二六	四五〇六一
七	二四〇五八一	五七〇〇一
八	二四三三九三	六三二八六

內地方面では一般に好景氣の出現は直に徵税成績に現れてくるのが通例であり、之に依れば八年度の督促状發行數の激增は全く內地の逆を行つてをり滿洲在住邦人の不心得を現してゐる

人口の激增で甘井子に小學校

關東廳費用捻出に努む

滿洲化學工業會社工場が今秋作業開始の運びとなれば、同時に從業員の宿舍三百五十戸も完成し從つて約三百五十名の小學兒童が甘井子に住居することゝなり小學兒童の激增を見るわけであるが、これ甘井子に住居する小學兒童は現在七十八名ありバスの便によつて目下日本橋小學校に通學してゐるがこの外市内の知人、親戚の許に寄寓して諸所の小學校へ通學するものを合せて百名を超えてゐることは明かであり、更に目下建設中の等兒童は當然市内小學校に通學せねばならぬ不便があるので關東廳學務課では目下甘井子に小學校新設を計畫中である

右は一度昭和九年度豫算に計上したが削減されたものであるが更に別個の財源を考究中で最少限度十學級の小學校として新築費その他設備費、教員住宅新築等の總經費約十萬圓を要することゝて、當局は目下捻出に相當惱んで居るが遲くも明年四月からは是が非でも實現を期してゐるから、同方面居住者の小學兒童のため福音である

滿人側からも執達吏に非難

競賣額が滯納額の廿數倍

料理店「いろは」の差押へ問題が社會に大きな疑惑をなげかけてゐる折も折、今度は滿人營業者が二人、共々執達吏の執つた差押へに對し不當を訴つて沙河口署へ苦情を訴へ出て、時節柄執達吏の非常識さが暴露するに至つた

A…沙河口管内香爐礁第三區三十六番地雜貨商劉培溶方では昨年度第一期、第二期滯納營業税四圓四十錢に督促料四十錢を加へ計四圓八十錢の滯納に對し、執達吏は同店方毛皮付豚の皮四尺四方大のもの百枚、支那式掛時計並びに支那式机一個を差押へ去る三月二十六日公賣に附したところ百四圓で落札されたと云ふのである

B…同じく香爐礁第三區曲兆德方では九圓八十錢の滯納に對し支那筆笥一棹並に支那机一個を差押へられ、公賣の結果二十五圓で落札されたと云ふのであるが、この筆笥並に机は何れも支那式のもので滿人間での相場から云ふと莫大な時價を持つもので、この點に於ても執達吏の非常識さ加減が問題とされるのではないかと云はれてゐる

天皇を中心とした社會主義の建設へ

轉向被告、異口同音の陳述

滿洲共產黨併合公判

第二次滿洲共產黨松崎簡外二十二名に對する第二回併合公判は四日午後一時より再開、午前中に引きつゞいて首藤松崎の滿洲事務局設立に關する説明があり、その運動目標に關しては

我が滿洲事務局は日本共產黨の一機關であるとは云へ滿洲の特殊事情を考慮し、帝國主義打倒、軍閥政權打倒、資產民主的獨裁の三つをスローガンに揭げてゐたもので、この點豫審終結決定書は誤りである

と結び續いて田中裁判長より共產主義に對する現在の心境を訊問さるるや

第一に世界の主要個所においては一國的な社會主義の

建設は 必要である、第二に一國社會主義には各國の個別的なる特殊條件が非常な力を持つてゐることは絶對に信ずる、第三に日本、滿洲、支那を含む東洋全般に對し日本を中心とした東洋獨自の社會主義を建設することは可能であると思ふ、第四に民族、國民性の重要なることを痛感する、第五にコムミンターンを離れた勞働階級の獨創的な意思による指導權を獲得すべきだと思ふ、最後に前衛機關の結合は絶對必要であると從來の日本共產黨が奉じてゐた思想とは全然異つた一國社會主義を述べ、更に

日本に於ては君主制は日本の過去現在は勿論、將來に於ても絶對に大きな力を持つてゐることを信ずる、コムミンターンは日本が持つ絶對的勢力君主制を徹底的に鬪爭せよと命じてゐるがこれは大きな認識不足で、共產黨の形式は日本では全く駄目である、來るべき日本の社會改革は

天皇を 中心として民族的統一と、勞働階級の大いなる力を確立することによつてのみ行はれるのである

と全然共產主義を離れた國家社會主義理論の樹立的陳述を行ひ、明確に轉向を表明した、かくて首藤松崎の陳述は午後二時三十分終了して、十分間休憩後同じく告訴審理の陳述に移つたが、共產主義意向に關しては全く松崎と同意見であると述べ、更に補助的に先づ日本の社會經濟制度の發展を述べた後

一國社會主義はその内容に於て當然國家社會主義の色彩を多分に含まれば成功しない、この點より日本に於ける一國社會主義は當然皇室中心によつて派生して來なければならない

と松崎同樣轉向を明言し、滿洲地方事務局が最も關係深き日本共產黨テーゼの一つ、植民地の獨立は從來共產黨の植民地に於ける獨立運動は常に自國プロレタリアートを離れて一つの型にはめ込まれた、ソウエートに

支持を 求めてゐたことは一國社會主義と全然相反し、又資本主義的小國家性を來たす懼れがある、かくの如き植民地獨立のスローガンは最早や時代遲れも甚しいものであると日本共產黨の誤りを正して、自己等が被告席に立つたが、右陳述は既に轉向保釋中のものであるだけに、大いに注目された、かくて公判は被告等が共產思想を嫌ぐるにいたつた經緯を語つたのみで、午後四時十分第一日を閉廷した、第二日は引つゞいて六日午前九時三十分より開廷される筈

河村丙午保釋

第二次滿洲共產黨に連坐してゐる河村丙午は一時は黨の急先鋒として知られ、好意的に盡力してゐた田村辯護士さへ避けた程であつたが、既報の如く過般突然轉向を表明、社會を驚かせてゐたがその後神經衰弱となり極度の脅迫觀念におびやかされるやうになつたので、田村辯護士は數日來奔走の結果、法院當局の許可を得て河村丙午は五日午後六時漸く保釋となつた

空爆隊襲來せば…… きのふ防空打合會

我らの空を護れ！——近く開かるべき關東州防空演習準備打合會議は大連市役所主催の下に五日午後二時よりヤマトホテルに開かれた、出席者は

旅順要塞より 鐵山司令官、堤參謀、伴野少佐、光井大尉、中根副官、唐津大尉

大連市側より 御影池民政署長、小川市長、由西滿鐵理事、高柳中將、寺田大連警察署長、今井消防署長、高田商議會頭、古田鮮銀、阿部三井、寺田三菱、古田鮮銀各支店長、寶性大連、阿部泰東、西片滿洲報、村田滿日各新聞社長ら三十餘名

小川市長を司會者として會議に入り種々懇談の結果、六月二十日より二十三日に至る四日間に實施することに決定、これに伴ふ各種の準備について打合せをなすところがあつたが、更に市中主要な官衙、銀行、會社、新聞社より委員を選定して更に具體的計畫を樹てる筈

しかして當日決定を見た防空演習の大體のプランは、防衞司令官の下に軍部は積極的方面より、又地方官民側は消極的方面より協力して防空に當る筈で先づ積極的防空としては

三十臺の飛行機より成る防空飛行隊、六門の高射砲隊、十門の高射機關銃隊、高射機關砲隊、照空隊、阻塞氣球隊、各種通信機關等々……精銳の新兵器を網羅して實戰的襲空および防空を試みる

かくして第一日たる六月二十日には飛行機が關東州の上空に現はれて各種爆彈を投下して如何に今後の戰爭における空中よりの攻擊が悲慘な結果を伴ふものであるかを實演し

つゞいて二十三日まで三期にわけて各種の演習を行ふが、民間側においても積極的防空には多大の經費を要するのと如何に完全に守禦するも實戰上一割乃至三割の敵機は都市上空に現れるのを常とするから、それによる被害を消極的に防禦すべく右四日間に

防空監視、警備（軍、地方機關協同）燈火管制、消防、消毒防毒、救護、警報、交通整理、避難所管理、配給、工作

等のあらゆる方面に亘つて全市民を動員して演習を行ふ筈で、滿洲最初の實戰的防空演習として注目されて居る

大道會發會式

きのふ賑かに擧行

男一匹意地と意地の張合にはとかく好もしからぬ赤い血飛沫が立つ俠客を一枚看板に赤變つた道をふんでゐる人達に小さな男をすてさせ大なる俠につかしめんとして大連在住の人達によつて大道會が組織され、その發會式が五日午後一時半より大連神社境内に於て嚴かに舉行された、赤白の幔幕が會場の周圍にめぐらし吹奏の音も嚠喨し

定刻鈴木、島津兩神職によつて修祓式が行はれ次いで會場に入り、開會の辭、國旗揭揚式、會長式辭、來賓の祝辭、常任幹事の挨拶等型の如く

次いで厳かに若月會長に會員一同の宣誓式あり終つて祝宴に入り三時半盛會裡に散會した、因に來會者は大連各方面の知名士を網羅しその數八十名に及び非常なる盛會であつた

三業女紅場の定期總會

大連三業組合、積立會並に女紅場定期總會は四日午後五時から組合樓上で開催、九年度豫算承認の後役員改選に移り積立會理事長に平田新吉氏（新任）理事平川滓二氏外八名を選出、女紅場理事長に野崎梅次郎氏その他會計理事監査役を選出したが孰れも平穩裡に散會した

最近熱病的に滿洲を憧れる內地人の逃避行が激增し、お膝所大連水上署の机上に舞ひ込む取押へ保護手配電報は今年に入つて既に二十九件。

◇

これを男女別に見れば女十九、男八、驚きの二、で斷然女の數が多いのは「赤い夕陽の滿洲大陸」の男性的魅力が女性を惹きつけた爲めか?。

◇

ところが彼女達の職業を見れば殆ど全部が內地を食ひ詰めた揚句「まゝよ捨身の旅鴉」と尻帆をあげた女給や酌婦などといづれも度胸のすわつたものばかり。

◇

そして些か見當違ひながら「鄉關を出でた以上は死すとも歸らず」と保官を手古摺らせる連中が多くお陰で保護室は昨今千客萬來。

淨財續々集まる

今回の忠靈塔建設基金募集の報が一度傳はるや可憐な小學生までが友達と相談して日々に戴くお小遣を集めて持參したり、雄々しくも街頭に進出して寄附金を募集して持參する等本社係員をいたく感激せしめてゐるが昨日は相生由太郎氏の一千圓、大連機械製作所の五百圓等大口の寄附も多々あつたが本日は大正區の第一回として森川莊吉氏外二十二名分二百四十八圓の申込あり麗しき淨財は續々として集まりつゝあるが本社取扱高でも既に三千五百餘圓に達してゐる

寄附者芳名（四月五日夕迄の分）

▲金五十圓也森川莊吉▲金五十圓也大塚源吾▲金五十圓也首藤俊雄▲金二十圓也長濱丹治▲金二十圓也大正通町内會▲金二十圓也黄金町々内會▲金十圓也桂城門三郎▲金十圓也大久保正登▲金十圓也竹澤忠郎▲金十圓也大正區市場通町内會▲金十圓也森脇太郎▲金十圓也小松圓吉▲金十圓也小由孝太郎▲金十圓也日野恒次郎▲金十圓也鹽足龜吉▲金十圓也綏芬河國境警察隊太田眞治▲金五圓也中央國旗店▲金五圓也石川良三郎▲金五圓也渡邊六平▲金五圓也早川岩吉▲金五圓也岩戸直吉▲金五圓也金賢弼▲金五圓也坂田嘉一郎▲金五圓也黒田鐵次▲金五圓也田原英次▲金五圓也緒方浩▲金三圓也遠藤幸助

計金二百六十三圓也
累計三千五百六十圓二十一錢也

函館へ一萬圓

大連市役所では去月二十六日函館市大火義捐金三千圓を送金したが更に六日金一萬圓を佐上北海道長官宛送金する筈

函館市大火義捐金（三月四日分）

▲五百五十一圓大連倶樂部々員一同▲三百圓相生由太郎▲二百圓宛大連機械製作所、榊谷仙次郎▲一百六十五圓大連駐箚ソウエート聯邦領事館員並通商代表部大連支部一同▲一百五十圓大連日本基督教會婦人會並青年會▲一百二十二圓五十五錢天理教大連一如會▲一百圓宛三菱商事大連支店寺田虎次郎外一同、大連株式商品取引所、義昌公司張焱町▲七十圓來村琢磨外六名▲五十七圓東亞會館▲五十圓中國銀行▲四十圓宛豐年製油株式會社大連工場一同、五品取引所々員一同▲三十圓宛大連吳服商組合京屋席一同▲二十三圓八十一錢大連旅館組合有志▲二十二圓西部大連洗染業組合邦人有志▲十圓宛ヤマトホテル理髪部畑田千三郎、サロン大連從業員一同、大連鍼灸按組合、金鳳堂店員一同、大槻廣次郎、滿洲舞踏教師協會▲九圓眞砂一同▲五圓川越巳之助▲四圓四十一錢松林小學校富永靜枝外三名▲三圓五十七錢朝日小學校岡本誠▲三圓十四錢伏見臺小學校井上秀譽▲二圓五十錢嶺前小學校井上大九郎外二名▲二圓宛匿名氏、笠トメ▲一圓九十錢常盤小學校扁尾彦枝▲一圓五十八錢中村登子外七名▲一圓五十錢渡邊廣太郎▲七十二錢嶺前小學校五年二組

◎小計金二千四百四十八圓六十八錢也
◎累計金一萬四千六百八圓九十二錢也

南蠻彩船（93）

鈴木氏亭作　布施長春畫

奈良の旅籠（一）

師走日和のうらゝかな日——遠くの森で、百舌鳥がキ、、、さ鳴いてゐた。

しかし、それさても長閑に聞える程、空には冬らしい風が少しもなかつた。

九刻過ぎ、櫻原宿の兵庫屋を出た二人の旅人は、いま靜かな冬の日を浴びて、くらがり峠を奈良の方へ向つて下りてゐるのだつた。

さころが、この二人の後をつけて行く、一人の男があつた。腰に小刀を手挾み、旅人らしくもない裝ひで、大きい蘭笠を覆り、深く面相を包んでゐるので、何者さもわからなかつたが——

二人は、別に氣がついたさ云ふ樣子もなく、峠路にかゝるさ、急ぐ旅でもないさ見えて、打さけて語しながら、嶮しい路を緩やかな歩調で歩いてゐた。

「小平次。奈良の旅は和かで、懷古的でいゝのう」

森が拓けて、大和の平野が、一望の裡に、收められるところに來た時であつた。亞禮奈は初めて話しかけた。

「さういへば、殿は奈良路は初めてゞございますな」

「左樣ぢや。堺の町の附近の地理、風景は、知らぬではないが、大和路さは初めての逢瀨ぢやから、眉目美はしい處女に、こつそり會ふやうなものぢや」

「さう云へば、楓樣はどうなされたでせう？」

「もう楓のことはよせ、よせ。お互に身にふりかゝる責苦！いや運命の處刑さでもいふのだらう。彼女の行方の知れぬのも、また會へぬさ云ふのも、ゼセスの神の啓示かも知れぬ」

「しかし、百舌鳥村の森のかくれ家を、あの遠里小野三郎奴に嗅がれて以來、隨分永いさすらひの旅をつゞけましたのう」

「さうだ。それもこれもみんな助左奴の爲ぢや。早く父の仇を報じて、呂宋の國へ歸りたいのう——」

亞禮奈は珍らしく感傷的になつた。

「でもやつさ坤齋先生さ五右衛門の行先が分つて、何より喜ばしいことです。久しぶりで會つて、大に助左報復の謀略をめぐらしませう」

「あゝ、今日まで隨分樣と鬪つたが、行先がわかつて、先づ芽出度いと云ふものだ」

「楓樣も、一緒にゐるかも分りません」

「そのことは申すなさいふに」

亞禮奈は輕く窘めた。

「堺の經師屋には、大分暫く前からゐないさいふのですから、多分五右衛門でも誘ひ出して、一緒に住まつてゐるのではないでせうか？楓樣も、隨分苦勞をなすつてゐられますなあ！」

「春日野の住居に、みんなゐてくれゝばいゝがな！」

亞禮奈も、小平次の誠ある心づかひに、ほろりさした。

蘭笠の男は、聞くさもなしに、二人の會話に耳傾けてゐた。

峠路は、だんくゆるやかになつて來た。

そして、編笠や道中着や、小荷駄や槍などに、擦れ違ふやうになつてゐた。

「燒出されて以來の大和川の邊りのわれわれの隱れ家は、長いこと平和でしたな。しかし、皆目敵の樣子が知れないので、それぱかりが心配でしたが、坤齋坊老人の在所が知れたことは、まだわれ／＼の武運を、神樣が捨てゝくれなかつた前兆でせう」

「さういへばさうかも知れないが助左もこれから、おいそれさ、われ／＼の罠にもかゝるまい。什事がちさむづかしくなつて來た。これから南蠻堂さも密議をこらし、謀策を講ずるさしよう」

「それが、われ／＼さても、望むところでございます」

[illegible]は、坦かになつてきた。

遠く森を越して丹塗の塔の影が夢のやうに見え出してゐた。

奈良にも大分近くなつて來た。

さ、二人のうしろから、菅笠の男が栗鼠のやうに、すうつさ小走りに拔けて過ぎた。

新刊紹介

舞臺（四月特別號）第一日の午前（岡本綺堂）春日龍神（山崎紫紅）岩見重太郎（吉田武二）小式部人形（大村嘉代子）哨吶の河岸（淺野武男）犠牲（作間眞）秋の人々（林纐太郎）等（七〇錢、東京杉並區阿佐ケ谷三ノ二八九其社）

滿洲日報
四月五日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
大連市東公園町一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

けふは皇太子殿下の御降誕百四日の佳辰
けさ宮中三殿に御參拜

【東京五日發國通】皇太子殿下には御成育も御見事に五日御降誕第百四日の御佳辰を迎へさせられ、午前十時半宮中賢所、皇靈殿神殿に初の御參拜を行はせられた、皇太子殿下には昨今は御智慧附きも殊の外の御趣きにてその御可愛らしい御笑聲は宮中御團欒の中心さへ承はる、何この日兩陛下には三內親王殿下とお揃ひで正午御食膳につかせられ、夜は側近奉仕者を豐明殿に召され御祝宴を催させ給ふ御豫定にて大內山は御喜びに滿ち溢れた

鄭特使一行けさ離京
橫須賀を視察の後、熱海へ

【東京五日發國通】去る二十六日國賓として晴れの入京をなした鄭特使は十日間の滯京にその重大なる日滿親善の大命を果し今や身も輕々と熙特使より一足先に今朝九時二十二分隨員六名を從へ東京驛發橫須賀へ向つた、驛頭には齋藤首相を始め海、外、拓各相、林滿鐵總裁、香坂府知事、德富蘇峰氏等朝野の名士並びに松葉杖の丁公使等滿洲側要人數百詰めかけ鄭特使の離京に最後の挨拶を交しその行を壯んにすれば、鄭特使はいとも鄭重に之に答へ去り行く列車の窓から靜かに頭を垂れて感激の眼を開いた、一行は今日軍令部の津田少將、藤原少佐等に案內されて橫須賀各方面を見學し午後四時熱海に向ふ筈

日滿國永遠の隆昌と提携を祈る
鄭修聘特使退京の辭

【東京五日發國通】鄭修聘特使は五日朝東京を離るるに際し左の如き退京の辭を發表した
入京以來熱誠なる御歡迎を受け、貴國の滿洲帝國に對する非常なる同情と熱意を感得し、言ひ知れぬ力強さを覺えました、この度の來朝が兩國肉親の至情を新にするに役立つたならば光榮これに過ぎぬものであります、天皇陛下の優渥なる聖旨を傳へ奉り、貴國民の熱誠なる御歡迎の樣を奏上致さば、我が皇帝陛下にも必ずや御滿悅の事と存じます、在京中各方面より有益なる御指導を賜はり得るところ多大なるものがあります、只時間に限りありたるため禮を失する事も多かつたと存じます、私共の謝意を御汲み取りあらん事をお願ひ致します、退京に際し御交誼を深謝し兩國永遠の隆盛と提携を祈つて止まざるものであります

熙特使、舊知と廿五年振で奇遇
けふホテルで歡談

【東京特電五日發】熙財政部大臣が陸軍士官學校の一學生として日本に留學してゐた頃、話は今から二十五年前に遡る、當時二十歲の青年だつた熙洽氏は日本留學を志し明治四十三年秋季機動演習の時は士官學校騎兵科の一學生として千葉縣地方に出かけた、同縣千葉郡生濱村の舊家狩田久兵衛氏のお客となつた、當時十一歲だつた久兵衛氏の長男久四郎君は熙氏を殊の外慕ひその走り使などを勤めたものだ、演習の一週間が過ぎ惜い別れを告げた、それから久しい歲月、熙氏はトン〱拍子に出世し遂に財政部大臣となつた狩田父子にとつて熙氏の特使としての日本訪問こそ、此上なき待望であつた、かくて熙特使は五日午後久四郎さんを帝國ホテルに招き互に待ち合つた今日をゆつくり歡談に過ごすこととなつた

多門將軍邸を弔問

【東京五日發國通】滿洲事變勃發以來故多門中將と親交厚き熙特使は重大使命を無事終了し漸く自由の身となつたので本日午前十時澁谷豐分の同邸を訪問、この日は丁度將軍の五十日祭にて折柄禮拜に來合せた白井、坪井、堀內各少將始め事變に關係深き舊幕僚に迎へられ未だ眞新らしい白布に覆はれた祭壇正面のありし日の故將軍の寫眞に向ひ恭々しく玉串を捧げ默禱しばし、やがて感慨無量の面持で多門未亡人に鄭重な弔辭を述べ午前十時三十分退出した

けふの國華デー

四月五日は皇軍に尊敬と感謝の國華日で大連各婦人團員が櫻花を頒布してゐるところ、幾久屋アパート入口にて

前田氏の入閣に鈴木系は不滿
政友會の內訌を助長

【東京特電五日發】文相補充に伴ふ內閣補強工作は既報の如く松本商相を文相に廻し、その後へ前田米藏氏を商相とすることに決定の模樣である、前田氏は政友會において中立的立場にあり、舊政友系の有力者であつて最近は鳩山氏とも好いのであるが、反鈴木系は大體この人選に好感を持つに反し、鈴木系はこれで同系からの閣員が一人も無いので不滿を懷きそのために政友會の內訌が、これによつて助長されることを免れぬ模樣である

政民幹事長の意見交換

【東京五日發國通】政友會では四日午後三時總務會で民政黨の政策共同調査につき協議の結果、若宮新幹事長が本日民政黨の大麻幹事長と會見して意見の交換が行はれる筈

文相には不適任
松本商相拒絶せん

【東京五日發國通】後任文相に擬せられてゐる松本商相語る
文相問題は何も聞いてゐない、他に適任者がないならば兎に角南遞相等は最適任だらう、自分としては適任でもなければ動きたくもないのに困つたことだ
之から觀て松本商相は推薦されても餘程の事情のない限り六分通りは拒絶すると觀られてゐる

文相後任に松本商相有力

【東京五日發國通】齋藤首相は愈々近く專任文相の後任を補充する事になつたが、文部大臣には現閣僚中から適任者を選びその後任に政友會より入閣せしめる方針に決定せるもの、如く、現閣僚中から文部大臣としての適任者を選ぶとすれば後藤農相、南遞相、松本商相の三人が最も有力とされてゐるが結局松本商相が文相後任として最も有力と見られてゐる

林陸相あす園公訪問

【東京五日發國通】西下の林陸相は五日午後九時二十五分東京驛着列車で歸京の豫定であつたが、歸京の途六日興津に西園寺公を訪問して就任の挨拶を述べた上、明年度陸軍豫算の內容及び滿洲國建國の情況を說明し、更に非常時局に處する種々の國策問題に對する軍部意向を詳細說明、諒解を求めるものと觀られる、なほ陸相は出發前日の二日午後六時陸相官邸に荒木前陸相を招待し晩餐を共にした

米國關係議員倶樂部設置

【東京五日發國通】衆議院議員中には南北米國在住者二十七名あり昨今對米外交伯國移民問題など兩國と日本との關係密接且つ複雜を加へつゝある際、これ等議員と政府間に側面工作を行ひ國民外交の先驅をなすべしとの議起り、四日夜植原悅二郎、原口初太郎、佐藤太一、岸衞、中村嘉壽、菅原傳氏等交詢社に會合、日米關係議員クラブを創立した、正式發會は四月中旬の筈

町尻武官動靜

【天津四日發國通】三日天津駐屯軍に到着、令旨の傳達式を終へた町尻侍從武官は四日午前九時旅館を出發、先づ天津神社に參拜し、ついで天津日本小學校に到り三時間に亘り各學校の授業を視察した、なほ同武官は五日北平に赴かれる筈

近衛貴院議長外相と會見

【東京五日發國通】五月十七日橫濱出帆の秩父丸で渡米することゝなつた貴族院議長近衛文麿公は四日午後外相官邸で廣田外相と會見、外交關係、特に對米諸問題に關し外相より詳細說明を聽取し種々意見の交換を行ふところあつた

國道愛護村設置調査

【奉天特電五日發】鐵路を護る愛護村の建設に努力の鐵路總局では五月一日から京圖、吉海及び新線の未完成地方に愛護村を組織することになつてゐるが、鐵道と同樣に自動車道路にも亦愛護村を設くる目的で十六日から二十八日に亘つて宮城自動車線の自動車運轉を機會に國道愛護宣傳とゝもに實地の調査を行ひ鐵道局と協議し國道愛護村を建設して範を示す方針である

運輸統制を中心の滿鐵職制改革
本月末急速に進展か

滿鐵職制改正問題は鐵路總局、鐵道部、北鮮管理局の統制方法を機會に再び擡頭し、村上理事も運輸機關の統制に關しては七月の選任期までに是非共解決したい意向を洩らして居り、今回の正副總裁、十河、村上、竹中各理事、中西地方部長の上京に際しても中央政府との間に本問題の根本をなす滿鐵の

改組 問題が相當愼重に協議され、本月末これ等首腦の歸連と共に滿鐵職制改正問題は急速なる進展をなす模樣で、總務部では審査役方面まで動員して極秘裡に鋭意本問題の研究を進めてゐる、而して今回の改正は運輸機關の統制を動機として起つたものであるためこれ等鐵路總局、鐵道部、北鮮管理局、鐵道建設局の各機關が如何に改變されるかに最大の注目が拂はれてをり、殊に滿鐵社內幹部の間にもこれを機會に鐵道會社滿鐵としての本來の使命を明らかにし、運輸機關の本體としての滿鐵職制を樹立すべきであるとの說も相當有力で、これ等の見地から現在最も強く主張されてゐる運輸機關を中心とする滿鐵職改案なるものは次の如くである、卽ち滿鐵現在の運輸機關は特殊の事情から

橫斷 的統制を行ひ三局、一部が對立的關係に置かれてゐるが、これがため滿洲全線の運輸統制に多大の障碍を與へ、その他從業員の養成、配備等はもとより、經費關係および事務的連絡から見るも、または三局一部の總體的監督方法についても多大の不便があり、〇〇輸送等の特殊輸送に關しても無駄な手續を要する等幾多改正の必要が認められてゐるので、この際鐵道省にならつて運輸機關の縱斷的統制を行はんとするもので、先づ現在の三局一部を廢止して運輸、經理、工作、工務、電氣、建設の六部とし現在の經理部はその權限を鐵道經理にまで擴大して現在の三部一局の經理權限を引きつぎ、また現在の三部一局の人事文書の權限も現在の總務部に引渡しのうへ、總務部は廢止となつて總裁室を設置、これに現在の總務部內の

主要 課を存置而して現在の鐵道及び北鮮管理局所管鐵道はそれ〲獨立した管理局となり現在の總局管理下にある四路局も管理局と改稱、こゝに現場機關として六管理局とする說である、唯以上の如き運輸機關の統制については現在三局一部に對する監督權が異なつた形にあり、かつ給與規定も統一されず、從つてこれが實施の時には一つの機關の中に異つた監督權が入込むが如き困難が生ずるがこの程度の不便を忍んでもこの際斷行すべきであるとの意見が有力で、鐵路總局、鐵道部等でもこれの原本原則に對しては大體贊意を表してゐる模樣である、而して本案によれば特殊事情の生ぜぬ限り商事部、地方部、撫順炭礦、計畫部、經調等も現在のまゝとするにある

羽田鐵道部長あす海路上京

滿鐵々道部長羽田公司氏は六日出帆のうすりい丸で上京することゝなつたが、氏は私用を兼ねて一身上の光榮ある場所に出席するためで月末歸任することになつてゐる
而して羽田部長も單なる私用で何等會社の用事があるわけでなく村上理事とも別に連絡はないと語つてゐるが、氏が歸連期を急いでゐる關係から滿鐵職制改正問題が相當切迫してゐることを物語つてゐる

滿洲國宮內次官
入江貫一氏內諾回答

【東京特電五日發】帝政確立後の滿洲國では宮廷諸制度制定のため宮中制度に明るい人を宮內府次官として招聘すべく前帝室會計審査局長官現日本銀行監事入江貫一氏に就任懇請を爲したが、同氏は四日に至り遂に出馬を決し受諾の回答をなした、隨伴者には宮廷法制の第一人者高木三郎氏、又前式部官として儀式に明かるい加藤內藏助氏を隨行することゝなつた、入江氏は故山縣公の知遇を受けた至誠剛直の人五十六歲、牛込の自邸を訪へば
いよ〱四日受諾した、言葉も生活も分らぬところへ行くだけに可なり考慮した、しかし一旦お引受けした以上身を碎いても仕へるつもりだ、滿洲國には宇佐美氏始め矢田、田邊參議など知友もゐるので多少は心强いが正式回答次第一日も早く出發するつもりだ
と元氣一杯に語つた

紅白兩班長今夕奉天へ向け出發
決定的プランは同地で作成
あと五日に迫る
滿洲鐵道早廻り競走

本社主催滿洲鐵道早廻り競走はいよ〱後五日に迫り過般來技術的にまた大局的に早廻りプランについて精根の限りをつくして種々に研究を續けてゐた紅白兩班においては大體の最後案を決定した

模樣 で五日午後四時二十分發列車で本社の橋本、中村紅白兩班長は呉越同舟、奉天に赴き六日奉天の鐵路總局に陣取つてゐる紅白兩班の各相談役とそれ〲個別的に會見、最後の秘密會議を開いて兩班それ〲決定的プランを確立することゝなつた、滿洲五千二百餘キロに亘る複雜多岐なる各鐵道を如何なる

順序 方法をもつてすることが最も短い時間をもつて走破することになるかといふことそのことが既に困難な問題であるがプランを樹てる上において更に困難な問題となつて來るのは假りに最短時間をもつて走破し得るプランを樹立し得たとしても走行の途中において一度でも失敗せばその後のプランは

全然 覆へされて了ふ事實から考慮してこれによることが最後の勝利を博することになるかどうか保證されないといふ點である卽ち幾多の無理を押して順調に走行し得る場合をのみ豫想してプランを立案したとしても失敗し易い點を多く含む果敢なる冒險によるのが勝利への道か、それよりも時間的には幾分遲くとも

失敗 を招くが如き點をなるべく少なからしめたものによる方がゴールにおいては勝利を占めることになりはしないか、今少大體において既に兩班ともこの深刻な惱みを經驗してゐるものゝやうである、何れにしても兩班長と兩班相談役との六日の個別的秘密會議によつてこれらのすべての問題、あらゆる方針に最後の決斷が與へられるものとみてよからう、なほ踏破十八鐵道（五千二百十粁四）の線名及びキロ數內譯左の如し

十八鐵道 五千二百十粁四

線名	區間	粁
一、南滿線	大連新京間	七〇一、四
	安東蘇家屯間	二六〇、二
	旅順周水子間	五〇、八
	營口大石橋間	二二、四
	渾河撫順間	四八、二
一、北鮮管理局線	南陽雄基間	一四四、〇
	南陽淸津間	一七〇、二
一、奉山線	奉天山海關間	四一九、六
一、大鄭線	大虎山鄭家屯間	三六七、一
一、營口線	溝帮子營口間	九一、一
一、北票線	錦縣北票間	一一二、六
	口北營子朝陽間	四〇、三
一、奉吉線	奉天吉林間	四四七、六
一、西安線	沙河西安間	六七、三
一、京圖線	新京圖們間	五二八、〇
一、拉濱線	哈爾濱拉法間	二七一、七
一、朝開線	朝陽川上三峰間	六〇、六
一、濱北線	哈爾濱北安間	三三二、三
一、齊北線	齊々哈爾北安間	二三〇、四
一、訥河線	寧年訥河間	八六、八
一、平齊線	四平街齊々哈爾間	五七一、四
一、洮索線	白城子懷遠鎭間	八四、三
一、金福線	金州城子疃間	一〇二、一

小學校長異動

關東廳學務課では州內小學校々長異動を決行することに既に決定、去月末日を以つて發表のはずのところ東京における小學校教員御親閱參列者の關係からその發表を延期されてゐたが五日附左記の如く發令された

大連伏見臺尋常小學校長 關東州小學校長 淺野謙治
大連早苗高等小學校長を命ず
大連大廣場尋常小學校長 鈴木銀作
同 大連伏見臺尋常小學校長を命ず
大連春日尋常小學校長 高橋司
同 大連朝日尋常小學校長を命ず
大連日本橋尋常小學校長 越智末一郎
同 大連聖德尋常高等小學校長を命ず
大連常盤尋常小學校長 榊原參藏
同 大連春日尋常小學校長を命ず
大連聖德尋常高等小學校長 松原斧吉
兼補關東州小學校長 大連大廣場尋常小學校長を命ず
大連伏見臺尋常小學校訓導 樋口茂
關東州小學校訓導 兼補關東州小學校長 大連日本橋尋常小學校長を命ず
大連早苗高等小學校訓導 北里淸人
同 大連常盤尋常小學校長を命ず 坂東久松
同 大連朝日尋常小學校長事務取扱を免ず 笠原謙三
同 大連早苗高等小學校長事務取扱を免ず

關東廳辭令（四日）

熊本縣立熊本農業學校教諭 宮原軍藏
任關東州公立中學校教諭（大連中學校勤務）

人事

▲秋山□□氏（關東軍司令部第四課長）五日午前七時四十分着列車にて來連
▲人見順士氏（陸軍豫備少將）同日午前七時四十五分發列車にて旅順へ
▲木原二壯氏（滿鐵地質調査所技師）同日午前九時發はとにて北行
▲粟屋秀夫氏（滿鐵審查役）墓參のため三週間の豫定で六日うすりい丸で歸省
▲大坪正氏（旅館事務所長）同上內地へ
▲伊藤武雄氏（滿鐵審查役）六日「はと」にて內地へ出張の豫定

生活の虹 (91)
菊池寛作 志村立美畫

私は知らない！（四）

「だつて、お父さんは、もう半月も前から、今日か明日かなんて云つてゐるんですもの。さう附きつきりに附いてゐるわけにも行かないぢやないの。それに、私がついてゐたつて、何のたしにもならないんですもの」
典子は、冷然として屈しない。
「そんな事があるものか。お前が今日でもちやんと居て呉れたら、お父さんの前で、綾子と姉妹の名乘りが出來たんだ」
と、子爵が云ふと、
「いや、そんな儀式な事、ひよつこり妹だなんて、出て來るなんていやな事だわ。妾はそんな事知らない！」
さう云ふと、典子は兄の方も綾子の方も、一瞥もしないで、スツと部屋を出てしまつた。
「典子！典子！」
子爵が追ひかけて呼んだが、振り向きもしなかつた。
綾子は、悲しくなつて、こらへてゐた涙が、ひつきりなく頰を傳はつて流れた。子爵が、兄だと云ふことを知つた時のうれしさは、半分以下になつてゐた。エレヴエーター・ガールとして來たとき、自分を敵として憎んだ人は、自分を妹と知つてから、更に必死になつて憎んでゐるのだつた。
「綾子、泣かなくつても、いゝぢやないか。典子が、何と云はうと、君は僕の妹なんだよ。お父さんの子なんだよ」
子爵は、沈痛な聲で云つた。
「ほんとうに、典子さんのわが儘は、困つたものね。でも姉妹ですもの、きつと今に打ちとけるでせう」
と、佐山夫人は、綾子を慰めてくれた。
「典子には、僕が後でよく云ひきかすことにして、とにかくお父さんの傍へ行きませう」
と、子爵は綾子をうながした。
綾子は、急に目黑の汚いバラックの家が戀しくなつた。
「私、一度歸つて參りますわ」
「いや居て下さい。すーつと、此處に居て貰はなけりや。僕は貴女の方が、典子よりも、いくら大切だか分りやしない」
子爵は、決然としてさう云ひ放つた。
以前は愛人として自分を愛し過ぎてくれた事が、典子を怒らせる原因だつたが、今は妹として、自分を愛し過ぎてくれる事が、典子を怒らせる原因だらうと思ふと、綾子はかなしかつた。
兄に連れられて部屋を出ると、モーニングを着た青年紳士が、子爵を見て、聲をかけた。それは、子爵の親友の村山だつた。
「到頭いけなかつたんだね。御愁傷さま」
「いや、ありがたう」
村山は、子爵の背後に立つてゐる綾子を不思議さうに見た。
「村山君、これは僕の妹だつたんだ。實に不思議な偶然だつたんだね。僕と毎日顏を見合はせながら今日迄分らなかつたんだ！」
「ほう」
「父が、三四日前に打ちあけてくれたんだ」
「ほう。しかし、ちつとも不思議はないよ。僕は、一目見たときから典子さんに、よく似てゐると思つてゐた。さうか、やつぱりさうか」
村山は、感動してゐた。

早くも内部抗爭から豆タク立往生か

憤慨した三重役連袂辭職し 明るみへ出た醜狀

新時代の交通機關として大連市民の待望裡に去月十五日華々しくスタートを切つた滿洲内燃機株式會社の豆タク事業は創立一ケ月を經た今日

早くも 重役間の暗鬪尖銳化し、代表取締役永長藤治氏等を向ふに廻して戰つて來た取締役宮崎風一氏監査役沼田銑二、若松司郎兩氏は「カラクリで支へてゐた幽靈會社の内幕」を世上に暴露し、會社創立後四日目、即ち三月十九日連袂辭職を行ひ、完全に豆タクと絶縁するに至つた、之に對し永長代表取締役等は宮崎氏等の行動を指して陰謀呼ばはりをなし

兩者の 感情は今なほ尖銳化してゐるが、重役間の暗鬪によつて曝け出された豆タク會社の内情に對しては幾多疑惑の眼を以て見らるべき諸問題が派生して居り、一般株主は勿論、大連財界の一部に青天霹靂のショックを投げかけてゐる、連袂辭職した重役側の調査によれば

豆タク會社の株金拂込銀行に指定されてゐる滿洲銀行のパスブック（當座勘定帳）には新會社の總株數五千株（一株額面二十圓）全額拂込金十萬圓が正當に記入されてあるべきに拘らず創立總會後の**三月十五日現在における銀行帳尻は僅か一千三百餘圓**の差引殘高があるだけで新會社の**資本金となるべき株式拂込金十萬圓が全く空ツぽ**になつてゐると奇怪な内情を指摘してゐるが然らば拂込金十萬圓は何處へ消えたか？かゝる幽靈會社が創立總會に於て如何に檢査役の眼を晦ましたか？これ等の奇怪な點に就き兩派の意見を叩くと次の如くである

四日で消えた 怪！十萬圓の行方

—宮崎氏らの言ひ分

そもそも滿洲内燃機株式會社の豆タク事業は現在同社の代表取締役たる永長藤治氏の發起にかゝり、これに今回辭職した宮崎、沼田、若松三氏を始め菲、坂本、増永、江上の諸氏が參加し資本金十萬圓全額拂込み、株數五千株（一株額面二十圓）を以つて一般公募一千株、あと四千株は發起人及贊成人が引受けることなり去月十五日創立總會を開催、豆タク事業會社の

設立を 見たのであつた

この間營業上の意見衝突から永長代表取締役と宮崎取締役及沼田監査役等との間に既に面白からぬ空氣をはらむに至つた、この頃より會社の内情に疑惑を抱き宮崎、沼田兩氏の手で調査の結果所謂「幽靈會社たる正體」を確むるに至り遂に連袂辭職問題と進展した模樣であるがこの間の事情に就き兩氏は語る

總會後二日目の三月十七日私達二人は株金拂込銀行たる滿洲銀行に赴き會社のバランスを調覧したところ總株數拂込金十萬圓が預金となつて帳簿上存在してゐる筈であるのに滿銀が取扱つた株式拂込金は千七百株分の三萬四千圓に過ぎず、あとの三千三百株分の六萬六千圓は如何なる方法で拂込まれたか、また拂込まれず架空のものであるかは滿銀の帳簿上では判明せぬので

非常に 驚き滿銀から會社のパスブックを取り寄せて見ると受入金額は三萬三千七百五十圓でこれも一回の重役會にかけず既に大半の金を引出し三月十九日現在で僅か千三百九十六圓十四錢の殘高を示してゐるに過ぎず株金拂込による資本金十萬圓の大半が銀行の帳簿上に一度も姿を現してゐないといふ奇怪事を始めて探知するに至つた、しかし四日前に開かれた創立總會の席上では拂込金十萬圓が嚴存してゐるといふことで檢査役高島始、井上莞爾兩氏の檢査を無事濟ませてゐるのであつて、僅か四日間に十萬圓の大金が消え失せるといふ

事實は 有り得ないことであると思ひ更に調査の歩を進めた結果次の如き驚くべきトリックが暴露したのです、即ち滿銀に拂込まれた株金は三萬五千圓に過ぎず、そのほか大半の株金拂込方法は指定銀行を經由せず永長氏の命に依り滿洲内燃株式會社創立事務所において取扱ふこととなり清水敏夫、高橋亮之助兩氏が各方面の株主を戸別訪問し

株金の 拂込みをなさしめ領收書は創立事務所の名義を以て發行してゐたのでこの金額五六萬圓と見られてゐるが、これが使途につき目下明瞭に判明してゐるものは

豆タク二十臺購入代金四萬九千圓、會社創立費用二千五百圓、電話二本設置費千六百圓、雜費三千圓、合計五萬六千百圓

（なほ土地代一萬七百圓、家屋代一萬三千圓は未拂）

即ち會社で直接株金拂込みを受けた部分は既に創立總會前に於て殆んど右の如き費用に投ぜられてゐるので如何なる手段によつて總會當日檢査役の眼を

晦まし 資本金十萬圓が滿銀に預金されてあるが如く裝ふたか？それには大連で有名な高利貸首藤後雄氏が登場してゐる

即ち創立總會の前日、三月十四日永長氏は市内春日町金貸業首藤後雄氏に對し一日だけの金融を申込み同日五萬六千圓の滿銀預金證書を作成せしめ、翌日創立總會席上右の預金證書と前記滿銀扱ひの株金拂込額三萬三千七百五十圓とを提示し巧みに

檢査役 の眼を晦まし無事總會を通過するに至つたものです永長氏が高利貸首藤氏に五萬六千圓の預金證書を滿銀内で作成せしめてゐる現場は私自から（宮崎氏）目撃してをり、總會翌日件の預金が首藤氏の手に還つてゐる事實を見てもこの行爲は一時を糊塗する「見せ錢」であつたことが想像される譯であるなほ創立總會において會社を代表する取締役を永長氏と決定しこれを登記したが然し業務執行に關しては商法上、取締役會の決議による

必要が あるに拘らず永長氏は一回の取締役會を開かず直ちに銀行と當座取引を開始し金錢の預金引出をなしてゐるが、これは明かに違法である、更らに株金拂込を創立事務所で取扱ひ、この金額を無斷處分したり創立總會當日の「見せ錢」の一件が事實であつたりしたなれば問題は相當複雜化するものと思つてゐます

内部燃燒に弱る内燃機會社（豆タク）の本社と看板（人物は上永長、下宮崎兩氏）

難題を斷つた

それからの感情問題 永長氏の辯

辭職重役派から獨斷專橫を非難され、會社の内情を幽靈會社であると指摘されてゐることに對し豆タク代表取締役永長藤治氏は次の如く釋明してゐる

宮崎、沼田氏等は會社の内情が亂脈を極めてゐるから自衞上辭職するといつてゐるが、これは詭辯も甚だしい

辭職の 理由といふのは實は宮崎氏が私と共同經營の立場に立ち沼田氏を常任監査役に据ゑ、更らに一派の手で修繕工場を作るから豆タク專屬工場にして呉れといふ無理な註文を持ちかけて來たので私はこれを一蹴した、すると辭職するから持株一千株を買戻して呉れと要求して來た、先方では私が右から左へ二萬圓といふ株代を支拂ふまいと思つてゐたらしいが私は

金貸業 の首藤君から融通を受けて株と金の取引を濟まし完全に辭めて貰つたのです、先づ辭職の經緯は右の如くでありこゝにおいて彼等の逆宣傳が開始されたものと思ふ、株金拂込銀行たる滿銀に約二千株の拂込を行つたのみで他の大半の株は會社創立事務所で拂込みを受けてゐるのは怪しからぬと云はれてゐるが、株式募集要項の宣傳ビラには明かに創立事務所と滿銀同樣に株式申込を取扱ふ旨を明記してあり

決して 違法行爲ではない現に宮崎、沼田兩氏も一部の株金を事務所に拂込んでゐる事實がある、事務所では約四萬圓の拂込を受けてなり滿銀扱ひの約三萬圓を合せて七萬圓は完全に拂込まれてゐる、そこであとの約三萬圓の未拂込金は、これは私の會社に立替へた金と相殺したもので、この間一錢の不正もない、會社創立總會では確に金貸業首藤君から五萬六千圓の一時融通を受け、これを私名義の滿銀預金證書とし、十萬圓の全額拂込があつた如く形式を整へたことは

事實で ある、即ちその理由は豆タク二十一臺購入代金四萬餘圓並に創立に要する費用を私が立替へてゐる、これらの金額を定款に記入して置けば問題はなかつたが、種々多忙のため定款に書入れることが出來なかつたので、商法の規定に基き全額拂込の形式を整へた譯であるこの辨法を執ることについては宮崎氏も承知してゐる筈である事務執行の權限は商法によつて代表取締役に與へられてゐるので私が銀行取引を開始したり

その他 社金を社業の爲め使つたことは背任でも詐欺でもない、何れにしても辭職重役は感情問題から中傷的宣傳を行つてゐるもので、會社の内容に少しの不正もないことは勿論現在のところバランスが一致してゐる

共產黨の公判（判官席と被告）

共產黨公判

滿洲事務局設立の經過を述べる松崎

第二次滿洲共產黨第一回併合公判は五日午前九時三十五分より大連地方法院一號法廷に於て田中裁判長係り高橋、平井兩判官陪席、井關檢察官立會の下に開廷されたが午前九時過ぎ先づ釋放中の轉向組被告岡村滿壽始め男女被告十七名が入廷、續いて田村、木原、唯有、五泉各辯護士、最後に手錠姿で首領松崎簡、廣瀬進、河村丙午、小林周三、出口重治の五獄中被告入廷被告二十二人が四列となつて着席裁判長の入廷を待つた、この日第一回併合公判であるにもかゝはらず傍聽席は僅かに被告の家族達十數名が顏を見せてゐたのみであつた、裁判長は午前九時三十五分入廷直に公判を開いた、最初轉向組獄中組に分けて型の如く身分調べを行つた上、午前十時過ぎよりいよいよ審理に入つたが、田中裁判長は

本日から被告達に關する治安維持法違反等に關する公判を行ふが努めて公開して行く考へであるから、社會の公安を害するが如き言辭をつゝしむやう、特に皇室に關する言葉には注意せよと冒頭して先づ首領松崎簡の審理に入つた、松崎は小ざつぱりした大島の揃ひを着し顏をきれいにあたつてゐたが裁判長の前に立つて何時から共產思想を抱くやうになつたかと質問されるや簡單に早大在學當時より三・一五事件に連するまでの經過を述べた後、本件審理上に關し日本共產黨滿洲地方事務局設立に關する事情に就き自由陳述を希望、裁判長もこれを認め松崎は次の如く述べた

滿洲地方事務局設立當時（昭和六年初め）の滿洲は張學良の獨裁政權の下に完全なる封建制度の支配下にあり、これに加ふるに滿鐵を中心とする科學工業の發達、日英米資本の對立等のために滿洲社會經濟の恐慌は激化し大衆の不安は日一日と濃厚となつて反動に勞働者農民の反抗は高まりつゝあると云ふ情勢の下にあり、然も地理的にソ聯に接近してゐるために、かなり共產思想が大衆の中に滿ちてゐた、この事情を知つた日本共產黨では滿洲が地理的にいつても亦一國一黨主義の原則からいつても當然中國共產黨の活動によつて大衆を導くべきではあるが、當面の問題としては一日も早く滿洲に適當なる指導機關を置くことを必要とするので日本共產黨より黨員を派遣すべく考慮中の處、たまたま自分の歸還を機として自分に滿洲に於ける黨運動が命ぜられたもので、自分は歸滿後黨員の獲得に努力し滿洲地方事務局を設立したのである、事務局と稱する機關は日本共產黨に於ては初めてのことであつて明かに日本共產黨の一機關ではあるが、滿洲といふ地區の特殊性によつて幾分その運動方針に特別なものがある

と滿洲地方事務局設立當時の事情を述べて豫審終結決定書に現れた文字を専門的に註釋して行き、いよいよ地方事務局の運動方針に入らんとしたが、正午となつたので休憩、午後一時より再開、松崎の陳述が引きつゞき行はれることゝなつた

小林氏の送別會

滿洲倶樂部後援會幹事たる滿鐵審査役室附小林完一氏は今回鐵路總局に榮轉することに決定したので本社事業部では六日午後五時より西園亭に於いて同氏の送別會を開催することゝなつた、尚參加希望者は至急本社事業部（電話六三四八番）まで申込れたく會費は四圓

弱氣の佐藤選手

シンガポールで歸國を申出づ

【東京特電五日發】わがデビスカップ選手のナンバーワンたる佐藤次郎氏は四日シンガポールに寄航した際健康勝れぬといふ理由で日本に引返したいと申出て他の選手を驚かせた旨入報があつた、日本庭球協會は極力豫定の遠征を遂行するやう打電したが佐藤選手は近年健康を害してなり殊に今度こそは多大の期待を抱かれてゐるだけに頗るナーヴァスとなり前途を悲觀してゐるらしいと謂はれてゐる

便船で歸國

【シンガポール四日發國通】ア杯歐洲ゾーン試合に出場のため山岸、西村、赤倉の三選手と共に箱根丸で渡歐の途に在る佐藤選手は健康勝れざるためシンガポール到着後療養のため上陸したが協議の結果當地出帆の便船で歸國することゝなつた

今晩限りの丸一小仙

見落せぬ東京風太神樂

陸軍省より特派され出征軍隊慰問中の東京太神樂丸一小仙の一行は歸國の途次今五日午後七時より一晩限り協和會館に於て公演するが丸一小仙と云へば日本太神樂の家元で

連綿 二百三十年現在は十一代目の名人で、東京方面の人ならば恐らく子供時代より誰一人知らぬものもないお馴染である。特に鞠と毬の使ひ分けの「花籠毬の曲」「銀盆」のお家藝など全く神技といふの外なく、掛合噺「源三位頼政」は二日夜大連放送局より放送したが、關西の萬歳とは又違つた江戸趣味の滑稽味たつぷりのものである、今回の公演が餘り急であり宣傳不足の爲め知らない人も多いやうであるが

大連 においてこんな本式の太神樂を見られるなどは全く稀有の例であり之を見落すのは惜いものである、特にかゝる日本固有の驚くべき妙技を見る機會を殆ど惠まれてゐない大連の子供達に是非一度は見せて置きたいものである、座席券は尚大分殘され居り入口でも發賣するとのこと、會費大人五十錢、子供三十錢、一般八十錢、番組左の通り

一、傘の曲　小松
二、落語　圓福
三、花籠毬の曲　土瓶とキユーピー　龜造
四、變裝　圓福
五、滑稽源三位頼政　龜造
六、ニツケルプレート　小仙　小松

モダン・ホール・ダンス 教授時間

○女子　午前九時＝午後三時
○男子　午後三時＝午後十時
春期初心者募集致します
○場所　大黒町廿七（電氣遊園裏）
M・A・T・D サトウ舞踊研究所　佐藤和子

狂人の自殺未遂

春氣に昂じた精神病患者の和やかな自殺未遂市内春日町一五吉田三男治（三）はかねてから常人ならぬ頭腦の持主であつたが四日午前十一時家人の隙をうかゞひフイと姿を消し春日町大タクに飛乗り第二〇七四號で黒石礁まで行き更に自動車を乘替へて老座山に至り崖上から飛降りて自殺を圖り前額部に全治十日の傷を負つたのみで無事家族に引取られ唐澤病院に入院した一方三男治の失踪を知つた家人は大あわてに輸手をたどつて前記老座山に行つてみると本人は悠々と崖下で傷も忘れて一休みとばかりに岩に腰をかけてゐたと

新人日本畫展

元滿鐵社員倶樂部…二氏は大橋田總圃（帝展）陸溪白鳥（院友）今井映方（院試入選）森原大絹（國展）四氏の作品を携へ大連好事家の觀賞を得べく五、六兩日大連滿鐵社員倶樂部に於いて日本畫界新人展覽會を開催中

神明見學團

【熊本四日發國通】阿蘇の壯觀に快哉を叫んだ神明高女の一行は水前寺の優雅を賞でつゝ熊本市に泊す

山下氏出發

本溪湖工業實習所々長に就任することゝなつた南滿工專教授山下寛氏は五日各方面に就任挨拶をなしたが六日午前九時發列車にて赴任する

東邦商業勝つ

【甲子園五日發國通】選抜野球准決勝東邦商業對海南中學は午前十一時九分より海南先攻にて開始結局五A對二で東邦商業勝つ閉戰零時五十九分

海南	000	020	000	2
東邦	021	200	00A	5A

運動界のうごき

◇…合宿練習中の滿洲國陸上競技選手一行は奧監督引率の下に四日十六時二十分發列車で歸京
◇…伊藤清八郎氏（棒高跳選手）は今回奉天高女を退職し、奉天平安通りにおいて伊藤運動具店を經營
◇…村上四平氏（滿洲陸聯學務幹事）は今回滿鐵學務課高專中等教育係より地方部庶務課調査係に轉じその後任は櫻井忠義氏（滿鐵學務課體育係）に決定
◇…關東州野球大會出場チームの練習時間▼國際運輸午後五時より實業球場で▼南滿電氣午後五時より大連二中球場で▼消費組合及鐵道部午後四時半より滿倶球場で

天氣予報

六日　南東の風（曇）一時晴
滿潮（午前一時四〇分　午後二時三五分）
干潮（午前七時四五分　午後九時一五分）

各地溫度（五日午前十一時）

大連	九度	奉天	七度
旅順	七度	營口	四度
新京	八度	新義州	七度

新講談

丹下左膳（67）

林不忘作　小田富彌畫

焼野の鬼（四）

同時に。

御長館の若侍達は、一時にパッと飛び退いて、遠巻き……。

その手に、一本づゝ秋の流水が迸つたと見えるのは、一同、早くも抜きつれたのだ。

「理不盡！」

口のなかで呻いた左膳は、左手で、ちよつとチョビ安を庇ひながら、脇差を突き出し、顔を斜にして高大之進を見やつた。

その鼻先にドギ／＼する大之進の切先が、頃合ひを計つてヒクヒク突きつけられてゐる。

ニヤリと笑つた左膳だ。

「フム、そんなにおれを斬り度えのか、おい！え、そ、そんなにこの左膳の血を見てえのかッ」

と、一と言づつせり上がるやうに、

「イヤサ、何うでも手前らは斬られてえのだな。ウム？死にてえのだナ？」

區切るやうに言ひながら、そつと左右に眼を配つた剣妖左膳、物憂さうに欠伸まじりに

「血迷つたな、伊賀侍ども。宜しッ、相手になつてやるッ」

言葉の終らぬうちに、足を開いた左膳、ツと體を低めたかと思ふと、腰を捻つて流し出した乾雲刀濡れ燕の柄、たッ！と音して宙に躍むより早く……。

「洒落臭えッ！」

正面の敵、高大之進はそのまゝにして置いて。

白い圍まりのやうに、横ツ飛びに左へ飛んだ丹下左膳は、その左剣を、抜き放ちに後ろへ攫つて。

折から――。

左膳を眼がけて跳躍に移らうとしてゐた大垣七郎衛門の脾腹を、なゝめに斬り下げた。

血飛沫立てゝ反りかへる七郎衛門の武者袴に、時ならぬ牡丹の花が見るみる滲み擴がつてゆく。

「一人ッ！」

その時、朗らかな聲が響いたのは、チョビ安が、さう大きく數へはじめたのだ。

呑氣なやつて、チョビ安、手に一本の焼け棒ッ杭を拾つて、包圍する伊賀勢の劍輪を潛つて蹴みの外へ走り抜けた。

鬼神のやうな左膳の劍技に度膽を抜かれて、一同は、子供などに構つてゐられない。

チョビ安は易々と、地境に焼け殘つてゐる土藏の横へ駈けつけた。

そして、燻つた白壁に、一と大きく數字を書きつけました。

左膳が一人ずゝ斬り斃す傍から、チョビ安はこゝで記録をつける氣と見える。何うも洒落たやつで。

左膳は？

と見ると。

青眼の構へよりも、すこしく左手を内側に絞込んで、劍先をやや下げ、踏み出した左の膝を心もち前のめりに曲げて、立つたまゝ、一眼を面白さうに笑はせて立つてゐる。

焼野の鬼……。

何しろ、おそろしく足場が悪いんです。焼けた梁や板、柱の類が累々と重なつてゐるその一つへ、痩せさらばへた片足をチョンと掛けて、四方八方前後左右へ眼を散らす丹下左膳……見せたい場面です。

絶讃の聲湧く『丹下左膳』封切會
第一日は超滿員の盛況

本社主催「丹下左膳」封切會はいよ／＼四日より日活館において開始されたが、四日晝間入場者は千餘名、夜間入場者は千三百名の超滿員、殊に夜間の如きは開演定刻午後六時三十分には既に階上階下共に滿員、七時過ぎには階上階下共に大入、それから後につめかけたファンにはお氣の毒ながら入場を御ことわりする有様で、全く「丹下左膳」に對する人氣は白熱的である

映畫は先づ外國の傑作漫畫トーキーを上映、つゞいて前寫しとして日活現代劇部、杉狂兒、關時男、吉谷久雄、星ひかる等のコメディアンが活躍する「子供バンザイ」が上映、峰一路が輕妙な解説を加へてゐる「子供バンザイ」はナンセンス映畫ではあるが、子供を持つ親心を中心にしたもので、完全に觀客を笑はせると同時に、充分に泣かせてゐる

「子供バンザイ」に續いて上映する「天子東方に出づ」は滿鐵弘報係撮影班が特に撮影を許可されて謹寫した、滿洲國皇帝陛下御登極實況の大記録映畫で、然もP・C・Lによって全卷を通じ伴奏が録音されてゐる、我々はこの大記録によって目の當りに大典當日の盛儀に接することが出來るのである、右大典映畫謹寫後、いよ／＼ファン待望の本紙連載中の新講談の映畫化、大衆文壇の重鎭林不忘氏原作、伊藤大輔監督、大河内傳次郎主演「丹下左膳」が上映される、いゝこけ猿の壷を挟んで捲き起る江戸の騒動、劍鬼左膳の怪腕益々冴えて往くところ敵なく、彼の愛刀は夜毎血を吸ふ、然も人間左膳の温かき人情、觀客は大河内傳次郎の洗煉された演技に絶讃の聲を浴びせかけ、午後十時過ぎ全觀客は完全に滿足しきつて散會「丹下左膳」封切會第一日は大盛況を収めることが出來た、封切會は四日より一週間の豫定で、毎日晝間は零時三十分より、夜間は午後六時三十分より開演するが、晝夜共滿員になるものと豫想されるから成るべく早々と入場されたい

尚前記大典記録映畫「天子東方に出づ」は友邦滿洲國皇帝御登極の實況を謹寫するものであるから、右映畫上映中に限り觀客においても適當に敬意を拂はれたい。

子供バンザイ

丹下左膳封切會に於て上映中

日活現代劇部製作のナンセンス映畫、監督は新進大谷俊夫、關時男が看板屋の親父、杉狂兒が自轉車屋の親父さんに扮して活躍、珍演するが「坊やは家庭の王様」をテーマーとした涙の喜劇である（寫眞は關時男の看板屋と五月潤子のその妻）

本紙連載小説の映畫化

林不忘氏原作　大河内傳次郎主演

『丹下左膳』封切會

滿鐵弘報係撮影記録映畫

「天子東方に出づ」封切謹寫

目下日活館に於て開催中

會費　階上七十錢　階下五十錢

主催　滿洲日報社

蒲田撮影所
大船に移轉か

松竹キネマは蒲田の撮影所狹隘を理由として移轉先を物色中、先頃東海道線大船に候補地ありと地元有力者と折衝したが昨年末不調となつてゐた處、最近に至つて此相談が再燃し今度はどうやら本格的に話が纏まる模様で地元關係者が本氣に奔走中である

義捐筑前琵琶大會

大連教師會主催で函館大火義捐筑前琵琶演奏會が七日午後六時五分から敷島町青年會館で開催される（會費八十錢、前賣五十錢）

うわさ話

四日より日活館に於て封切公開した本社の夕刊連載小説映畫「丹下左膳」は文字通り壓倒的な人氣で超滿員の盛況であったが▲内地よりの通信によれば東京も大盛況、京都、大阪に於ても目下四月第一週興行として公開中であるが既に第二週まで續映と決定する程の人氣▲「丹下左膳」の人氣は全日本的に物凄い有様…▲「丹下左膳」の前寫しとして上映中の「子供バンザイ」に關時男の妻に扮して出演してゐる五月潤子、病院でやつてゐるシーンの顔が勝美夫人にそつくりだと大騒ぎ▲そも／＼それを云ひ出したのは、最も熱心な勝美ファンとして自他共にゆるす伊藤日活出張所長だとのこと……

八年度輸送貨物 前年對一割四分增

社線一般貨物と撫順炭增が原因

齊北線は十六割方激減

滿鐵々道部昭和八年度貨物輸送噸數は前年度に比し一四パーセントの增加を示し、計一千八百八十二萬餘噸の輸送を見、滿鐵創業以來の新記錄を出したが、原因は社線內社外貨物卽ち南滿特產物および輸入貨物の激增に伴ふ社線發一般貨物二二パーセントの增加、撫順炭輸送二八パーセントの增加に因るもので、これに比し北滿貨物の發送は慘澹たる有樣で前年比齊北線發は一五九パーセント、北滿線發は四三パーセントといふ激減で北滿大豆の出廻不振を如實に示してゐる、左に各線別貨物發送噸數を示せば(單位噸、それ以下四捨五入、△印減)

▲社線の部

社外貨物	六、〇一〇、三三五	一、一〇九、一三八	
社內石炭	八、五九六、八〇一	一、二四四、〇九五	
社內其他	一、一七〇八、三八四	一六五、〇三一	
計	一六、三一五、七三〇	二、七一八、二六四	

▲他線發の部

海路	三一、二四四	五、六一六
金福	三八、八〇四	二五、一二一
朝鮮	一三八、五一六	九七、〇〇八
瀋海	三九八、六五七	△二〇〇、一七七
四洮	一九〇、五四二	七一、二四一
洮昂	一一七、四四五	二三、三七八
齊北	一七八、六六三	△二五八、七一六
北滿	六三三、八九七	△四七、八八四
京圖	六三二、九七一	一〇、二三四
拉濱	三七、三〇三	三七、三〇三
奉山	八〇、四〇七	七三、八〇七
計	二、五二一、六〇九	四四、六〇七、七三三

▲總計

社外貨物	八、四一九、三七五	五七六、三五四
社內石炭	八、五九六、六〇八	一、四三〇、八〇二
社內其他	一、八〇二、三三六	二四四、二六五
計	一八、八二七、三三九	二、二二四、四二一

出入船舶の六割が日本船

三月中大連港成績

本年三月中における大連港出入船舶總數は合計九百四十三隻、總噸數二百二十八萬三千五百二十五噸前月に比し二百六十二隻、三十二萬餘噸前年同月に比し七十五隻、十七萬餘噸とそれ〳〵增加を示してゐる、右の中入港船は四百六十五隻、百十二萬二百八十一噸、出港船は四百七十八隻、百十六萬三千二百四十四噸でこれを內外船別に見れば

▲入港船

	隻數	噸數
日本船	二七六	七二一、二九六
外國船	一八九	三九八、九八五
合計	四六五	一、一二〇、二八一

▲出港船

	隻數	噸數
日本船	二六七	七一四、三五六
外國船	二一一	四四八、八八八
合計	四七八	一、一六三、二四四

卽ち依然として日本船が出入船共に約六割を占めてゐる、次にこれが出入船舶によつての三月中の出入船客總數は十六萬三千三百五十七人にして出港乘船客が僅かに三萬百三十六人に過ぎないに反し、入港上陸船客は實に十三萬三千二百二十一人の多數に上り差引入港上陸船客十萬三千餘人の超過となつてゐる、原因は山東、北支方面の苦力の渡滿期に當りしため約十二萬人からの四等船客としての苦力が來連したことによるもので、內容左の如し

▲入港上陸客

人種別		人員
日本人	男	八、〇六四
	女	三、八〇四
滿支人	男	一二四、〇七九
	女	六、九〇一
外國人	男	一二三四
	女	一三九

▲出港乘船客

人種別		人員
合計	男	一二二、三七七
	女	一〇、八四四
日本人	男	五、一七九
	女	二、七五二
滿支人	男	一九、四六六
	女	二、四四〇
外國人	男	一八九
	女	一一〇
合計	男	二四、八三四
	女	五、三〇二

注目を惹く濠洲粉の輸入

一般市況は弱含商狀

三月中の大連港における小麥粉輸入高は百二十八萬三千二百五十二袋、前月に比し十七萬七千餘袋の減少を示してゐるが、前々月壓倒的に輸入され前月に於て一時減少を見せた濠洲粉が再び大量に輸入されたことは注目すべきである、これを仕出地別に見れば左の如し(單位千袋)

仕出地別	數量	百分比
日本粉	五八八	四五・六
米加粉	四八	四・〇
濠洲粉	六四七	五〇・四
合計	一、二八三	一〇〇・〇

卽ち以上の如く濠洲粉は六十四萬七千袋も輸入され

總額の五十パーセントを占め前月八十七萬七千袋輸入されて總額の五十九パーセントを占めた、日本粉を遙かに凌駕し滿洲における日本粉の市場を攪亂したかの感があるが、これが原因は濠洲產地安によるもので、端午節目當の引當てにより比較的品質良好で廉價であつた濠洲粉の壓倒的輸入は當然のことゝ觀測される、卽ち濠洲粉の一等品は邦品の三菱紅綠程度の優良品に拘らず、十錢程度下値であつた結果、折柄の需要期に當り大量輸入されたもので、今後は端午節句目當の引當ても終りある故、濠洲粉輸入も三月一杯を以て一服商狀に入るものと見られる、なほこれ等三月中の輸入麥粉は全部荷捌かれ、埠頭在貨高も一時百七十萬袋以上あつたものが百四十萬袋に減少してゐる、現在市中相場は三井寶船二圓三十錢、三菱紅綠二圓二十錢、濠洲粉二圓十五錢程度を示し、二月末に比し幾分弱含みを呈してゐるが、現在濠洲相場強調を入れ

先安　不安の買控へも解消し、買氣も相當あることゝ故、漸次強調を辿るであらうが、滿洲特產安による奧地購買力の萎縮に不需要期到來の惡材料も控へて大した强値も見られないものと觀測さる

郵貯成績 昨年比五百萬增

三月末現在

關東廳遞信局管內の三月末現在における郵便貯金高は人員三十九萬四千九百八十七名、金額三千四百萬九千二百三十八圓で之を前月末に比較すると人員四千二百九十六名、金額三十二萬七千九百九十二圓の增加を示し、更にこれを昨年三月末に比較すれば人員六萬四千五百九十九名、金額五百二十一萬二千八圓の激增を示してゐる

支那紡績界 極度の不振に喘ぐ

注目さるゝ日支業界の連繫

【東京特電五日發】上海四日發電によれば支那紡績界の不況は例の棉麥借款の失敗とゝもに全く救濟の道絕え、各銀行からの借款一億三千萬元は償還不能に陷り、中には擔保流れとなるものを生じたので、上海財界は支那紡績の更生のため日本紡績の援助を求める外なしとして日本人技師を招聘する外日本內地に見習生を派遣することゝなつた、この日支の技術的連繫は英人の紡績に徹底的打擊を與へるものとして注目さる

洋紙市價吊上に商工省警告

【東京特電五日發】商工省は洋紙の市價吊上げにより消費者を壓迫しつゝあるに對し、四日製紙聯合會代表者を招致して警告を發したが、若しこれを聽き容れないときは統制法の第三條を發動して公益を擁護せんとする意向である

日本との接壤國間 特惠條約容認を要求

英印特惠關稅容認の交換に

【東京五日發國通】インド政府は一月五日迄の日印會商で問題とならなかつた事項を新日印通商條約中に挿入すべきを要求して居るため、今なほ署名交換の出來ぬ狀態にある、卽ち新事項とは印度側が英國の意を承けて英印特惠關稅制度を條約上に承認する事で、最初日本は之を拒否したが、印度側が一方的に宣言程度なら容認せんとするが、英本國の態度强硬で是非條約中に包含せんとして居り、その結果日本は條約上に英印特惠關稅を容認する代りに、日本並に日本と接壤する諸國間とも將來特惠關稅を實施すべしとの條項を挿入せんと折衝中である、右の根據は二月成立の英露暫定通商條約にて、英國はロシアが英帝國領土內に於ける特惠關稅制を承認の代りに、ロシアに對し接壤國間に條約上にも通商上にも特殊關係を生ずる事を理由に諸國間の特惠關稅承認の條文があるので、之と同樣に東洋に滿、露、支の如き接壤國や近接國間に特惠關稅を實施し得べきを要求せんとするものである

當面對策として金融組合設立

◇…農村疲弊の救濟に

【新京特電五日發】農產物の値下りで極度に疲弊せる農民救濟策として各地方に農業倉庫を設けて農產物の共同保管と共同販賣により農產物の値上げを行ひ、一方金融組合を設立して簡易に低利金融を行ふことが最も理想的だとされて居るが、農業倉庫の設立は經費と時日を要し、當面の急場を救ふには考慮を要するので、民政部では取敢ず疲弊の最も甚だしい黑龍江省に金融組合を設くることゝなり、滿洲中央銀行へ之れが貸出條件其他を交涉中である

アメリカの銀異變(下)

輸出國から輸入國へ轉向

更に注意すべきはアメリカが銀の輸出國から輸入國に轉向した事である、メキシコに次ぐ世界有數の銀產國であるアメリカの銀產額は國內の需要を充たしてなほ餘りがあり、其餘剩は每年支那、印度等へ輸出されるのが例であつた、統計上には若干の輸入も現れては居るが、それは

仲繼貿易　としての輸入又は取引上の調節の必要より行はれるものであつて其額は輸出額に比し非常に尠かつたものである、例へば一九一一年から一九一五年迄の五ケ年間の年別平均輸出額は約六千百萬ドル、これに對し輸入額は約三千九百萬ドルで每年平均二千三百萬弗內外の出超となつてゐた、更に一九一六年から二〇年迄の五ケ年間は年別約八千六百萬弗平均の輸出超過を見せてゐた、然るにその後世界的不景氣の到來と共に支那及びインドの購買力は減殺せられ、國內の需要(主として美術工藝用)も著るしく減少し、一方これにつれてアメリカの銀額も著減した結果、國內に於ける銀の需給はほゞ過不足なき迄にバランスが取れ、輸出は昔日の如く旺盛ではなくなつた、試みに一九二六—三〇年の五ケ年間平均出超額を見ると約一千八百萬ドルに減つてゐる、而してこれに續いて起つたのが、銀の輸入超過といふ

逆轉形勢　である、卽ち一九三一年からは輸出入額とも著減を示しながら、輸入額は常に輸出額を凌駕し、殊に昨年の如きは輸出額の一千九百萬ドルに對して輸入額は六千萬ドルに急增して、入超額は殆ど四千萬ドル以上に上るに至つた、この原因を主として銀價昂騰見越しの思惑輸入によるとするも、昔日の出超と對比して一大異變と見るべきである、過去二十年間の輸出入狀態の變動を見るに別表の通りである、そこで右の輸出入額に就いて、これを數字で見たものは正式發表がない、それは右輸出入額の中には銀貨をも含んでゐるからである、然し大體の見積りでは銀塊及び銀鑛としての入超高は一九三二年には約一千七百萬オンス、一九三三年には一億一千八百萬オンスと見られてゐる然るに一方ニューヨーク商品取引所指定の倉庫內に貯藏さるゝ銀の在荷は最近一億一千萬オンス近くに上つてゐる、これを昨年十月頃の在荷に比較しても二倍近くに增加してゐる事は別表でも判る通りである、而して更に

同取引所　指定以外の倉庫に於ける銀在荷その他ニューヨーク以外の各地の在荷(政府保有分を除く)を加へるならば優に二億オンスを算するであらう、これは卽ちアメリカに於ける銀退藏の激化を物語るもので、同時に銀入超の事實と共に銀に對する思惑熱の旺盛振りを表徵する一事例である

過去二十年間アメリカ銀塊輸出入額

(單位百萬弗)

年度	輸出	輸入
一九一三年	六三	三六
一九一四年	五二	二六
一九一五年	五四	三四
一九一六年	七一	三二
一九一七年	八四	五三
一九一八年	二五三	七一
一九一九年	二三九	八九
一九二〇年	一一四	八八
一九二一年	五二	六三
一九二二年	六三	七一
一九二三年	七二	七四
一九二四年	一一〇	七四
一九二五年	九九	六五
一九二六年	九二	七〇
一九二七年	七六	五五
一九二八年	八七	六八
一九二九年	八三	六四
一九三〇年	五四	四三
一九三一年	二六	二七
一九三二年	一四	二〇
一九三三年	一九	六〇

ニューヨークに於ける銀の倉庫在荷

一九三三年十一月一日	五七、六〇〇
同十六日	五七、九〇〇
同十二月一日	五六、六〇〇
同十五日	五八、九〇〇
同十二月一日	七一、七〇〇
同十五日	八一、二〇〇
一九三四年一月一日	八六、五〇〇
同十五日	一〇四、七〇〇
同二月一日	一〇八、六〇〇
同七日	一〇九、二〇〇

單位オンス(註、本表の在荷はニューヨーク商品取引所指定倉庫の在荷)

ニューヨーク商品取引所銀塊出來高

(單位百萬オンス)

	一九三二年	一九三三年
一月	二〇	二〇
二月	二五	四五
三月	二五	四〇
四月	四一	一五一
五月	一九	一四八
六月	一四	一五二
七月	一六	一七〇
八月	五二	一一七
九月	三一	一三七
十月	二二	一一四
十一月	三一	一二六
十二月	一九	一一二
合計	三一五	一、四六八

大汽の營口航路延長

第一船に山東丸

五日臺灣生果積載出航

大汽は既報の如く大連、臺灣航路並大連裏日本航路を四月一日から營口に延長に決定、前者は山東丸山西丸、後者は河北丸、河南丸の孰も優秀のデーゼル貨物船二隻宛を配し、これがため臺灣營口間、裏日本營口間の貨客の來往に至便になつたが、營口行の第一船として山東丸が五日午後二時大連出帆營口に向つた、同船は臺灣の蜜柑バナナ、蔬菜類を積載營口揚げの筈であり、復航には營口粕を積荷大連經由臺灣に向ふわけて、營口には、これがため先般荷受組合が成立した、第二船には裏日本航路の河北丸が十三日入港翌十四日大連發營口に向ふ豫定である

朝鮮郵船

五分配當復活か

【京城發】朝鮮郵船の八年下期(八年十月より九年三月に至る)業績は一般海運界の好轉につれ、前期貨客收入二千萬圓を突破し、前期に比し二十三萬圓、前年同期に比し二十萬圓の增收を示し、純益も十二、三萬圓に達する模樣で、五分配當復活は愈々確實と見られてゐる

奧地滿人の日貨愛好傾向

【新京特電五日發】滿洲國成立以來奧地滿人の日本商品に對する趣味傾向が從來と全く一變し、極めて好日的に變化したことは事實である、卽ち從來奧地滿人は下級國產品を好み、日本商品は趣味に合致せざるため賣行不振であつたが最近はこれと反對に純滿人向商品は受入られず一般日本人向商品が歡迎されてゐる、斯樣に奧地滿人の日本商品に對する嗜好の變化は今後に於ける日本商品の奧地進出を容易ならしむるもので大いに將來を期待されてゐる

南支筋依然 買氣起らず

大連外課稅問題も利かず

南京政府は先般來滿洲特產物に對し大連積のみならず滿洲各港積共一律高率輸入稅を課徵する旨發表したので、從來營口積に壓倒され乍ら萎微不振を續けた對支大連輸出もこれがため或る程度迄增加するに非ずやと豫想され、事實大連特產市場に於ても南支筋の買氣が擡頭してこれを裏書きするかの觀あつたが、その後の實情に徵すると何等緩和された氣配もなく、大連への買氣は依然として杜絕の狀態にある、右は營口積貨物に對する支那側の輸入稅賦課は未だ嚴重には行はれ居らざるもの、如く、遼河の解氷以後日末だ淺く營口輸出貨物の支那向の數量は頗る少量であつてこの間の事實が判然させざるためだと言はれてゐる

內地各府縣の駐在員漸增

【奉天特電五日發】從來滿洲との貿易に緊密な關係を持つ內地各府縣では商工都市の奉天を目指し、現在三府二十縣から駐在員を派遣して來てゐるが、四月から靜岡縣の派員が着任する外山口海外輸出貿易組合、鹿兒島、宮崎の九州方面からも駐在員を派遣することに決定してゐると傳へられ、今後の情勢では府縣全部が駐在員を派遣する時代が來るだらうと期待されてゐる

日英政府交涉に英紙勝手な忖度

【ロンドン四日發國通】ロンドン各紙は四日の紙上で日英政府交涉が日英兩國の一般通商問題に及ぶが如く報道し、ファイナンシアルニウス紙の如きは日本政府は一般通商問題、特に綿業に就てはランカシアの主張迄讓步しその代り海軍問題を出して英國政府の讓步を求めるだらうなどゝいふデマを飛ばしてゐるが日本大使館では右報道を否定し日英政府交涉の目的は日英民間交涉決裂の善後處置以外に出でない旨を言明した

浦川氏離連挨拶

鮮銀奉天支店副支配人に榮轉の前大連支店副支配人浦川秀信氏は四日挨拶のため市內各方面を歷訪した

◇…一般貨物と撫順炭の增加の結果だが、一方北鐵や、齊克線は異常な激減ぶりを見せて居る、畢竟特產出廻りのいかに不振であつたかを物語るものとして今更に北滿農民の疲弊狀態が想像される。

◇…上海の支那紡績界益々不況の度を加へて二進三進もいかぬ窮態、ヤツと日本當業者と合作の必要を自覺して彼是と畫策中だとは、遲ればせながらその態度を可とする。

◇…朝鮮仕向け滿洲粟の特別稅率が百斤一圓に引上げられ農林に對抗した拓務省も完全に敗けた譯だが、これで鮮米の內地移出がイクラカでも緩和が出來ればお手拍子喝采といふ處だ、しかし由來自作の米よりは滿洲粟に嗜好を持つてる鮮內農民にとつては却て迷惑至極なことではなかつたか。

◇…滿鐵々道部八年度輸送貨物は前年に比して十四パーセントの增加を示した、これは社線拔の

綿サロン輸出統制 急速具體化計畫

日蘭會商を機會に

【東京五日發國通】日蘭會商問題を契機に綿サロンの輸出統制は生產者と輸出業者の双方から急速に具體化しつゝあるが、輸出業者は三月末日本輸出系染綿サロン同盟會を組織し、輸出統制に乘出すことに決定した、一方生產者側の日本綿織物聯合會でも右同盟會と協議してサロン統制の完全を期する事となり、近く協議會を開く筈、なほ聯合會の統制要項は

一、各生產地に對する綿サロン生產割當て

一、綿サロン取引先の指定

一、海外情勢に鑑み必要な場合は賣止め又は生產の一部休止

等を主眼として居る

市況(五日)

株式

內地株强保合 當市閑散

北濱定期の前場寄は大株三十錢安大新十錢高、鐘紡五十錢高、鐘新十錢高引は保合、東京短期の新東は六圓貰、日產は六七圓臺の强保合を入れ當市の五品同事、新豆、錢鈔十錢高、日產六十錢高、新東三十錢高に引け他株は概ね閑散裡の保合であつた

前場

◇定期(單位十錢)

銘柄	當限	先限
五品 寄	二八二	二八五
五品 中		
五品 引	二八二	

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇
新豆	二三〇	二三〇	二三〇	二三〇
錢鈔	二三〇	二三〇	二三〇	二三〇
電々	一六〇	一六〇	一六〇	一六〇
日產	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇
東新	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇

滿鐵株(保合)

滿鐵新	六〇七	六〇七	一
滿鐵二新	一〇六	一〇六	一
東京短期 滿鐵新株	六十八圓十錢		
大阪短期 滿鐵舊株	六十九圓		

◇雜取引　代行二八九、商取二一六、大同電力一一五、正隆二一新九二、土木企業一〇〇、九九、撫順窯業一二五

○爲替及受渡日步

市場電報(五日)

銀塊及爲替

倫敦銀塊	一九片八分七
同 先物	一九片六分三五
紐育銀塊	四五仙八分七
孟買銀塊	五四留比八分七
スチール	三二弗四分一
アナコンダ	一三弗四分三
英米爲替	五弗一六仙八分一
米日爲替	三〇弗三仙
米支爲替	三三弗〇〇仙

神戶日米

第一回	三〇弗一六分三
第二回	三〇弗一六分三
第三回	三〇弗四分一

棉花

●米棉

現物	一二仙三五
五月	一二仙〇五
七月	一二仙一八
十月	一二仙三三
十二月	一二仙四一
一月	一二仙四七
三月	一二仙五八

●印棉

ベンゴール	一二四留比
ブローチ	二〇〇留比

印度麻袋

鐵筋直積	二四留比分一
吉筋直積	二七留比二六分一
爲替相場	一七大留比八分一

東京株式、東京期米、大阪株式、大阪期米、神戶期米、大阪綿糸、大阪棉花、橫濱生糸、五品雜觀、株式出來高(四日)

◇北滿諸株は二、三十錢方の小浮動で閑散らしい市況を維持し、東京十錢高を入れ新東も保合に立つて諸株共閑散裡の保合であつた

◇新東株が諸株式の指導力を失つてから日產株が强氣目標とされ

◇卽ち强氣は日產の百二十五圓は一割配當とあるだけ絕好の押目であり突込み賣りは警戒すべしと言つてゐる

◇之に對し弱氣筋は日產株が六十萬の株數から合併に依て一躍二百四十萬株に激增し事業が餘りに多角的になり過ぎた點を悲觀的にみてゐる

◇いづれの見解が當を得てゐるか今後の推移を俟たねば俄かに判定出來難いが相場としては頭重い氣構にある

◇株式會では二日總會を開き幹事の改選を行つた結果藤田、辻、地神の三君が重任に決定、尙同會は八日一方亭において懇談會を開くと

爲替相場

鮮銀

金	一、〇三三
銀	

手形交換高(五日)

枚數	一、八三三枚
金額	一、五六六、一五二圓

倫敦向電賣(一圓)	一志二片	
紐育向電賣(金百圓)	三〇弗	
上海向電賣(百弗)		
日本向電賣(銀百圓)		
同上日拂買(同)		

(明治卅八年十二月十五日第三種郵便物認可)

滿洲日報

朝夕刊共十二頁

定價　一部金五錢　一ヶ月金一圓二十五錢
廣告料　普通一行金一圓三十錢　特別一行金一圓六十錢　指定場所二割以上加算
發行人　鈴木昇
編輯人　橋本喜代治
印刷人　本村武盛

發行所　大連市東公園町卅一番地　株式會社滿洲日報社　振替口座大連六〇番

領空侵害の赤機　敵意なきこと判明

演習を機會に境外に逃亡　滿洲國釋放に決定

【新京特電五日發】去る三月十一日蘇滿國境を越えて滿洲國領土内に侵入不時着したソ聯軍用飛行機及び搭乘者ソ聯飛行將校二名についてはその後引續き滿洲國當局に於て嚴重取調中であつたが右將校二名は赤の苛政、ゲ・ペ・ウの重壓を呪ひ、脱出を企てた政治犯であり何等滿洲國に意敵なきものと判明しこれを釋放することゝなつた、右について外交部當局では左の如く語る

三月十一日午後十一時十五分吉林省密山縣小興凱湖岸の一地點にソ聯領域内より飛行機一臺飛來し着陸したが附近にあつた匪賊に襲はれ掠奪を受け搭乘露人二名も拉致されたが折柄巡行中の吉林軍部隊が迅速適切なる行動に出で匪賊を四散せしめ機體と共に兩名の身柄を奪回安全地帶に收容した然るに我が當局の取調べの結果右越境**飛行機は**軍用輕爆機なることが判明したので特に軍法處に於て搭乘者の詳細訊問を行つたところ彼等はソ聯沿海州スパスク飛行隊所屬の操縱士並びに機關士で豫てソ聯當局の苛政に深刻なる反感を抱いてゐたもので最近ゲ・ペ・ウの壓迫監視が頓みに加はり身邊の危險を感じつゝあつたが、たまたま當該飛行機の試驗飛行を命ぜられた好機を奇貨とし一息に**脱出を企**て當國内に遁入したものであることを自供したが、その他各般の状況より判斷するに彼等は何等當國警察の機構その他當國に關する敵意を有せる形跡なく又當國の公安を紊すなどの慣れなきことが判明したので軍法處に於ては直に兩名を釋放すること**に決定**した、なほ右搭乘者兩名については曩に駐哈ソ聯總領事より我外交部北滿派遣員に**引渡方の**交渉があつたが當國としては既に釋放の措置を執つた次第で、右兩名飛來の事情が上述の如くである以上、彼等は政治犯人と目すべきもので從來ソ聯側における當國逃亡犯人取扱ひの例もありソ聯側としても引續き引渡方要求を固執しないものと思はれる

根本的恒久國策　確立に邁進

首相けふ閣議で力說

【東京五日發國通】齋藤首相は六日定例閣議で特に全閣僚の出席を求め一日の西園寺公との會見顛末を報告すると共に今後政府の執るべき態度につき政府が居据りを決意した以上、從來の如く應急施設にのみ沒頭すべきでなく、根本的な恒久的國策確立のため邁進すべきだと信ずる、又一九三五、六年の所謂重大時局を目前に控へて國際聯盟脱退の法的効力發生の善後處置、第二次華府會議の對策等についても愼重なる態度を以て今より研究の上準備して置く要

完全に意見一致

日滿總理の會見結果

【東京特電四日發】滿洲帝國鄭國務總理は五日愈々離京することゝなつたが、四日午後四時半官邸に齋藤首相を訪問し歸國の挨拶をなした、**席上齋藤首相は日滿經濟統制の大綱を説明し兩國の共存共榮の根本方針に就いても重要協議をなしたが、此の日の會見は極く抽象的で此の際何等かの取極めを爲す必要がある旨の了解が成立した程度であるが、六日午前九時より行はれる熙特使との會見では何等かの具體的協議が行はれる模樣である**

論議を見なかつた　日銀の金買入法案

六五議會を顧みて

◇…我國の議會は選擧法とか一般的の法規若しくは地方問題には頗る熱心であるが、經濟問題、特に金融通貨爲替問題等の如きものに對しては案外冷淡である。之は議員の大部分を占めて辯護士、地方的政治家、院外團等出身のものがその大部分を占めてゐる結果であつて、今期議會を通過せる日本銀行金買入法案などがあまり論議されずに終つた如きは我衆議院の傾向をそのまゝに表現したものである。

◇…この法律の要旨は

一、政府は金を國内に保有するため大藏大臣の定むるところにより日本銀行をして金を買入れ之を保有せしむることを得

一、買入れたる金は之を兌換銀行券の引換準備に充つべし

一、政府は買入れたる金の買入價額とその金を純金の量目七百五十ミリグラムに付一圓の割合を以て評價したる金額との差額に相當する金額を補塡するため日銀に對して同額の債務を負擔し借入證書を交付す、この債務は無利子として一億圓を限度とす

一、日銀は買入れ保有する金に付き利益を生じたるときは之を政府に納付すべし

一、政府は海外拂其他特別の必要ありと認むるときは日銀に對し本法により買入れたる金を其買入價格を以て同行の國庫金の勘定に移すことを命ずることを得

といふにある。

◇…この法規を必要とした理由はいふまでもなく金の蒐集政策にある。英米兩國はじめ各國が金本位を停止するや、世界の趨勢は金の桎梏から離脱した新規の貨幣制度に向ふであらうとの推測が多かつたのであるが、如何に考へて見ても金塊本位とか金爲替本位とか或は又商品ドルとか稱してはやはり金と直接間接の連結ある制度以外のものは目下の處想像し得ない。それで各國とも金を多量に保有することに主力を傾注し、金の蒐集に狂奔しつゝある。我國も亦この法規を制定して、金の蒐集保有に關つて世界的趨勢に對應することになつたのである。

◇…又政府は之れまで外債の元…

軍部方針不動

重要問題に荒木ズム　新舊兩相の會談

【東京特電四日發】林陸相は近く荒木前陸相と會見し充分軍部内外の根本方針につき意見の交換をなす筈で、荒木前陸相の提唱せる五相會議内政會議等の諸問題は世上甚大なる衝動を與へて居り、その他滿鐵改組案、關東軍の諸制改革、軍縮會議問題等諸重要案件につき長時間にわたり懇談をなし、軍部不動の方針を確立すべく新舊兩陸相の會見は頗る注目せられてゐる

陸相車中談

【東京特電四日發】林陸相は三日西下したが車中左の如き時局談を試みた

荒木前陸相との事務引繼も匆忙の間で充分してゐないがこれからユックリやる外ない、前陸相の抱負もよく聞いて自分としても考慮しなくてはならぬ、世間では大臣が變ると凡て何もかも變るやうに考へてゐるが、根本方針は決して變るものではない、滿鐵改組案は資源局だけで案を作つてゐる譯ではない、關東軍の現地案について拓務、陸軍兩省とも夫々研究調査してゐる、關東軍の特務部は目下の時局に對して當分必要である、之を改革するといふのではなく諮問機關等を設け適當に擴大する必要はあると信ずる、明年の軍縮會議についても從來の經緯及び政府各機關の意向をよく聞くつもりで今は何とも云へぬ

南昌三巨頭會議

黄郛氏新に權限擴張を要求　河北安定の根本策

【南京四日發國通】駐北平政務整理委員黄郛氏は四日漢口に到着した、氏は近く南昌に赴き蔣介石氏…

帝國出現は天意

鄭特使が放送

【東京四日發國通】鄭特使のラヂオ放送要旨左の如し

今回滿洲帝國修聘特使として來朝致しました所非常な御歡待を蒙り深く感謝してゐる次第であります、茲に聊か所懷の一端を申上げたいと存じます。滿洲帝國の出現は天意に悖ることなく…

貨幣制度回復

熙洽特使放送

【東京四日發國通】熙洽特使のラヂオ放送大要左の如し

今夜はラヂオを通し朝野の方々…

近衛議長晩餐會

【東京四日發國通】鄭、熙兩特使は六時から貴族院議長官舍における近衛議長の晩餐會に臨席した

文相の後任問題　來週持越し

三長老閣僚協議の結果

【東京四日發國通】文相後任は四五日中に決定の豫定であつたが三長老閣僚協議の結果政局を如何に擔當して行くかの根本的原則を決定する事が先決條件であるとふに意見一致し文相の後任補充問題は來週に持越す事となつた

滿鐵附屬地小學教員動靜

我外交の眞髓を米國民に傳へる

外相と會見後　近衛公語る

友鶴顚覆原因は「復原力の不足」

査問委員會報告書

商相は誰か

島田俊雄氏說

「資格任用」可決

樞府本會議

日英會商再開

ランカシヤ熱意なし

ソ聯外務部大田大使招待

堀切輸長小磯中將會談

正金支店長異動

家庭

新しい五月人形（3）

◆…五月節句の節物は粽と菖蒲です――粽は茅卷で、昔は茅の葉を用ひたものださうです、先づ糯米を水にひたしたものか米粉をこれたものを細長く又は菱形に茅、菰又は笹の葉などで卷いて蒸してこしらへます、くま笹が「ちまき笹」と呼ばれてゐるのも、この時に用ひられるからであります。

◆…粽にも、笹ちまき、茅ちまき菰ちまき、篠ちまき、燈心草ちまき、甘草ちまき、錐ちまき、筒ちまき、粒ちまき等の種類があります。【寫眞は桃太郎と金太郎の競馬です】

學校も家庭と同樣 子供の遊び場

一年生教育者 體驗座談會【二】

記者 幼稚園から入つた子供と、さうでない子供とは成績が違ひますか？

上野 一年生には幼稚園からの者が三分の一位ですけれど、その子供が特に成績がよくて他の子供が惡いといふことは見受けられません、唯、今迄の長い間の自然の家庭教育は隨分影響するものと考へられます

記者 子供の家庭の今迄の生活と學校でのこれからの生活とにははつきりした一線が引かれますか？

土川 今迄よく親達は子供が學校に入ることによつて急に若木が大木になつたやうに考へ學校へやればすぐにどんな學科でもどんどん覺えられて怨ちおとならしくなるものゝやうに信じ切つて居る樣ですが、昨日迄家庭でのタイラントとして自由に遊び續けて居た子供に、どうして今日から神妙な大人のやうになれなんて云へませう又それはさてもなれるものではありません、そこには時間的に、たつた一時間の距りしかないのです肉體も心もその區別の出來ない時間的推移にどうして親達の考へるやうな急速な進歩を見ることが出來ませうか、併しそれは親の慾目でさう考へるのでせうけれど、そのあせりは却て害になるばかりだと考へます、私は學校は家庭と同じやうに、そしていくらか組織的に教育的に子供を遊ばせる所であると考へたいのです、勿論これは一年生の入學當時に就いての事ですが……この點をよく理解して戴かないと、先生はまるで學校で子供と一緒になつて遊んで居るんぢやないかといふやうな無理解な非難を受けます、しかし子供と遊んでばかり居ると思はれるところに一年生の先生の尊い使命があるのではないでせうか、それからもう一つ、今迄は家庭教育は學校教育に追隨し復習するところだといふ風に單純に考へられて居りましたけれども、これからは寧ろ學校教育が家庭教育に追隨せねばならぬのではないかと考へます、これも低學年において特にさうです、又一般の教育理論もさうなつて來てゐるやうです。家庭教育こそ子供を眞に立派に育て上げるところであると父兄の方々に固い決心を持つていたゞき度いと思ひます

記者 健康に就いて最初注意せねばならぬことは？

上野 滿洲は子供の環境が身體を虛弱に導かうとするやうな條件で滿たされて居ます、胸圍の狹い事などが特に言はれますが、入學當初子供の嚴重な健康診斷をやつて置くことは必要だと考へます

土川 私も入學當初の健康問題に就いては考へて居りますが、統計的に言つても七、八歳位の子供は一番罹病率が多いやうです、これは日本ばかりでなく世界的にそのやうです、といふのは家庭より學校への急激な生活樣式の變化が不自然な要求を子供に或る程度强制せねばならぬといふことに起因すると思ふのですが、そのために發育の一頓挫を來すことはよく見られます、はしかなどやらなかつた子供は大概一年生の時やるやうです

上野 子供の發育段階に應じて四月と九月の二期に入學させるといふやうな方法も今後に殘された問題ではないでせうか、成城學園などでは既にこれを實施してます

土川 昨年は四月身體檢査を行ひましたが、眼病、耳鼻科の病氣等が非常に多かつたと思ひます、入學前に家で充分發見出來得るものが等閑に附せられて居たと云ふやうなのもありました、入學までに治し切れなかつた子供に對しては急速にこれを治して欲しいものです、扁桃腺やアデノイドが如何に子供の學習能力に關係を持つかといふことは專門家によつて、しばしばいはれてゐるとほりです

娘姿もあどけなく……

☆

◇…女學校が濟んだからつて急にウエーヴのゴテゴテした洋髮もドウかと思ひますね、若し訪問服でも召す場合でしたら、いつそ馴れたお下げに無地の大きなリボンでもお結びになつたら――お化粧も粉化粧程度の極く自然な方が若々しくお上品です。

◇…お召物は衿巾をせまく半衿も細目にのぞかせて、帶は名古屋か袋帶の輕いものをあつさりと結びませう。あんまり帶の位置が高くては苦しさうですし、帶揚を極端にひろく見せたのは惡趣味です。

◇…衿がツンツルテンにさへならなければ「肩揚のとれぬ」娘姿もあどけなく嬉しいではありませんか。（内田秀子さん）

☆……訪問着をお召しになる時は☆

美服家たらんには

これだけの用意をして置け

アドルフ・マンジユー君の洋服着方秘傳

ロンドンとハリウッドとニューヨークの有名な服屋さんが口を揃へて「世界十大美服家の一人」と折紙をつけたアドルフ・マンジユー君に紳士の洋服の着方秘傳を伺ふと美服家たらんとするには決してお金持である必要はない。

青 年紳士諸君＝勿論未婚の＝は一週三十弗の收入があれば立派な服裝を整へることが出來ると斷つておくが三十弗は約百圓、一週百圓ぢやチトむづかしいと仰言るかも知れないが、何しろこれは一寸散髮に行つても一弗五十仙、卽ち我が約五圓近くになるアメリカでの話だからそのお積りで。でマンジユー君は續けて曰く

洋服なんてものは注意深い選擇眼と自己に對する認識と、それから自分に合ふか合はないかといふことに對する本能的な敏感な嗜好の問題なので金の問題ぢやない。先づ

美 服家たらんとするにはシーズン別にして少くとも三着づゝ、出來るなら四着位の洋服を持つ必要がある。その中の一着は先づ地味な細サーヂ又は黑のもの。次は茶色系のものを一着、最後に勞働服といつたものを一着、若しお金が許せば半スポーツ・スタイルの輕いものを一着。これにちよい〳〵宴會なんかに出る樣な人は地味なスタイルの夜會服を一着揃へればいい。

夏 ものは、フランネル二着で結構、但しサラリーの餘り多くない樣な方はなるべく眞白なのよりも縞ものを選ぶこと。

靴は先づ四足乃至五足ぐらゐ、茶系の服や勞働服には茶色の靴黑系の服には黑靴が原則、それに型の全然違つたスポーツ靴を二足、夜會用にはパテント・レザーのが一足あればよし。最後にワイシヤツ、苟も美服家たらんとするものは最少限先づ九枚の日常用のワイシヤツと

夜 會服の奴を一つ用意しなければならない。そしてワイシヤツは必ず三枚を何時でも手許においておく。一枚はその日に着るので後の二枚は萬一洗濯屋が一日二日遅れた場合の用意に備へるんである（寫眞はアドルフ・マンジユー君）

幼兒の春は乘物から

三輪車・四輪車値段調

◇…幼兒の春の遊びは先づ乘物にはじまります。坊ちやん專用の觀があつた三輪車もこの頃では孃ちやん達にも親まれるやうになり、需要の增加は三輪車一臺三圓から五圓といふ大衆的なお値段になりました。

◇…三つ四つの小さいお子さんには安全な四輪車（自動車型）が歡迎されますが、これも年々スマートになつて34年型の素晴らしいパッカードやキャデラックに彷彿するものもあります、値段は五圓から三十五圓前後まで。

◇…歐洲大戰から近くは滿洲事變に燦たる威力を輝かしたタンクの雄姿をそのまゝに模した今年の新型四輪車（十四圓半）は軍國の春にふさはしく坊ちやん達の人氣をよんでゐます、新型では別に三輪車に荷物入れの箱をくつつけたリヤカー（八圓半）も玩具やお人形さんを持つて歩くのに大變重寶です。戸外生活が叫ばれて小さいお子たちを掛けさせて押して行く押車（三圓―七圓半）や乳母車（十圓―二十五圓）も年々需要が殖える一方です。

大連 JQAK

四月六日

▲午後零時五分　經濟市況、ニュース
▲午後一時（大阪より）第十一回全國選拔中等學校野球大會試合實況　甲子園野球場より中繼
▲午後三時三十分　經濟市況ニュース
▲午後六時　ニュース、職業紹介事項
▲午後六時三十分「萬歳」大倉壽賀丸、智惠子
▲午後七時（東京より）「荻江節」「鐘が岬」唄荻江壽々、同荻江米三味線荻江章、同荻江房
▲午後七時三十分（大阪より）「浪花踊」＝大阪新町演舞場より中繼＝
▲午後八時三十分（東京より）時報
▲午後八時三十一分　ニュース、氣象通報

日本棋院秋季大手合戰譜（第十六局）

先相先先番　四段　藤田豐次郎
三段　村田　整弘

――【5】――

黑	白
●八一ツの九	○八二テの十七
●八三リの十五	○八四ツの八
●八五ソの十一	○八六ロの五
●八七ハの五	○八八チの十七
●八九ロの六	○九〇ハの六
●九一ロの七	○九二ロの八
●九三ロの四	○九四ロの十七
●九五ロの十八	○九六ロの十六
●九七イの十八	○九八ツの十二
●九九ツの十一	○一〇〇ル十二

所要時間累計（白一時三十分 黑二時卅七分）（制限時間各八時間）

對局者のことば

黑 八十三は形勢が惡くない意味において自重したのです、自重は中央、七一、二七、七三の間のウスミにそなへた譯ですが、一つには他に急を要する打ち場も考へられませんでしたから――

白 八十四は黑のワタリを防ぎつゝこゝで黑がどう受けるか、樣子を見ました

黑 八十五と應ずれば後に譜の白九十八、黑九十九の交換から白（タ十一）のツナギを何時でも利かされる事になりますが、八十五を（ソ十）と堅くツゲばその白（タ十一）は利かされない代りに白（ツ十五）とハネられた時、黑は九十九に凹んで活きるか、さう凹まずに（ソ十四）とマガつて後手ゼキに甘んずるか、といふ辛い立場に置かれる、兎に角黑から（ツ十六）の處のハネツギが先手で打てなくなるのはヨセとして小さくない差だと考へました

白 黑八十七は九十三と受けられる事とばかり思つてゐましたが譜は意外だつた、譜の如く八十七と上からオサれゝば八十六は一種の利かせと見られる點に滿足し八十八と轉じましたけれど八十八そのものゝ是非は自ら別問題でした――

黑 八十九以下を怠ると白九十三黑（ロ三）白（ハ三）黑（ニ三）白（ハ二）黑（ロ二）の次に白九十とツッパられる味、もしくは九十三と出ずに白に八十九に單にヒカれるヨセ、いづれかを含まれるのがいやでした、この點、八十七の不合理に歸せしめられるかも知れません

黑 九十七の手で（チ十八）にツケ白（リ十八）黑（ト十七）白（チ十六）など、交換しても結局九十七のサガリは省略できないので、さう交換するだけつまらないと思ひました

戰の跡

◇黑八十三は對局者のことばでも察せられる如くこの處卿か打ち方に困つたのであらう、八十三にて（カ十）にノゾキ、白（タ十一）黑（カ十二）と選んで中央に幾分でも模樣を張るなどは考へられるが、黑八十五に就いての對局者のことばに現れてゐる如く白（タ十一）が加はると左邊の石に關しまづい事が起つて來る、つまりこゝは白（タ十一）が何時でも利いてゐる處と觀て置かなければならないのである

◇黑八十七と上からオサへるには中央に關する意味がなければならぬけれどこの形勢ではその中央がつまらない處であるから八十七は無論單に九十三と受けるべきだつた

◇白八十八では（ニ十三）に補つておくなども相當の著點と考へられる

新棋戰（其四）

本社特選

平手　先四段△加藤富久
四段▲中村熊治

【圖は一五歩迄の局面】

加藤氏持駒歩

中村氏持駒歩歩

△	▲
△二五銀	▲四四角
△二八飛	▲三三銀
△一四歩	▲六五歩
△一五香	▲六六歩
△同銀	▲五六歩
△同歩	▲六五銀
△五五歩	▲八六歩
△同歩	累計六十一手

土居八段講評

中村君の四四角は、機宜に適したよい捌きである、尙六五歩打は又善い攻めの筋で、敵若し同歩なら八六歩、同歩、八五歩打の纏歩の好手がある、次に八六歩の目的は、敵若し同歩なら八八歩と打ち込み敵玉を亂しその機に乘じて攻勢を取らうとする良策である。

萩原七段解說

加藤氏の二五銀は、次に三四銀と出る含みで、敵に攻撃の順を與へないで攻め破らんとするのである、中村氏の四四角は、三三銀では角の働きを失ひ守勢になつて面白くないので四四角と出たのである、次に三三銀と防いだのは、加藤氏の二六飛の拙策が影響したのである、中村氏の六五歩は飛、角、銀、桂の協力に據つて敵陣を一擧に擊破せんとするもので、加藤氏の一五香は六五同歩では八六歩、同歩（同銀は五六歩と突かれて惡い）八五歩、同歩、五六歩、同歩、八八歩同銀（同玉、八五桂）六五銀と攻められて惡いのである、中村氏の五六歩は、角筋を利かし六五銀の强手を含むのである、加藤氏の五五歩は、五五銀では六六歩と打たれて惡いのである。

兒童晴れの入學式に 肝心の先生がゐない

學年始めに職員十名の異動で 安東大和校父兄不平

【安東】滿鐵各學校教職員の今回の大異動で安東大和小學校は大林校長のハルビン轉任を始め總計十名の轉出及び退職を見たがこれ等の先生方は生徒、父兄の信望篤く離安を惜まれ全父兄は舉つて感謝の意を表し記念品を贈呈し美はしい情景を呈した、然るに二日の始業式までに後任教職員十名のうち着任した者は僅かに一名に過ぎず大事な新入學生擔當教師が殆どゐないといふ珍現象を呈したので父兄間に俄然物議を醸し滿鐵學務當局の措置を非難するに至つた

父兄側の言分は大和校は由來教師と生徒、父兄間の情誼が篤く校長以下多年勤續した先生方が一時に十名といふ半數近くも異動することは大打擊であるが、事情已むを得ないものとして我慢し美しいお別れをしたのであるが、大事な入學式に後任者中着任したものはたつた一人で先生方が缺員だらけで入學式を舉げたのは殘念である、前校長は未だ內地出張中であり新校長は未だ正式發令前であるから已むを得ないとしてもほかの先生は學年末の休暇が十日もあるのだから入學式には間に合ふやう着任させるのが學務當局の當然の責務であらう

と甚だしく不滿を表してゐるので、この父兄會の總意を代表して大津地方委員會議長は四日中西地方部長に事情を愬へ善處されるやう電請した

吾等の聖地旅順に 兩軍神の銅像建立

舊市街の中樞元八島座跡 全市民協力具體化へ

【旅順】旅順舊市街の中樞元八島座跡の廣地を綠化し市の風致を添へたいと云ふ運動は昨今各町內會に於て唱へられて來たが更にこれが實現と共に最も熱心に主張しつゝある乃木町三丁目町內會では內地は勿論諸外國各地ではそれ〴〵その土地、建物等に因緣深き先哲偉人の銅像が建立せられその土地を誇りその地方人は勿論、一般來遊見學者に對しても崇敬の念を深めしめその印象さ精神的教育方面に對し多大の貢獻を與へつゝあるにも拘らず聖地旅順として未だに乃木將軍の銅像なき事は甚だ遺憾であり且又滿洲國建設成り帝制實現せられたる今日の遠因たるや實に旅順開城を以て最も重要なる關係を有するが故に建設地たる處は名も當時皇軍入城式の際名付けられたる迎橋々畔にして將軍の銅像は旅順に於てその意義深くしかもその豫定地たる點は後世記念すべき地域なる點に於て此際是非共本目的の遂行を爲すべく各方面に亘り近く一大運動を開始する事となつた、尙ほ本運動の推移狀況如何によつては海の烈士、廣瀨軍神の銅像も海邊近き適當の場所を選定し建設する事は旅順市として是非實現せしめんとの提議もあるので本企てはいづれも旅順市將來のため相當大なる關係を有するため市民等しく共鳴の上發議された關係上急速なる協力の下に具體化する模樣である、右に關し民政署當局者は語る

誠に好い企てゝ結構だがあの土地は遞信局から電々會社へ移管して仕舞つたからどんな工合になるか早速調査に着手する考へである、それからもう一つは將來の郵便局敷地が問題であの土地に變る處でもあれば問題は片づくと思ふがこれが第一の惱みであらう、郵便局の新築も大分永い懸案でなか〳〵建築も至難であり現在の實情では一寸困難の樣にも豫想されるが一說には電々會社に移管された爲め却つて急速に改築が出來はしないかとも云はれてゐる、いづれにし

東宮殿下御降誕奉祝 安東植櫻會組織

花の鎭江山に五百本

【安東】皇太子殿下御降誕のこの上なき御吉慶に對する安東市民の感激を永久に記念するため市民會の主催で御慶事記念植櫻會を組織し櫻の名所鎭江山に櫻の若木を植ゑることゝなつた、櫻は新義州、平壤間の山々に野生してゐる朝鮮山櫻の八年生のものを選んで今年すぐ花を持たせやうといふので大體五百本を限度として會員は一本につき三圓である、植ゑる日は本月二十三日の皇太子殿下御降誕御四月目のおめ出度い日となる模樣で、植ゑてからの手入れ等は一切地方事務所でするこことになつてゐるが安東市民の御降誕記念事業としては最も相應しい事であると稱贊を博してゐる

吾子を思へばこそ 父親の淚の願ひ出

昭和鼠小僧後日物語

【奉天】昭和の鼠小僧だ、俺を知らぬか……と解雇されたのを遺恨に脅迫狀を和森洋行に送り脅かし同洋行の得意先から多額の金品を詐取してゐた大膽極まる邦人青年寺口庄七(二二)に關しては奉天署で嚴重取調中であるが、彼には老いた父母と妹あり大連譚家屯に居住してゐるが母親は六十の坂を越え四年間も病の床につき起たれず、しかも幼い妹は大連で交換手として働いてゐたが胸の病氣にかゝり入院治療中で杖とも柱とも賴む父親は別に定つた職業もなく人の手傳ひをして僅かな收入でやつと一家をさゝへてゐるもの二人とも病床についてからは藥品代やら生活費やらに追はれわずかに生命をつないでゐるものである、一家に代る庄七も家庭にある時から父親が外出して不在中を奇貨として家財道具等手當り次第持ち出し賣り飛ばしたり入質したりして酒色に消費し、父親ももて餘してゐたが彼が奉天に來て眞面目に働いてゐるかと思つてゐたら彼は稀代の惡事を働いて警察の取調べを受けてゐると聞き道の父親も誠に困つた奴です、誰がどう云つてもとても聞くやうな人間ではありません、せめて警察の手で判るまで散々苦しめられ改心して以前の庄七に歸ることが出來れば結構だと存じます、私もその日を待つて居ります

と吾子を思へばこそ父親のかうした淚の願ひに同情を寄せぬものはない

市場會社創立 總會延期願出

【營口】營口水產漁業市場會社にては一月六日奉天省實業廳より認可を受け直に發起人總會を開き其の結果早速準備に着手した事は既報の通りなるが發起人總代松下術次郎氏は鄕里靜岡縣に歸省し土地の投資家を訪問し滿洲產業の有利にして且つ堅實なるを說破せしが內地にては滿洲の認識不充分にて徹底せず止むなく滿洲に引返し大連、奉天、撫順其の他樞要都市の市場會社等々の贊成を得て松下氏は三日午後歸營した、この爲め創立總會の日限切迫したので右の事情を具した創立總會延期(一ケ月間)願を四日營口漁業總局に提出する一方、現場方面は他の發起人の一部の人々が土地買收交涉其他一切の處理を了したのでこの方面は會社創立さへ出來得れば何時にても工事に着手出來る運びに立至つてゐる

警務指導官增員

【チチハル】黑龍江省各縣に配屬された日系警務指導官は現在約九十名に達してゐるが更に三十餘名增員に決定し、新京民政部に於ける講習を終へ近く着任するさ

村瀨所長就任

【奉天】奉天細菌研究所長野村龍三郎氏の後任として撫順細菌檢查所技師村瀨淺博士が就任したが村瀨所長は四日各方面を歷訪挨拶をなした

國民會は函館における罹災者救濟のため義捐金募集に着手致し候間集金の上近くお屆け可致候

一九三四年三月廿五日

在齊白系露人國民會々長ボルトコフスキー他數名連名

七日營口で 教育講究大會

講師は一流大家揃ひ

【營口】滿洲に於ける教育會は各縣に設置されて夫々會合する事あるも其多くは顏合せ位の所で何等其の內容的向上には寄與する所なく從つて

結果も

教育會其物が唯存在するのみにて實際的意義が無い會であつた、所が滿洲國成立以來教育方面は特に重要視され日本人を入れ或は日本語を課して其向上を企てゝゐるが營口縣は更に進んで具體的に教育の內容に立ち入つて其方法の考究にまで進展するに至つた、卽ち營口縣教育分會と水產高級中學校が主催となり奉天教育廳と營口縣公署が後援して四月七日午後一時より水產學校に於て營口圖書館長永野善三郎氏が

現代の

教育思潮より見たる教授法と題しまた八日午前九時より南滿中學堂長安藤基平氏の學校管理法、同午前十一時より奉天教育廳督學科長森田良一氏の滿洲國の教育と其方針と言ふ題目の下に大家揃ひの講究會が開催される、これは未だ他縣に於て行はれない試みで斯界の第一人者を招聘して實質的な研究に入つた事は誠に喜ばしい事である

"皆樣の郵便局" モットーも新たに掲げ

營口郵便局のサービス改善

【營口】營口郵便局にては昨年九月事務の一部を電々會社に移管さると共に却つて從來より多忙を極めて居る、それは從事員の定員を減ぜられた結果でそれが爲め局員は殆ど晝夜兼行と言ふ程涙ぐましい努力振りで激務の消化に努めて居る狀態で從つて一般公衆に不便を與へた事と思はれるが四月の新年度から局員も增加される事になり之れに力を得た從事員は一致協力、より以上馬力を掛け「皆樣の郵便局」と言ふモットーの下にサービスを盡す由で今後は一般の不便も緩和される事であらう、從來局の電話は壁掛用であつたがこれは起居の手數から應答遲延の嘆きがあつたのでスピード時代に適するやう卓上電話に變更し公衆と局員とピツタリ氣持を合はせると同時に責任者に應答せしめる事とし主事席に取り付けて便益を計る事となつた

施療券を交附

地事社會係から 一般民衆の手に

【鐵嶺】當地に於ける貧困者の施療券は從來警察署に於て交附し滿鐵醫院の診療を受けしめてゐたが今後は地方事務所社會係に於て各機關並に各區長と協力し貧困者と認めた者又は希望の者に對して交附する事となつたにつき、施療を希望する者は社會係まで申出られたしと

花鰹を賣つて 小學生の義金

函館大火罹災生徒へと 美しい小さな同情

【旅順】函館市大火災に對する義捐金は各方面からぞく〳〵申込れてゐるがその中に優しい兒童から義金が現れた、旅順第一小學校在學中の牧野百合子さん(一三)和田富美子さん(一三)の兩名は揃て御母樣から貰つた御小遣ひを資本に花鰹を買つたお金が總計二圓五錢となつたので四日函館市の可哀そうな小學生へ届けて下さいと申出た…(以下)

五錢を差出し義捐を申出たが固く姓名を秘して脫兎の如く外路へ飛び出して仕舞つた

國境を超越 美しい同情

【チチハル】函館大火災罹災者に對する同情は全滿に翕然として集まり、各地とも義捐金の募集に着手してゐるが、チチハルでも函館出身有志が率先して義捐金募集に大童となつてゐる他、協和會チチハル地方事務局、商務總會等滿洲國側も起つに至り更に蘇聯領事クズネツオフ氏も書記生を代理として內田領事を訪問、慰問の辭を述べる等國境を越えた淚ぐましくも美はしい友情を示して邦人を感激させてゐるが、白系露人も亦深甚なる同情の意を表しユダヤ教會その他から義捐金を日本領事館に寄託すると共に白系露人國民會より日本領事館に左の如き慰問狀を寄せてきた

在チチハル白系露人國民會は函館大火の災害を蒙りし十五萬の罹災者に對し衷心同情の意を表するものに有之候、罹災者の神に對する信仰、罹災者に對する全世界の同情灼熱せる日本國民の精神力は今回の不幸を幸福に導くを信じて疑はざるものに候

滿洲里に 稅捐局設置

【滿洲里】チチハル龍江稅務監督署では滿洲國財政部の訓令に遵由し臚濱稅捐局を當地一道街に設置し崔殿藩氏を局長として四月一日より管內區に實施する事となつた該稅捐局は以前三道街に在りて管區より諸稅の徵稅をなしたが舊支那政權當時にあつては市民の疲弊甚だしかつたため納稅に應ずる餘裕なくため稅捐局は廢止された儘になつて居たもので滿洲國帝政實施と共に基礎漸々確立し再び開始せるものである

水產學校の始航海

【營口】營口水產高級中學校にては本年度の始航海として所屬船大鯤丸を以て高級一年製造科生三十名に敎師三名附添ひ四月九日より一週間の豫定にて旅順大連方面に航行水產に關する一切を見學せしめるさ

卅年前を追想し 亡友を弔ふ

旅順卅八年會記念會

【旅順】日露戰役の終結時明治三十八年早くも旅順の戰地に第一歩を印し爾來刻苦精勵今や市民の中堅として活躍しつゝある「旅順明治三十八年會會員」六十六名は滿三十周年記念を迎へた四月三日慨無量の會合記念祝賀會を開催し近來に無い和氣靄々を恣にした、この日會員一同は午後三時龍心寺に於て亡友二十一名に對する追悼法要を營み故人を偲び同六時から靑葉に於て三十年前の壯者に返つて敵赤誠時の移るを知らず宅島會長の挨拶、東家來賓市長の祝辭に次いで元峰花見師の賑やかさ和氣堂に滿ち盛會裡に散會した【寫眞は記念の撮影】

現住者氏名

【旅順】三日開催された明治三十八年會三十周年記念祝賀會並に亡友追悼會は近來の美事として好感を寄せられたが現存せる會員は實に左の六十六氏である

今村春逸、岩永幸三郎、今村重太、岩崎小吉、石橋力太郎、池田金五郎、磯野清三郎、入江常太郎、濱田安次、花崎政吉、橋本新平、西野菊次郎、本田德太郎、本田興市、外山宗一、鬼塚嘉一郎、岡野武市、大越スヾ子、大磯市五郎、川谷竹次郎、加藤篤二、久八、川谷竹次郎、海渡勇作、川田柏木正三郎、吉武惠吉、四谷久馬雄、吉村勝一、田部井治三郎、宅島猛雄、田中徳三郎、田上重太郎、津野清三郎、中尾列太郎、中野福松、那須梅吉、村田梅吉、村上政明、內田佐助、野口滿、野澤興吉、野間重一、栗原長八郎、安岡愛次、松島寬造、松岡新藏、古澤兼治、幸福十、後藤勇太郎、古賀竹一郎、小島龜太郎、安達寅次郎、赤阪牧太郎、榊原コマ、阪本大三、舘田東郷、佐々木又兵衞、北村儀市、菊地萬治郎、木村要平、宮田仁吉、三井織太郎、水間又吉、雫石春治、久野順吉、森谷吉五郎、菅野久

尙三十年間に於て物故した者は池田俊太郎、牛田榮助、大島竹樋、渡邊清、柏木常吉、海上德太郎、加藤牛助、吉村信員、谷口只吉、村上鶴藏、野間辨治、安永與四郎、山本房太郎、彌永綠隆、山口カヤ、福澤重德、藤田熊三郎、藤井常太郎、榊原釟次郎、鈴木正昇、菅野爲藏(以上二十一氏)

で右の外他地方へ轉出してゐる者は左の十氏である

今崎猷次、井手芳太郎、早川德順、戶田健助、大柳菊三郎、小畑梅吉、浦上熊次郎、野村廣吉、船橋速水、財津龜三郎

水產學校日系 教師を增員

【營口】奉天省立營口水產高級中學校にては今回二名の日系敎師の配屬を受けた、卽ち營口漁業總局の長谷川技師並に營口航政局の增田技師で長谷川技師は製造科を增田技師は航海學と航海法を何れも擔當する旨四日發表された

滿人側にも 三業組合

指導官の盡力で 近く結成されん

【鐵嶺】當地滿洲側には從來三業組合の組織がなく組合員の向上も妓女の救濟も何等講ぜられてゐなかつたが參照指導官着任後これを遺憾とし種々研究の結果過般妓館、旅館、飲食店の主人約二百名を招集して組合組織を慫慂した處全員贊意を表し卽決組織に着手することゝなり、愈二、三日中に發會式を擧行する豫定なるが現在城內に於ける會員資格者は飲食店六十八軒、旅館七十一軒、妓館六十軒合計百九十九軒である

遼陽片々

▼武德會支部の選士豫選第一回試合は三日午前十時から滿鐵道場において開催したがその結果劍道部二段松原寬人(電燈公司)柔道部三段福士榮一(衞戍分院看護兵)の兩名と決定近く大石橋において第二回豫選會に出場すさ

▼滿洲棉花會社遼陽工場は既報の如く高岡棉廠の南方に工場及倉庫を新築することに決定、四日地方事務所に敷地の借受申込書を提出したさ尙從來の假工場であつた元機關區事務所跡は滿鐵に返納し同所は弓長嶺運鑛線の保線運輸等の合同事務所に充當さるさ

▼小學校は二日から新學期開始一年生は青、赤、黃の三組となり靑組重高、黃組河合先生で赤組は內地からの新任先生が擔當すさ

▼小學校附屬幼稚園の入園式は四日午前十時から擧行されたが入園兒童六十二名であるさ

▼遼陽校から撫順東七條校に轉任の鹽見訓導と煙臺分敎場に轉任の松浦訓導は四日午前十時發列車で、蓋平公學堂に轉任の飯塚敎員は同十時二十分發車で何れも赴任

▼日語學校では四日午前十一時から新學期の入學式を擧行したが新入生は五百四十餘名の內から選拔した五十名であるさ

▼遼陽在勤滿鐵社員で四月一日表彰された者は左の如くである

(驛)小林虎吉、安倍善右衞門、田名部武、(保線區)森操、(驛)有村進、(地事)本橋秀道、金衞金次郎、(小學校)池田長松、(醫院)板橋龍運、(煙臺採炭所)渡邊弘毅

鐵開縣下を荒した 僞勇軍幹部捕はる
鐵嶺縣二警士の殊勳

【鐵嶺】最近平頂堡北方の山頭堡部落に元鐵開兩縣下を荒し廻り屢々皇軍と交戰し馬家塞を始め各所において犠牲者を出さしめたる抗日僞勇軍大頭目金山の部下幹部が潜伏しつゝありとの

情報 に接した鐵嶺縣警務局では選抜の結果、李玉璞、裴相國の二警士をして逮捕せしむべく一日朝出發せしめたが右二警士は山頭堡到着後極力内偵の結果擧動不審の一名を發見大格鬪の上逮捕取調べたところ金山好の率ゐる抗日僞勇軍第四三六營の幹部原籍鐵嶺縣第一區養竹濤當時住所不定孫喜(二〇)と稱し山中に拳銃及び金山好より授與された僞勇軍腕章を隱匿せる旨自白したるを以て現場に赴き證據品として拳銃及腕章を押收目下本局に於て嚴重取調べ中であるが、彼は滿洲事變直後の九月下旬金山好一味の馬賊に襲はれ馬を強奪されたのでそれを奪還せんと僞勇軍の

後を 追ふうち金山好から說伏されて其部下となり賊名を紅字と稱し各所に轉戰鐵嶺城内襲撃の際は豫備隊として鐵道西にあり城内襲撃に參加しなかつたと稱してゐるが、其後各所に於て皇軍の爲に敗れ危險となつたので賊團を脫して、拳銃を山中に埋めて良民を裝ひ機會を狙つてゐたものであると、因に馬警務局長は殊勳の二警士に對し其の勇敢なる行動を賞し金一封を與へて表彰した【寫眞は捕はれた孫喜】

奉天鐵西工業地 事業開始の工場
何れも近く本格的操業

【奉天】鐵西工業地區に於いて目下事業を開始中の各種工業は左の如くである

△中山鋼金工場　敷地六千坪を有し工場も竣成し波板、平板トタンの製造をなすべく三月二十三日より機械の据付に着手し四月中旬に完了し五月より製造開始の筈である、尚同社に於ては別に五千坪の土地を借受けて釘、針鋼、琺瑯鐵器の製造をも開始すべく準備中である

△日滿ペイント會社　資本金百萬圓半額拂込み株式組織にて各種塗料の製造販賣を目的とし現在各種塗料を試驗的に製造中にて四月中旬より製造開始の筈である、原料は日本品六割滿洲品四割であるが日本品は輸入關稅高率のため採算不能にて將來は純滿洲產を使用する方針である

△滿洲製帽會社　同社は東京の榊製帽店主の個人經營にて去る一月より主として滿人向きの中折帽を製造中にて一日四十打を製產し卸値一打十圓乃至十五圓にて將來は株式組織に變更するさ

酒故の保護願

【奉天】「私は三年前大連經由來奉し霞町玉翠で炊事の手傳ひをしたり立町十三番地に住んで守備隊の殘飯を拂下げて貰ひ之を鮮人や滿人に賣つて得た僅かなお金で暮して來ましたが酒がなくては生きて行かれないものですからそのお金は殆ど酒に代へてゐました處スッカリ酒の中毒にかかり仕事も出來ず頼る身寄の家もありませんし郷里へ歸らうと思つてゐますが二錢しか持ち合せて居りませんどうぞお助けを願ひます」と五十餘りの邦人が四日午後三時頃奉天署保安係に保護願ひに出た、この邦人は長崎縣西彼杵郡長與村生れ並吉亘吉(五三)と稱し着のみ着のまゝ頼るうちもない哀れな身の上で奉天署でも大いに同情し救濟金から長崎までの旅費を支給したが人の溫かい情に感激し四日午後十一時發安奉線列車で歸鄉の途についた

奉天少年團入團式

【奉天】當地少年團の第六回入團式は四月三日の佳日をトし午前十時から奉天神社々殿に於て擧行されたが來賓として皆川聯合町内會長、上田統氏を始め地方委員その他多數あり神官の修祓祝詞奏上に次いで日本少年團歌合唱、新入團者百十五名の宣誓後團長粟野俊一氏、健兒代表玉串を獻上して拜禮し粟野團長の訓辭、來賓側皆川聯合町内會長の祝辭に對し健兒代表の答辭あり、奉天少年團歌合唱が終つて「彌榮」を三唱して午前十時四十分閉式した(寫眞は入團式)

愛護村民に 黑穗驅除藥配布
總局、農民に酬いて

【奉天】滿鐵農務課では鐵道愛護村建設の勞に酬いるため農村が多大の犠牲を拂つてゐる高粱、粟の黑穗菌を驅除し農作物の增收から農民の生活を豐ならしめるため近く滿鐵沿線の驛長會議を開催し善後策を協議し驅除藥ホルマリンを配付する意向であるが全滿における黑穗菌を征服すれば一ケ年一千萬圓以上の增收となるといはれ圓線においても愛護村に驅除藥を支給するさ

遼河流氷終る

【營口】去月中旬以來盛んに流氷交通杜絕の姿にあつた遼河は二十九日を以て全く流氷を終り馬蜂溝と三岔子の渡船場は勿論各所とも船の航行自由である

新京花柳界 春季溫習會

【新京】長唄勢好會杵屋勢七郎及藤波會藤間勘多郎主催の新京花柳界春季溫習會は六日、七日兩日に亘り長春座に於て擧行することゝなつたが新京花柳界が一躍全滿の王座につき日滿兩方面の關心を把握してゐるだけその成果は各方面から非常な期待をかけられてゐる、出演料亭は千鳥、瓢屋、新松、時雨、壽、曙、嬉野の一流どころで兩日に於ける演奏番組は次の如くである

▲初日　老松、供奴、都鳥、末廣狩、睦機帶、連獅子、越後獅子、菖蒲浴衣、元祿花見踊

▲二日目　老松、小守、秋の色種、鞍馬獅子、吾妻八景、吉原雀、岸の柳、元祿花見踊

鐵嶺三業の 猛練習
行樂の春を控へ

【鐵嶺】行樂の春を迎へた鐵嶺三業組合では此の春こそ沿線遊覽者をして充分滿足せしめんと全鐵嶺の美妓を總動員し一日より當分の間毎日午後一時から四時まで奉天の舞踊師匠を招聘し演藝館にて鐵嶺音頭踊と鳴り物の猛練習を續けてゐるが練習中は三業組合員外の人は一切入場をお斷りするさ

俸給着服に憤慨 隊長を殺害逃走
採木公司員も拉致さる

【安東】本月一日鴨綠江採木公司長甸分局の二十四道溝作業場警備隊のうち二十二名は隊長熊開堂が隊員に支拂ふべき俸給を着服したことに憤慨して兵變を起し熊を殺害し採木公司檢查手吾妻清一氏(三七)(宮城縣人)及滿人從業員三名を拉致逃亡したので目下來安中の同地方警備の奉天混成第七旅副司令張宗援少將は直に部下軍隊に救援討伐を電命し一方採木公司では對岸〇〇〇〇隊の出動方を新京大使館を經て請求したが叛兵のうち五名は前非を悔ひ吾妻氏ほか三名の人質を伴うて二日歸順した、殘餘の逃兵十七名は第七旅が討伐中である

上三峯朝陽川間 列車の發着時刻
四月一日より運轉

【奉天】朝陽川、開山屯間はいよいよ四月一日より旅客小荷物の運送を鐵路總局の手により正式に開始したが上三峰、朝陽川發着時刻は次の如くである

		朝陽川發	上三峰着
二五五	輕油	七時〇〇	八時[illegible]
二五三	同	一三・〇〇	一四・[illegible]
四七三	混合	一七・〇〇	一〇・三〇
二五一	輕油	六・二〇	八・〇八

		上三峰發	朝陽川着
二五六	輕油	七・三〇	[illegible]
四七四	混合	一三・〇〇	一六・[illegible]
二五四	同	九・[illegible]	一一・[illegible]
二五二	輕油	七・[illegible]	九・[illegible]

チチハル料理業組合の總會

【チチハル】チチハル料理業組合にては三十日午後二時から朝日館において總會を開き、役員改選の結果左記諸氏が當選した

組合長　鈴木縣一郎(再)
副組合長　吉田德治(再)
會計　万代昌造(再)
評議員　鈴木縣一郎、吉田德治、河口又一、深谷市之助、水田熊八、萬代昌造、蘆德一、楠井ミサオ

鐵嶺の野犬狩り

【鐵嶺】鐵嶺署では來る十一日より十四日まで四日間附屬地内において野犬驅除を實施するにつき愛犬家は成るべく繫留するか又は外出の際は必ず犬牌を附されたしと

北安鎭に小學校
北滿に小國民行進曲

【チチハル】北滿最前線に高らかに奏せられる小國民の凱歌――北滿環狀線の中心地であり穀倉地帶を控へる北安鎭の發展性が豫想せられ裏書されるにつれ、同地を目指して押寄せる邦人は夥だしい數に上り、解氷と共に第二のチチハルたらんとしつゝあるが、これに伴ひ學齡兒童の移住者も逐日增加しつゝあるので同地居留民會にては本年度より小學校を開設に決定して晴れの開校式を擧行した、曩に四月三日神武天皇祭の佳日をトしチチハル小學校で第一回卒業式が擧行せられ、今またこの吉報を得て兒童持つ父兄の願は一段と輝き心殘りなく北滿開發に活躍し得るであらう

短靴を盜む

【奉天】三日午後七時半頃市内霞町一番地先において黑皮製短靴を所持して通行する怪しい一滿人を警官が發見取調べをなさんとするや矢庭に逃走を企てたのでこれを追跡取押へたが彼は沙河口生れ住所不定無職曲蘭亭(二八)と稱し右短靴は邦人宅より窃取したもので餘罪取調べ中である

海港檢疫所長歸省

【營口】營口檢疫所長木村勝喜氏は墓參の爲め二日大連出帆うらる丸にて鄉里熊本に歸省した

機械にふれ死亡

【奉天】皇姑屯滿蒙毛織會社工場職工列某(一八)が四日午前十時半頃從事中機械に觸れて重傷を負ふたので直に滿大醫院に入院せしめ應急手當を加へたが同十一時頃遂に死亡した

森口氏離營挨拶

【營口】在營四ケ年間精勵恪勤、溫厚篤實の良校長たりし前の營口小學校長森口市太郎氏は今回新京へ轉勤となり六日頃離營に付き各方面を歷訪、挨拶を述べた

知人宅で盜む

【奉天】三日午後八時頃群馬縣佐波郡生れ大東邊門外居住元航空廠宿舍人夫德江正(二五)が若葉町三番地知人岡部俣雄(三五)を訪れたが不在中を奇貨として机の抽斗から現金一圓五十錢を窃取逃走せんとした處家人に騷がれたので現金を捨てゝ逃走したが遂に取押へられた目下取調べ中

百利公司業績

【奉天】商埠地十一緯路百利公司は倫敦に本店を有し大連、營口、奉天、哈爾濱に支店を有し貨物の運輸、外國商人の貨物の移輸入並に米亞保險公司の特約をなし保險契約者も增加しつゝあるので昨年下半期の營業成績は十五萬圓に上り漸次增加の形勢にあるさ

旅順放送

▲滿洲國入りをする筒井判官及び鈴木書記兩氏の送別會は七日壽において法院部内者のみにて開催される

▲旅順重砲兵大隊第二中隊上等兵鈴木芳一(二三)氏は一日死亡したので四日午後三時から西本願寺において告別式を行ふ

▲元寶町岩坪三郎氏長男寬容君(二)は二日死亡

▲市役所庶務新井喜一氏は今回旅順高等公學校へ轉職した

▲矢原重吉氏は忠靈塔建設費として金一百圓を寄附した

▲旅順高女では六日入學式を行ふ

▲小宮經理課長は五日午後六時在旅新聞記者重なる者を青葉に招じ淸宴を催した

女の部屋 (132)

林芙美子作　一木弴畫

椿と火 (三)

ほのぼのと灰色に白みそめた空に、眞黑な島がぽつかりと、取り殘されたやうに浮んでゐた。三原山の噴煙が雪にまぎれてむくむくと立ちのぼつてゐる。

濱を走り廻る豆粒のやうな人影が次第に增して、軈て微に櫓の音が曉の靜寂を破つて聞えて來た。

客引きの案内で智子は椿館に入つた。

疲れ切つてゐたので、床をのべて貰つて、朝食もさらずにぐつすりお午すぎ迄眠つてしまつた。そして夢現の間に何かお經文でも讀んでゐるやうなぼそぼそした話し聲を聞いてゐたが、目がはつきり醒めて來るにつれて、それがすぐ間近な部屋で交されてゐる男女の話聲であることに氣附いた。

彼女は聞く氣もなく聞いてゐた。

――ほんとに死相なんてあるものでせうか？

と女の聲で訝かつてゐる。

――あるとも、よく氣をつけて見てゐ給へ。此處に同じ位重態の病人が二人ゐたとして、先に死ぬ方には二三日も前からはつきり、所謂死相つてものが現れるよ。

――いやですわねえ！そんな話伺ふと、是からは病人の顏を見るのが怖くなりさうで。

――はつはつは。當直の夜なんか、一人では巡廻が出來なくなりはしないかね。……時に、いゝ天氣ぢやないか。少し案内して貰つて、散步でもするかな。

――え、お伴しますわ。發電所の所迄行つて見ませうか？

――へえ、發電所があるのかね

――それ位ありますわよ。

二人は笑ひ乍ら立つて行くらしい氣配であつた。

智子も起き上つて床を片附けると、ベルを押して、女中がやつて來る迄の間を、南東向きの障子をあけて緣端に出て見た。小春日のやうな柔かな陽の光が眞正面から降り注いでゐた。

近くで鶯が鳴いた。それが段々遠くなつて、何處かの森の中に消えて了ふと、又すぐ手の屆きさうな處で、今度は三羽が巴に絡んで亂れ鳴くのだつた。

たわゝに眞紅の花をつけた椿の並木が、縱橫にのびて香高い織模樣を織出してゐた。

その下に牛がゐたり、人が步いてゐたりした。

すぐ目の下を、先刻出て行つた隣室の二人らしいのが山の方へだらだら坂を通つて行く。それは智子と同船した例の醫者と看護婦であつた。

智子はふつと、暗示を受けたやうに「死相」と云ふ言葉は自分に就て話されてゐたのではあるまいか、と考へついた。

さう云へば昨夜も同室の三人が三人とも、何となく自分の方を觸診するやうな目で見てゐたやうでもあつた。

――お呼びでムいましたか？

女中が上つて來て訊ねた。

――え、お湯が沸いてたら入り度いと思つたんですけど……

――はあ、お立てしますでムいますから、何卒。お茶でも入れませうか？それとも何か召し上りますか？

――何にも欲しくはありませんの。ではお茶を入れて下さいな。

滿洲各鐵道の素描……その二

「走り競り廻り」

樂土の心臓繞る 國有鐵道の網

挽歌の軍閥に歡呼の聲

滿洲國有線即ち滿鐵委託經營線を紹介する前に些か逆もどりの親はあるが滿洲鐵道發達の歴史を概述する、滿蒙の天地が鐵道の洗禮を受けたのは未だ日なほ淺く二十世紀の初頭で、明治三十六年（一九〇三年）七月一日東清鐵道（現北滿鐵路）が本營業を開始し同年秋京奉線（現北寧線）の關外延長線（現奉山線）が新民府まで開通したのを最初とするのである、而して鐵道專門家はそれ以後の滿蒙鐵道發達の歴史を四期に分ち

第一、東清鐵道並びに京奉鐵道の創業とその初期經營時代
第二、日露戰爭直後に始まり大正十三年奉露協定成立前後に終る南滿洲鐵道の創設並びにその培養線建設時代
第三、支那側の利權回收並に自國鐵道建設勃興時代
第四、滿洲國建國以來の新線建設時代

さしてゐるが、換言すれば第一期は英露兩國の滿洲軍事的侵略時代、第二期は滿鐵線による滿洲の經濟的建設時代、露國大革命による露國の北滿勢力失墜時代で第三期こそが舊東北政權の非合法的手段による

日本壓迫 滿鐵線包圍計畫完成時代で遂にそれが高潮として昭和六年九月十八日舊東北軍による柳條溝の爆破となり、しかも皮肉にもそれが舊軍閥政權の挽歌となつて了つたものである かくて歴史の力、自然の要望は昭和七年三月一日滿洲國の建國となり、越えて大同二年二月九日滿洲國有鐵道は擧げて滿鐵に委託經營されることゝなり、過去において日支外交の禍根をなした鐵道問題もこゝに始めて決定的に解決せられ、餘りにも政治的に利用されてゐた之等の鐵道は茲に始めて鐵道本來の使命を恢復し一路滿洲國の經濟開發に向つて活潑な歩みを開始することゝなつたのである

◇……◇

かくして滿洲國からの委託を受けた滿鐵では直にこれが委託鐵道を總括的に經營せしめるため同年三月一日奉天に鐵路總局を設置したのであつたが、總局經營後一ケ年間の國線の異常な發達は既に新聞紙等において餘りにも詳細に報道された周知の事實である 而して總局ではこの過去一ケ年間において更に新建設鐵道である海克、訥河、敦圖、朝開諸線の經營の委託を受けたが、その間の實績によつて現場路局の

職制改正 を斷行、去月三十一日これを一般に發表したのであるが、いさゝか重複の嫌はあるがこの改正要點を示せば從來の吉長、吉敦、吉海、瀋海、奉山、四洮、洮昂、洮索、齊克、呼海の十鐵路局はこれを廢止し新たに奉天、新京、ハルビン、洮南の四鐵路局を設置更に線路の名稱を正確に規定して

名稱	區間
奉山線	奉天—山海關
大鄭線	大虎山—鄭家屯
營口線	溝幇子—營口
北票線	錦縣—北票
壺蘆島線	連山—壺蘆島
奉吉線	奉天—吉林
西安線	沙河—西安
京圖線	新京—圖們
奶子山線	蛟河—奶子山
朝開線	朝陽川—開山屯
濱北線	濱江—北安
馬船口線	新松浦—馬船口
齊北線	チチハル—北安
訥河線	寧年—訥河
平齊線	四平街—チチハル
洮索線	白城子—懷遠鎭
楡樹線	楡樹屯—昂々溪

我社としても理論的には今回の呼稱りにおいては右の諸線全部を通るべきではあるが、滿鐵本線で連絡支線を省いた如く滿洲の運輸系統を説明するうへにさしてその重要さを認めない支線は省き奉山、大鄭、營口、北票、奉吉、西安、京圖、朝開、濱北、齊北、訥河、平齊、洮索の十三線を走るに止めた事を諒解されたい、尚以下順を追ひつゝ國線各線の紹介に入るが從來の資料を根據さする關係から舊線名によつてペンを進める事さする（寫眞は奉天の鐵路總局玄關）

貞操は死より強し

人妻 死を以て抗議

亂倫の夫に離緣迫られ

三日午前四時市內聖德街四丁目十九番地の佐々木なよさんが子供を便所に連れ行かんとして階下に降りた所、ガスの臭がするので不審に思ひ玄關口の唐紙を開けた所、意外、和田悅郞內緣の妻佐藤かず子（二）さんが苦悶してゐるのを發見、驚いて附近の高橋醫師を招き應急手當を施したが既に死亡してゐた

かず子は去る三月二日、和田悅郞方に緣づいたものであるが、結婚後間もなく夫との仲が惡く夫婦喧嘩が絶えず、自殺の前夜夫と痴話喧嘩の後離婚を求められ、その結果、前記自殺を行つたものと見られてゐる、かず子さんの胸には四通の遺書が置かれて居り夫を戒めるためか枕の下に藥者と夫とが一緒に撮つた寫眞を敷き、紫地錦紗の着物に友禪紅葉散らしの裾模樣の長襦袢……黄泉の旅への晴れの衣裳を整へ丸髷の姿も悲壯に覺悟の自殺であることは一目瞭然であつた

かず子さんに固く抱かれた遺書は「旦那樣」と、大連市白金町四の一の四宮本茂吉樣、その他二通で夫悅郞に宛てた遺書は女性から男性へ宛てた死を以ての抗議に充たされてゐた、その遺書の一節……

夫への遺書

死に臨みまして一筆しめし參らせます、御座を汚しましてからまだ一月とはなりませず、こんな結果にならうとは露思ひよらぬ事でございました、今はの際となつてはもう何事も申上げません、たゞ……お怨みに存じます晩婚の妾ではございますが御側に參る刹那までは、色々樂しい事を想像しては獨り喜んで居りましたあゝ……それも今は過ぎ去つた夢……儚ない〳〵夢でございました、妾の運命がかくも呪はれてゐようとは！……

併し旦那樣、女が一度貞操を許しました以上、妾共は死ぬまで添ひ遂げよと敎へられて參りました、死んでお傍に侍つて居るやう敎へられて參りました、それに……それに……あのお言葉は……妾に死ねと仰有つたと同じ事ではございますまいか、男性はそれで濟むかも知れませぬが、女はさう簡單には參りませぬ、妾は日の本の女でございます、譯もなく離緣されるのは嫌でございます、嫁ぎます時、私は固い〳〵覺悟を抱いて參りました、妾は今悲しい事にはその覺悟をほんとに行はねばなりません、貞操は女の生命でございます、女弱しと雖も操は固ふございます、生命を以て旦那樣に抗議を申し上げます、そして世の多くの虐げられた女性のために、一般の男性に對して抗議を致します

旦那樣、私は重ねてお怨み致します、併し貴郞樣が法律の罪に問はれるやうとは決して思ひませぬ、何卒もう一度考へ直して下さいませ、これが妾の最大のお願ひでございます、それだけでございます、そして世の男性に機會ある毎にお話し下さいませ。馬鹿な女が世の中にはまだゐる事を、離緣されると死を以て抗議する女がゐる事を………

もう夜明けも間もありません、それではどうぞお身體を御大切に左樣なら

旦那樣　かず子參る

夫には情婦

考へられる死因

自殺の原因については遺書及び夫悅郞の陳述を綜合するさ兩人は去る三月二日に結婚したが、結婚當初よりシツクリ行かず、一方悅郞は以前から他に情婦があつたため勢ひ痴話喧嘩が絶えず、遂に四月二日兩人最後の爭ひが行はれ、その場で悅郞から離緣する旨を言明し、平素快活で些か多辯であつたかず子は情感やる方なく遂に死への道を選んだものと思はれる

沙河口署の取調に對して夫悅郞は左の如く述べた

私は三月結婚しましたが、家庭が面白くなく離婚しようと思ひ四月一日かと思ひますが、媒介人某氏にその話をした程でしたいかいかいからすまいと思つてゐました

この最後の一句に對して係官が突つ込むと、悅郞は

和田の性行

近所の噂を聞くと和田はかず子さんと內緣關係を結ぶ僅か十日前に本妻を喪つたばかりだといふ、而もかず子さんが枕下に敷いてゐた寫眞が藥者と一緒に寫つてゐたものである點や二葉町方面に情婦をつてゐたといふ噂や他にも奇怪な噂があり、これ等を綜合するに品行方正でなかつたは想像だけ像される

安東競馬の日取と豫想

【安東四日發國通】本年安東競馬の日取は左の通り發表された、出場馬は總數一五六頭である

●春季競馬　五月十九、二十、二十一、二十六、二十七、二十八日
●春季臨時競馬　六月二十三、二十四、二十五日、七月一、二、三日
●秋季競馬　八月二十五、二十六、二十七日、九月一、二、三日
●秋季臨時競馬　十月六、七、十三、十四、十六、十七日

右の如く春季競馬には後一ケ月さいふので六道溝の馬場は毎日馬主騎手、ファンで賑つてゐるが耳に挾んだ豫想を纏めて見るさ

●「新抽」優勝候補一、五、七、一、一、三四

●「新呼」新呼ダービーで確實なのは發駒初線でこれに新抽の何番が喰込んで行くかゞ興味の中心

●「各抽」高砂、叫、第二由良之助、松風、新高、一龍、大州、土佐等相變らず強い、然し臨時競馬の頃から一、二位を爭ふ松風が奉天へ新高が新京へ去ることになつてゐるのは殘念だ

●「古呼」駿足安兵衛退役し斷然光つてゐるのに平九郎ありこれを脅かすは神風、吳櫻、彥太次いで萬程、星ケ浦が優勝圈內のものと見られる

顏に五寸釘

苦力監督ら慘殺

チチハル曉の戰慄

【チチハル特電五日發】三日チチハル市を戰慄させた邦人慘殺事件の一部が四日正午チチハル領事館警察署より解禁發表された

チチハル市郊外北大營大倉組材料置場苦力監督神戶市出身生れ上田新次郞（四五）及び上田方同居人本籍不詳大工大畑某（推定三五歲）は三日朝前苦力小屋において鐵棒様の兇器にて頭部、咽喉部に致命的打撲傷を受け、殊に上田は顏面及び脚部に五寸釘を打込まれて絶命、大畑は瀕死の重傷を負つた

右事件は上田の內緣の妻が急の知らせか夫の身を案じ、三日午前十時頃現場に赴き發見したもので、犯人及び犯行動機等目下探査中である

電話難の緩和に 六千基を公募

電々會社が五六月頃から

水道同樣電話も右から左への理想實現の第一歩として近く全滿に六千基の寄附電話を架設しやうといふ嬉しいニュース——電々會社では昨秋會社創立と同時に全滿的に至急電話架設を募集し電話難を緩和するところあつたが、その後財界の活況や人口增加に伴ひ電話難の叫びはいよ〳〵猛烈となり、電話の市價も最近では大連で八百圓前後と昨秋の架設料の二倍以上にまた奉天九百圓と三倍新京の如きは九百五六十圓と約四倍の高値を唱へつゝあり、商戰の武器たる電話も高價なため資力薄き商工業者には容易に手が出せない實情にあり、電々會社ではこの情勢を見てさり「右より左へ」の理想實現の第一歩として電話の大增設を決意し、鋭意研究中のところ最近漸く具體化し一兩日中に公募の運びさなる模樣である

增設案の內容は極秘に附せられてゐるが探聞するところによれば關東州內、附屬地は勿論滿洲國全土に亘り約六千基の電話を增設することになる模樣で大連や新京、奉天の如きは既に交換局の改善能力にも限度あり一般の需求を悉く容れることは望み薄さみられ熱河、京圖線其他の新興諸都市が比較的多數の架設を見るのではないかさ思はれる、募集時期は監督官廳への手續もあり會、當局では遲くとも五月末ごろまでには公募の意向の如くであるが手續に日數を要すれば或は遲れるかも知れない次に架設料金は昨秋の前例もあるがその後器械の昂騰せる事情もあり、或は昨秋のそれよりも割高さなるかも知れないが、大體に於て州內及び附屬地は昨秋の左の如き料金に落着くものではないかと觀測される

大連三三〇圓、旅順一五〇圓、鞍山三〇〇圓遼陽一二〇圓、奉天三〇〇圓、撫順二〇〇圓、四平街一五〇圓、新京二五〇圓

航空標識を作れ

航空關係者間に要望

近時世界各國とも空の交通量は益々頻繁となり、それだけに不時着その他の事故も增加するので、航空標識の新設或ひは無電航空指針臺、航空燈臺の建設等航空安全のために

各種の 施設整備に多大の努力が拂はれてゐるが、滿洲は今なほこれ等の施設は殆ど閑却されて居り航空士は僅かに全滿の鐵道停車場を目標としてゐるさいふ甚だ心細い狀態であるが、この好目標さへ驛名の表示は單に列車旅行者の便に對してのみ行はれてゐるに過ぎず、空の旅行者には

何等の 考慮が拂はれてゐないので大連、奉天、新京等の主要驛はいざ知らず、他は殆ど識別出來ぬさいふ有樣であり、その不便は航空關係者仲間に屢々嘆かれてゐる狀態で

內地鐵道省各驛ではすつと以前からホームの屋根の上に白色ペンキを以つて驛名を大書し航空標識の一助をなしてゐる、この種の施設はほんの僅かな經費を以つて而も非常な利便を與へるものであるから、滿鐵々道部及び鐵路總局に於てもこれに倣つて至急何等かの施設をなすやうとの要望の聲が次第に高められつゝある

極東大會に 滿洲選手百名

總監督は鈴木氏內定

【東京五日發國通】滿洲國體協では極東大會に百名より成る選手團を組織し十二萬圓の經費を支出することに決定し九競技に全部出場し總監督は京都帝大陸上部員だつた鈴木武氏に內定した

圓卓會議

アスターハウスで開催されるか

松澤氏語る

【上海四日發國通】山本博士は圓卓會議下打合せにつき支那側の意向を確めるため本日支那側體協ゼネラルマネージャーたるセントジョンス大學教授沈氏に會見を申入れた、尙ほ本圓卓會議は多分アスターハウスにて開催される模樣である、圓卓會議支那代表は中國體協名譽會長王正廷、沈嗣良、更に張生氏等の三名で目下北平滯在中の王正廷氏には招電が發せられた

【上海四日發國通】山本博士を助けて來る九日の圓卓會議に出席すべき日本體協の松澤一鶴氏は本日午後三時長崎丸で着滬直に山本博士の宿舍アスターハウスに入つたが松澤氏は語る

體協の命で山本博士のお手助けに來ました、今後の方策行動は一切山本博士の御命令によつて行ひます、私としては一切の政治的意識を離れ純眞なスポーツの立場から圓滿解決し支那を含む極東各國の一致參加を希望し今後の行動もこれに基づいて行ふものです

天皇を中心とした 社會主義の建設へ

轉向被告、異口同音の陳述

滿洲共產黨併合公判

第二次滿洲共產黨松崎簡外二十一名に對する第一回併合公判は四日午後一時より再開、午前中に引きつづいて首領松崎の滿洲事務局設立に關する說明があり、その運動目標に關しては

我が滿洲事務局は日本共產黨の一機關であるさは云へ滿洲の特殊事情を考慮し、帝國主義打倒軍閥政權打倒、勞農民主的獨裁の三つをスローガンに掲げてゐたもので、この點豫審終結決定書は誤りである

と結び續いて田中裁判長より共產主義に對する現在の心境を訊ねされるや

第一に世界の主要個所に於ては一國的な社會主義の

建設は 必要である、第二に一國社會主義には各國の個別的なる特殊條件が非常な力を持つてゐることは絶對に信ずる、第三に日本、滿洲、支那を含む東洋全般に對し日本を中心とした東洋獨自の社會主義を建設することは可能であると思ふ、第四に民族、國民性の重要なることを感ずる、第五にコムミンタンを離れた勞働階級の獨創的な總意による指導權を獲得すべきだと思ふ、最後に前衛機關の結合は絶對必要であるも從來の日本共產黨が奉じてゐた思想と全然異つた一國社會主義を述べ、更に

日本に於ては君主制は日本の過去現在は勿論、將來に於ても絶對に大きな力を持つてゐること信ずる、コムミンターンは日本が持つ絶對的勢力君主制と徹底的に鬪爭せよと命じてゐるがこれは大きな認識不足で、共產黨の形式は日本では全く駄目である、來るべき日本の社會改善は

天皇を 中心として民族的統一と、勞働階級の大同團結なる力を確立することによつてのみ行はれるのである

と全然共產主義を離れた國家社會主義理論の概括的陳述を行ひ、明確に轉向を表明した、かくて首領松崎の陳述は午後二時三十分終了して、十分間休憩後同じく獄中被告廣瀨進の陳述に移つたが、對共產主義意向に關しては全く松崎と同意見であると述べ、更に補助的に先づ日本の社會經濟制度の發展段階を述べた後

一國社會主義はその內容に於て當然國家社會主義の色彩を多分に含まれば成功しない、この點より日本に於ける一國社會主義は當然皇室中心によつて派生して來なければならない

さ松崎同樣轉向を明言し、滿洲地方事務局が最も關係深き日本共產黨テーゼの一つ、植民地の獨立は從來共產黨の植民地に於ける獨立運動は常に自國プロレタリアートを離れて一つの型にはめ込まれた、ソウエートに

支持を 求めてゐたことは一國社會主義と全然相反し、又資本主義的小國家性を來たす惧れがある、かくの如き植民地獨立のスローガンは最早や時代遲れも甚しいものであると日本共產黨の誤りを正して、自席に歸り、次いで岡村滿壽、松田豐が被告席に立つたが、右兩被告は既に轉向保釋中のものであるので陳述は簡單に共產思想を捨てるにいたつた經路を語つたのみで、午後四時十分第一日を閉廷した、第二日は引つゞいて六日午前九時三十分より開廷される筈

河村丙午保釋

第二次滿洲共產黨に連坐してゐる河村丙午は一時は黨の急先鋒として知られ、好意的に盡力してゐた田村辯護士さへ避けた程であつたが、既報の如く過般突然轉向を聲明、社會を驚かせてゐたがその後神經衰弱となり極度の脅迫觀念におびやかされるやうになつたので、田村辯護士は數日來奔走の結果、法院當局の許可を得て河村丙午は五日午後六時過ぎ保釋となつた

忌明寄附

市內櫻町一〇五大塚藏吉氏は今回長女滿子さんの忌明に際し故人の冥福を祈る爲め商店會積立金に百五十圓、忠靈塔建設基金に五十圓也を今朝本社を通じ寄附された

警官等も混り 金塊密輸事件

安義の關係者續々檢擧さる

【新義州特電五日發】平安北道義州警察署で過般來朝鮮人有力者の土地詐欺事件を取調べたところ端なくも平安北道警察官多數が關係せる金塊密輸事件が發覺し、新義州署の現職警察官部及び新義州法主任李信華警部、金津、渡邊兩刑事、張華植、白慶禮兩巡查部長外三巡查、慶北警察部にも鈴木、張金位兩巡查部長等の現職警官を疾風迅雷極秘裡に檢擧し、更に安東新義州兩地の民間關係者十餘名を檢擧した

事件の內容は現職警官が職權を利用して義州附近の鮮人豪農等を使嗾して大規模の金塊密輸を行つてゐたもので約二百萬圓以上に上つてなり極秘裡に取調中

南蠻彩船（93）

鈴木氏亨作　布施長春畫

奈良の旅籠（一）

師走日和のうらゝかな日――

遠くの森で、百舌鳥がキ、キ、キと鳴いてゐた。

しかし、それとても長閑に聞える程、空には冬らしい風が少しもなかつた。

九刻過ぎ、桜原宿の兵庫屋を出た二人の旅人は、いま靜かな冬の日を浴びて、くらがり峠を奈良の方へ向つて下りてゐるのだつた。

ところが、この二人の後をつけて行く、一人の男があつた。腰に小刀を手挾み、旅人らしくもない裝ひで、大きい藺笠を覆り、深く面相を包んでゐるので、何者ともわからなかつたが――

二人は、別に氣がついたと云ふ樣子もなく、峠路にかゝると、急ぐ旅でもないと見えて、打とけて話しながら、嶮しい路を緩やかな歩調で歩いてゐた。

「小平次。奈良の旅は和かで、懷古的でいゝのう」

森が拓けて、大和の平野が、一望の裡に、收められるところに來た時であつた。亞禮奈は初めて話しかけた。

「さういへば、殿は奈良路は初めてゞございますな」

「左樣ぢや。堺の町の附近の地理風景は、知らぬではないが、大和路とは初めての逢瀨ぢやから、眉目美はしい處女に、こつそり會ふやうなものぢや」

「さう云へば、楓樣はどうなされたでせう？」

「もう楓のことはよせ、よせ。お互に身にふりかゝる責苦！いや運命の處刑とでもいふのだらう。彼女の行方の知れぬのも、また會へぬと云ふのも、ゼセスの神の啓示かも知れぬ」

「しかし、百舌鳥村の森のかくれ家を、あの遠里小野三郎奴に燒かれて以來、隨分永いさすらひの旅をつゞけましたのう」

「さうだ。それもこれもみんな助左奴の爲ぢや。早く父の仇を報じて、呂宋の國へ歸りたいのう――」

亞禮奈は珍しく感傷的になつた。

「でもやつと坤齋先生と五右衞門の行先が分つて、何より嬉しいことです。久しぶりで會つて、大いに助左報復の謀略をめぐらしませう」

「あゝ、今日まで隨分探し廻つたが、行先がわかつて、先づ芽出度いと云ふものだ」

「楓樣も、一緒にゐるかも分りません」

「そのことは申すなといふに」

亞禮奈は輕く窘めた。

「堺の經師屋には、大分暫く前から居ないといふのですから、多分五右衞門でも誘ひ出して、一緒に住まつてゐるのではないでせうか？楓樣も、隨分苦勞をなすつてゐられますなあ！」

「春日野の住居に、みんなゐてくれゝばいゝがな！」

亞禮奈も、小平次の誠ある心づかひに、ほろりとした。

藺笠の男は、聞くともなしに、二人の會話に耳傾けてゐた。

峠路は、だんだんゆるやかになつて來た。

そして、編笠や道中着や、小荷駄や槍などに、擦れ違ふやうになつてゐた。

「燒出されて以來の、大和川の邊のわれわれの隱れ家は、長いこと平和でしたな。しかし、皆目敵の樣子が知れないので、それぱかりが心配でしたが、坤齋坊老人の在所が知れたことは、まだわれわれの武運を、神樣が捨てゝくれなかつた前兆でせう」

「さういへばさうかも知れないが助左もこれから、おいそれと、われわれの罠にもかゝるまい。仕事がちとむづかしくなつて來た。これから南蠻堂とも密議をこらし、謀策を講ずるとしよう」

「それが、われわれとても、望むところでございます」

途は、坦かになつてきた。

遠く森を越して丹塗の塔の甍が夢のやうに見え出してゐた。

奈良にも大分近くなつて來た。

と、二人のうしろから、藺笠の男が栗鼠のやうに、すうつと小走りに拔けて過ぎた。

新刊紹介

舞臺（四月特別號）第一日の午前（岡本綺堂）春日龍神（山崎紫紅）岩見重太郎（吉田武二）小式部人形（大村嘉代子）吶喊の河岸（淺野武男）挨拶（作間眞）秋の人々（林鐵太郎）等（七〇錢、東京杉並區阿佐ケ谷三ノ二八九舞臺社）